



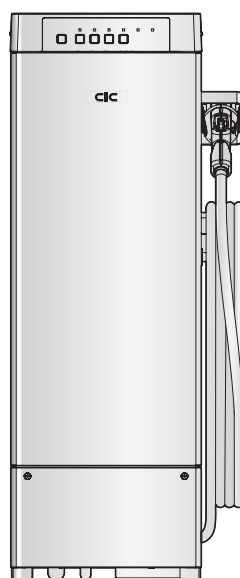
8A4696000010

取扱説明書

V2H蓄電システム

V2Hスタンド

品番 VCP601



このたびはV2Hスタンドをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ ご使用前に「安全上のご注意」(4~7ページ)を必ずお読みください。

■ この取扱説明書は大切に保管してください。

● この商品を利用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This equipment is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other countries.

施工説明書別添付

目的に合わせて素早く探す

リモコン画面の見かたを知りたい

表示について

18ページ

運転のしかたを知りたい

はじめてお使いになるときは

30ページ

停電時に自立運転に切り換えたい

自立運転の操作

39ページ

点検コードが表示された

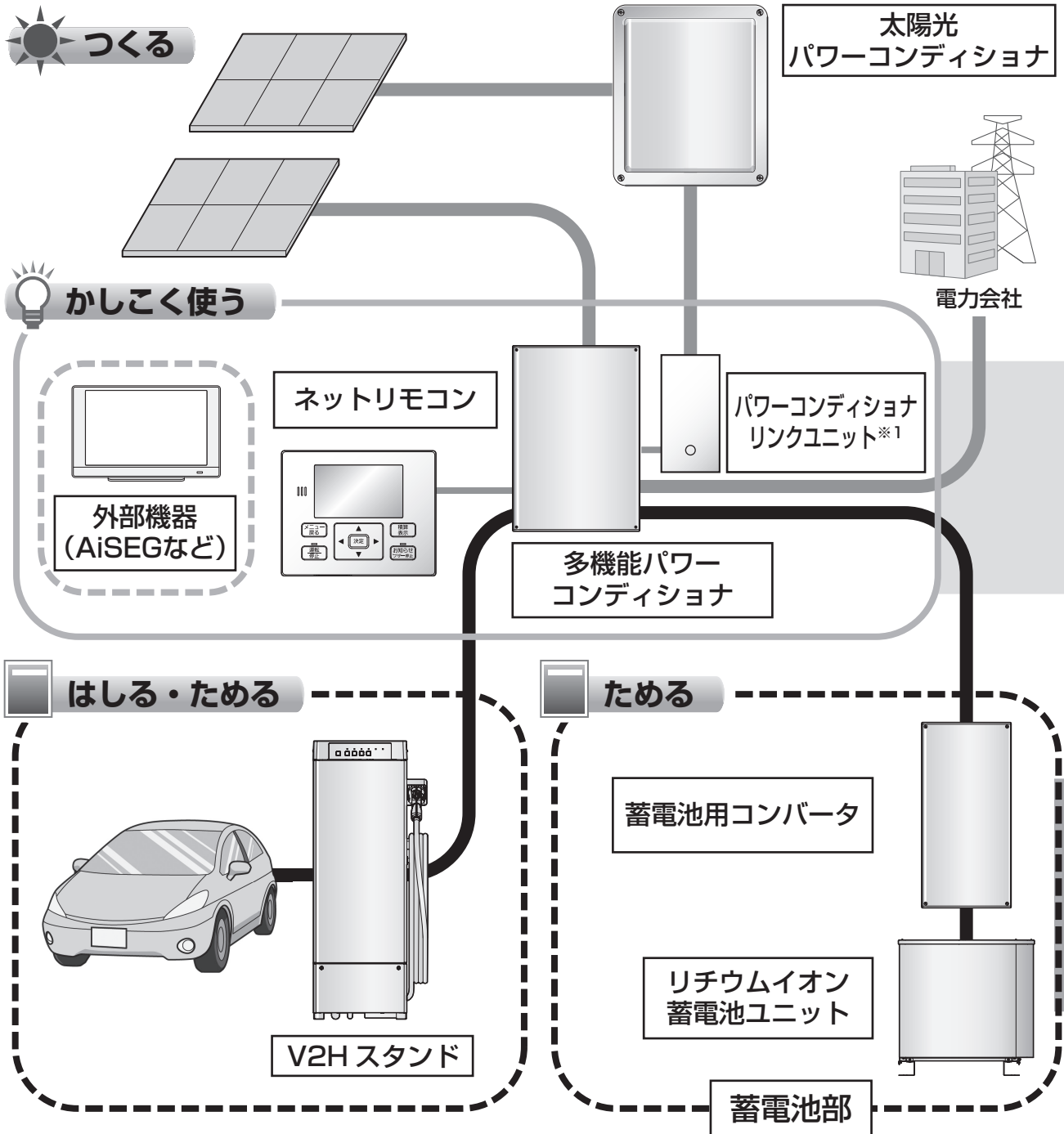
こんなときは

70ページ

cic 長州産業株式会社

自分らしい暮らしへのアップデートをサポート

V2HとはVehicle to Homeの略で、電気自動車等に充電した電力を宅内で使用可能な新しいシステムです。多機能パワーコンディショナとV2Hスタンド、蓄電池部が分かれており、蓄電池ユニットは2台まで設置(増設)可能です。ライフスタイルの変化に応じた自分らしい暮らしへのアップデートをサポートします。



※1 パワーコンディショナリンクユニットはリンクユニットと表示しています。

ライフスタイルなどに合わせて、自動運転モードを設定できます。(23 ページ)

自家消費モード (充電時間設定あり)	自家消費モード (充電時間設定なし)	タイマーモード
-------------------------------	-------------------------------	----------------

- ・ 太陽光の電力は自家消費したい
- ・ 固定価格買取期間は終了

- ・ 太陽光の電力は自家消費したい
- ・ 時間帯別電気料金は未契約

- ・ 余剰電力はなるべく売電したい
- ・ 夜間(深夜)電力契約中

もくじ

■本書の見かた

各構成機器の仕様やお手入れ方法の詳細は、各構成機器に同梱されている取扱説明書をご確認ください。

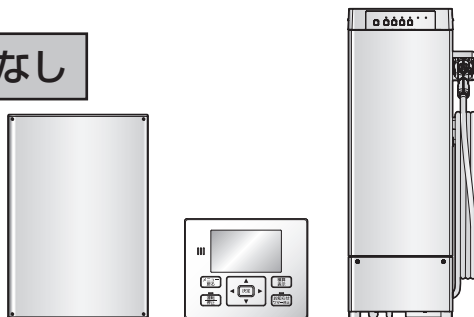
お客様の設置状況に応じて、該当ページをご覧ください。

蓄電池あり

蓄電池なし

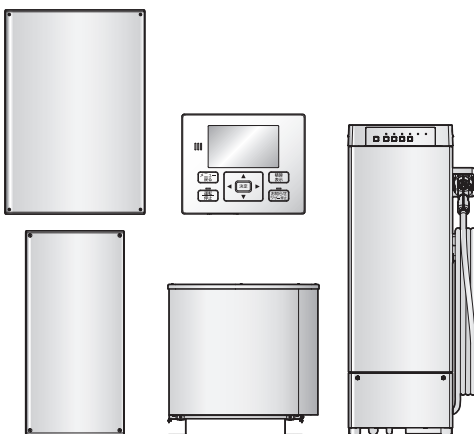
V2Hスタンドのみ設置のお客様

蓄電池なし



蓄電池ユニットも設置のお客様

蓄電池あり



AiSEGなどから
かしこく制御します

外部制御

21 ページ

安全上のご注意	4	はじめに	
使用上のお願い	8		
システム構成とはたらき	12		
各部の名前(V2Hスタンド)	14		
各部の名前(ネットリモコン)	16		
表示について	18		
運転モード	23		
自家消費モード(充電時間設定あり)	24		
自家消費モード(充電時間設定なし)	26		
タイマーモード	28		
はじめてお使いになるときは	30	基本の使いかた	
システムの運転	31		
EVへの充電(自動)~片付け	32		
EV接続時のご注意	34		
自立運転について	35		
自立運転の操作	39	色々な使いかた	
今すぐ充電する	42		
EVから放電し家庭で使う	45		
EV・蓄電池間で電力を移動する[eムーブ]	46		
充放電コネクタをロック・アンロックする	48		
V2Hスタンドのボタン操作を禁止する	49		
設定・確認のしかた	50		
充放電できない	70		こんなときは
充放電コネクタ・ケーブルのトラブル	72		
充放電コネクタ・ケーブルの寿命	73		
EVの電力でシステムを起動する	74		
充放電コネクタの緊急離脱	76		
ファームウェアアップデートについて	78		
システムを停止したい<維持充電>	79		
システムを停止したい<停止>	80		
運転を再開したい<再開>	80		
AiSEG2 との接続	81		
パワーアップ充電について	81	必要なときに	
点検コードが表示されたとき	82		
点検停止のお知らせについて	86		
点検とお手入れのしかた	88		
リチウムイオン蓄電池ユニットについて	90		
仕様	92	裏表紙	
お客さま相談窓口			

安全上のご注意



よくお読みください



確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

- 万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。






■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。




■ V2Hスタンドの取り扱い時

感電、けが、火災、故障のおそれ

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の上に乗ったり、もたれかかったりしない ● 隙間に指や工具を入れない ● めれた手で触らない ● 充放電コネクタを水に浸けない ● 充放電コネクタおよび車両給電口の電極部に触れない ● 充放電ケーブルを束ねた状態、またはケーブルフックに巻きつけた状態のまま使用しない ● 充放電ケーブルがねじれている状態で無理に引っ張らない ケーブルがねじれている場合は、丁寧にねじれをほどいてから使用してください。 ● 充放電ケーブルは、以下のような過度な力を加えない <ul style="list-style-type: none"> ・ぶら下がる ・引っ張る ・屈曲させる ・踏みつける ・車両のタイヤでひくなど 特に低温時にご注意ください。 ● 日差しが強い日や寒い日は、本体、充放電コネクタおよび充放電ケーブルを素手で触らない やけどや凍傷のおそれがあります。
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"></div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ● 適合する車両以外には使用しない 適合車両の情報は、当社ホームページよりご確認ください(34 ページ) ● お子様を近くで遊ばせない 基礎部分につまづくなど思わぬ事故のおそれがあります。 ● ビニール袋、布、布団、服などで覆わない ● 心臓ペースメーカーや植込み型除細動器(ICD)をお使いの方は、V2Hスタンドの運転中、本体や充放電ケーブルに近寄らない V2Hスタンドからの電磁波がペースメーカーなどに影響を与えるおそれがあります。 </div> </div>
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"></div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常点検は確実にを行う ● 充放電コネクタや充放電ケーブルの割れ、欠けなどを発見した場合や異常が発生した場合は、停止ボタンを押し、ただちに使用を中止する 販売店にご相談ください。 ● ブレーカ電流上限設定は、太陽光発電システム連系ブレーカの許容電流を超えない値に設定する ● 充放電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、20~40℃程度のぬるま湯で解冻してから使用する 充放電コネクタにお湯がかからないように注意してください。 </div> </div>

感電、けが、火災、故障のおそれ



 注意

 禁止  必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● V2Hスタンドに振動や衝撃を与えない ● 充放電コネクタを落としたり、踏みつけたり、振り回したりしない ● 充放電コネクタを取り外すときは、強引に引っ張らない 離脱ボタンを押しながら丁寧に取り外してください。 ● 充放電操作は車両の取扱説明書もよく読んで行う 車両側の機器が故障する原因となります。 ● 充放電コネクタを差し込むときは、「カチャ」と音がするまで確実に奥まで差し込む 	 必ず守る <ul style="list-style-type: none"> ● 充放電コネクタを使用したあとは、コネクタホルダーに戻す ● 充放電ケーブルは、地面に触れないようにケーブルフックに巻き付ける(4回) ● アクセサリーケーブルを使用したあとは、アクセサリーケーブル差し込みコネクタのネジ蓋を確実に締める ● 不要になったV2Hスタンドは、万一の倒壊を防止するため、速やかに撤去する
--	--	--

■保守・点検時


感電、けが、火災、故障のおそれ

 警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 水洗いや有機溶剤(ベンジンなど)または家庭用洗剤などを使用して清掃しない 	 必ず守る <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れは、システムの運転を停止してから行う。 ● 定期点検表に沿って、頻度を守って定期点検を行い、異常や不具合があれば、直ちに使用を中止する。 販売店や施工店にご相談ください。
--	--	---

発煙、けが、故障のおそれ

 注意




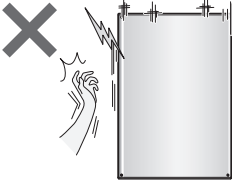

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 動物の排泄物などの付着が考えられる場合は、点検頻度を増やす ● 本体に植栽などの土がかからないように管理する サビなどの腐食が促進し、倒壊の原因になります。 ● サビが発生した場合は、早期に補修する
--	---

安全上のご注意



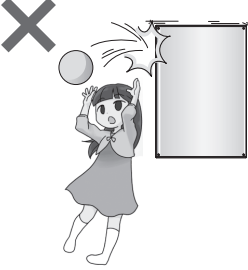

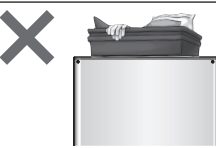
よくお読みください

■ ネットリモコンを含む機器全体の取り扱いについて

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器のパネル類を外したり、分解、改造をしない 火災・感電・やけど・けが・故障の原因になります。 ● 上に乗ったり、ぶら下がったりしない 落下して、けが・感電・故障の原因になります。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● ガソリンやベンジンなどを近くに置かない ガソリンやベンジンなどの引火性溶剤を、機器の近くに置いたり、使用したりしないでください。 火災・故障の原因になります。 ● 近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない 引火し、やけどや火災の原因になります。 ● 近くで発熱機器および蒸気の出る機器を使用しない ストーブなど発熱するもの、および炊飯器や加湿器など蒸気の出る機器を近くで使用しないでください。 漏電・火災・故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ペースメーカーなどを使用されている方は多機能パワーコンディショナや蓄電池用コンバータに近づかない ペースメーカーに影響を与える原因になります。 ● 災害発生時や雷鳴時、冠水時には機器に近づかない 感電の原因になります。冠水時は水が引いても使用しないでください。対処はお買い上げの販売店または施工店にご相談ください。 	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 下記のようなときは、運転を停止して、住宅分電盤の太陽光発電システム連系ブレーカをOFF(切)にする <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災などの非常時 ・浸水したとき ・煙が出ていたり、異臭・異常音がするとき ・住宅分電盤の漏電遮断器が頻繁に動作するとき ・太陽電池モジュールに損傷(割れ、きず、亀裂、変形)が見られたとき ・太陽光発電システムを外す場合 そのまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。 ● お手入れなどをする際は、運転を停止する 感電・やけどの原因になります。

注意

 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転中は多機能パワーコンディショナや蓄電池用コンバータに手を触れない 運転中は温度が上昇するため、不用意に手を触れないでください。 やけどの原因になることがあります。特にお子様、お年寄りのいるご家庭ではお気を付けてください。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 高圧洗浄機を使用したり、水をかけたりしない 火災や故障の原因になります。 ● 機器に振動や衝撃を与えない 火災や故障の原因になります。 
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 上に物を置かない 上に物を置かないでください。運転時の発熱で、発火して火災などの原因になります。 		

■ 自立運転を行う場合

⚠ 警告



禁止

● 自立運転時に給電されるコンセントに以下の電気機器をつながない

- ・ 全ての医療機器、防犯機器
- ・ デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器
- ・ 灯油やガスを用いた暖房機器、および停電から復旧したときに、自動的に運転を開始する暖房・電熱機器
- ・ 電気ストーブ、電熱調理器具などの、高温部が露出し、かつ安全装置がない器具
- ・ その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器



蓄電池残量が不足しているときの自立出力は、天候の状態により定格容量に達しない場合があります。多機能パワーコンディショナの出力電力よりも、自立運転時に給電されるコンセントにつないだ電気機器の消費電力が大きいときは運転を停止します。

● 自立運転時に給電されるコンセントには、自動で給電された場合に不安全となる可能性がある機器は接続しない(自動切換設定時)

⚠ 注意



必ず守る

- 説明書に従って点検を実施し、多機能パワーコンディショナや自立運転時に給電されるコンセントに接続される電気機器が安全な状態であることを確認してから自立運転を開始する(手動切換設定時)
- 自立運転開始後に多機能パワーコンディショナや、自立運転時に給電されるコンセントに接続している電気機器から発煙、異臭や異音がした場合は、直ちに自立運転を停止する

免責事項

- お客様もしくは第三者が本機の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。
- 本機の使用に際して接続した機器の故障などの補償や、本機の故障によって生じた本機以外の直接・間接の損害について、当社は一切その責任を負いません。
- 本機の不具合など何らかの原因で、車両内記憶装置・外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合やそれらに既に記録されていた機器内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 天候などにより発電量が少ない場合は、余剰電力による蓄電量が減り、買電量が増える場合があります。以上、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い

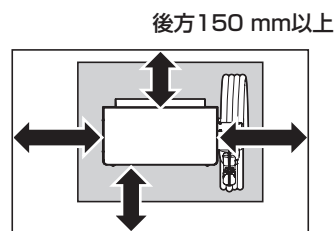
設置場所について

■ V2Hスタンドは、放熱や点検用に右図に示すスペースが必要です。【上から見た図】
範囲内には物を置かないでください。

■ アマチュア無線のアンテナが近隣にあるところでは、無線機にノイズが発生するおそれがあります。

■ 動作障害を避けるため、ラジオ・携帯電話・電氣的雑音の影響を受けると困る電気機器などは、多機能パワーコンディショナやV2Hスタンドの近くで使用しないでください。

■ 商用電源電力が無い場所や、日常的、定期的に長時間、高頻度の停電が発生するような場所で使用しないでください。



後方150 mm以上
前方：800 mm以上を推奨
移動可能な場合は200 mm以上
左右：300 mm以上
移動可能な場合は150 mm以上
上方：150 mm以上

V2Hスタンド使用時のお願い

■ 充放電コネクタが汚れていたり、水が付着したりしている場合は、乾いた布で拭き取ってから使用してください。

■ 清掃方法については「お手入れのしかた」(89 ページ)を確認してください。

■ 積雪時は操作や吸気(V2Hスタンド下部)の妨げにならないように除雪してください。

お知らせ

■ 発電電力について(太陽電池モジュール設置時)

太陽電池モジュールの定格出力は、JIS(日本産業規格)で定められた一定の条件下で算出された数値が示されています。

実際の発電は、日射強度や周囲温度、設置された方位や角度により異なります。

したがって、晴天日であっても常に定格どおりの発電が行われているわけではありません。

晴天の日中では、定格出力の約7~8割の発電電力が、おおよその目安です。

■ 多機能パワーコンディショナ、コンバータおよび蓄電池ユニットは、毎日の運転操作は不要です。

● 一度運転を開始させると、運転モードに従い、日射量・時刻・蓄電残量などに応じて自動的に運転します。

● 夜間・雨天時や蓄電池からの放電不足で、多機能パワーコンディショナの出力が足りないときは、従来どおり、商用電源(電力会社)から自動的に電力供給されます。



ご注意

● 運転中に下記の音(正常動作音)が各機器からすることがありますが、異常ではありません。

- ・「キュー音」 : 朝、夕方などの日射量が少ないときに制御電源から発生する音
- ・「カチッ音」 : 運転の開始および停止のときに連系用リレーから発生する音
- ・「ジージー音」「キー音」 : 高周波スイッチング動作により内部機器から発生する音

■ 停電時に機器を使用するためには自立運転の切換操作が必要です。

● 自立運転を行う際は、必ずネットリモコンで切換操作を行ってください。

ただし、自立運転の切換方法を自動切換に設定した場合は、切換操作は不要です。

(電力切替ユニットなしの場合は、自立運転の切換方法を自動切換にしないでください。)

詳細は「自動/手動切換設定」(68 ページ)をご確認ください。

■ 充電・放電動作に切り替わりの際は時間が空くことがあります。

■ ご使用者が変わる場合には、必ず取扱説明書をご確認の上、操作を行ってください。

● 特に、「安全上のご注意」(4 ページ)「免責事項」(7 ページ)は必ずご確認ください。

無線LAN使用上のご注意

- 「アクセスポイント」を使ってネットリモコンを無線LANに接続する場合は、ネットワーク設定で「無線LAN」に設定してから無線LAN接続設定を行う必要があります。(59 ページ参照)
- 無線LANもしくは有線LANのどちらか 1 つの方式で通信を行うため、無線LANをご使用の場合は有線LANでは使用できません。
無線・有線が自動的に切り替わることはありません。

■使用周波数帯

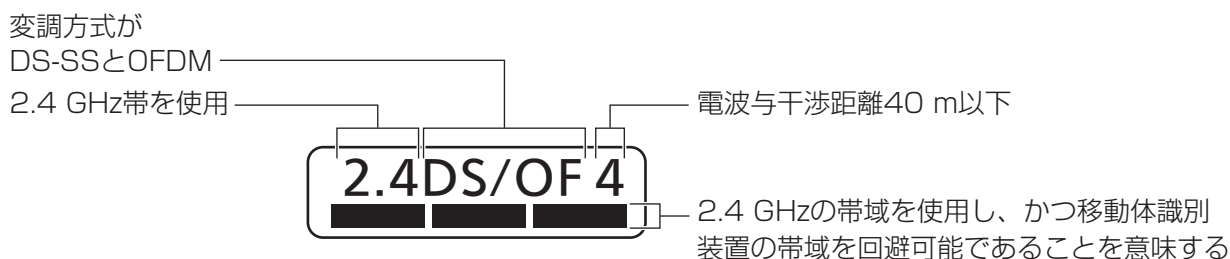
無線LANで使用する周波数は、ほかの無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記の「使用上の注意事項」をご確認のうえご使用ください。

■使用上の注意事項

ネットリモコンの使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. ネットリモコンを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、ネットリモコンから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、お客さま相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための対処など(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、ネットリモコンから移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、お客さま相談窓口へお問い合わせください。

■周波数表示の見かた(ネットリモコン裏面のモデル銘板に記載)



■機器認定

内蔵無線LANは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線LANを分解・改造することは、電波法で禁止されています。

使用上のお願い(つづき)

無線LAN使用上のご注意(つづき)

■使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての使用環境で無線LAN接続が使用できることを保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■IEEE802.11b/g/n対応のアクセスポイントをお選びください。

〈推奨のアクセスポイント・中継機〉

- (株)バッファロー製 WSR-2533DHP3

■通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。

アクセスポイントの認証・暗号化設定は、暗号化なし以外の設定を推奨します。
詳しくはアクセスポイントの説明書を参照してください。

■アクセスポイントのセキュリティ設定は、お客様ご自身の判断で行ってください。

アクセスポイントのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、無線LANの設定・使用方法などに関するお問い合わせには、当社ではお答えできません。

(アクセスポイントのセキュリティ設定によっては、ネットリモコンと接続できない場合があります。)

■当社では、ネットワークセキュリティに関する技術情報についてお答えできません。

■ネットリモコンは電波の干渉による悪影響を防止するため、下記のような電波を使う機器からはできるだけ離してご使用ください。

- 電子レンジ、ほかの無線LAN機器、近距離無線通信を利用した機器
- そのほか、2.4 GHzの電波を使用する機器

■回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定を行ってください。

- 接続する機器の説明書も参照してください。
- 契約により、ネットリモコンやパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては、正常に動作しないことがあります。
- ネットリモコンは公衆無線LANへの接続には対応しておりません。

機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。

パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。

当社では不正利用された場合の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。

■通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID、パスワード、通信画像やEメールなどの通信内容を盗み見られる可能性があります。

■不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
 - コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
- などの行為をされてしまう可能性があります。

上記セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、お客様が無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を無線LAN製品の説明書にしたがって行ってください。

本件のために生じた損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

インターネット接続に関するご注意

ネットリモコンで取り扱っているデータがインターネット経由で第三者からアクセスされることを防止するため、ネットリモコンを含むHEMS機器をインターネット接続する場合は、必ず以下の点にご注意ください。

※インターネットから宅内へ接続される場合は、ルーターを経由してください。その際、不正な外部からの指示や機器を不正に操作されないように、ルーターのセキュリティやパスワードを適切に設定してください。詳しくはルーターの取扱説明書を参照のうえ、ご不明な点は各機器メーカーへお問い合わせください。

- ネットリモコンのインターネット接続にはFTTH(光ファイバー)、CATV(ケーブルテレビ)などインターネット常時接続サービスが必要です。
- インターネットサービスのご契約はお客様ご自身でお願いします。
- FTTH、CATVなど、多様なインターネット接続サービスがありますが、すべての地域でサービスが提供されているとは限りません。各事業者様にご確認ください。
- FTTH、CATVでは事業者様により使用機器(モデム、ルーターなど)が決まっている場合や複数台接続時の契約や使用機器が異なる場合がありますので、あらかじめご確認ください。
- プロバイダーの指定はありませんが、必ずルーターが必要です。
インターネットサービスプロバイダーがルーターの設置を許可しているかご確認ください。
- 同一ネットワーク内に複数のDHCPサーバーが存在する場合、機器の起動タイミングによってはネットワークの接続が不安定となる可能性がありますので、ネットリモコンのIPアドレスを「手動取得(DHCP無効)」に設定してください。
- ネットリモコンをインターネット回線に接続すると、サービス契約する・しないに関わらず、多機能パワーコンディショナと当社ファームアップサーバー間で定期的に通信します。よって、インターネット回線契約は定額制の契約を選択されることを推奨します。

ファームウェアアップデートに関するご注意

ネットリモコンは、インターネットに接続されていると、1日1回(不定期)サーバーにアクセスし、ファームウェアアップデートの確認をします。ファームウェアが更新されると、お知らせが表示されます。

更新方法については、「ファームウェアアップデートについて」(78ページ)をご確認ください。

システム構成とはたらき



つくる

太陽電池モジュール

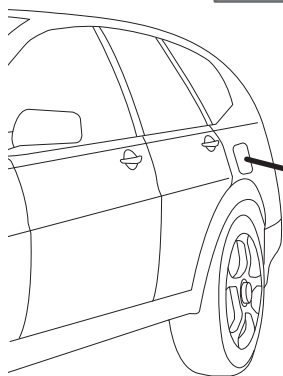
太陽光エネルギーを受けて発電します。

多機能パワーコンディショナ

太陽電池モジュール、蓄電池ユニット、V2Hスタンド、商用電源(系統電源)の電力をコントロールします。
停電時、バックアップ回路に電気を流します。

蓄電池用コンバータ

蓄電池ユニットとの電力変換を円滑に行い、効率良く蓄電池ユニットの電力を使います。



V2H スタンド

EVに電力を蓄え、走行に使用するだけでなく、多機能パワーコンディショナと連携して、駐車時にも電力を有効活用できます。

ためる

リチウムイオン蓄電池ユニット(蓄電池ユニット)

電力を蓄え、夜間や停電時など必要なときに電力を利用できます。多機能パワーコンディショナと連携して、停電時だけでなく、平常時も電力を有効活用できます。

太陽光パワーコンディショナ
リンクユニットに接続する太陽光
パワーコンディショナです。

(イメージ図であり、実際の設置
状況を示すものではありません)

リンクユニット

停電時に太陽光パワーコンディショナをフル活用できるように接続し、消費電力に対して発電が過剰(過発電と呼びます)となった場合には、電路を遮断します。

外部機器

電力検出ユニットや AiSEG 2 を接続することで、発電量や家庭内の電気の使用量を計測します。

住宅用分電盤

ブレーカを介して電気を各部屋に分配します。

バックアップ回路

(・ 電力切替ユニット
・ バックアップ用住宅分電盤)

停電時にも自立運転で接続した機器を使うことができます。

ネットリモコン

多機能パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池ユニットおよび V2H スタンドの設定や発電、充放電の状況を表示します。

見える化

モニター

発電量や家庭内の電気の使用量を表示します。

売電用電力計

発電電力のうち、住宅で使用されずに電力会社に売電される電力量を計量します。

買電用電力計

夜間や日射量の少ない時に、電力会社から購入する電力量を計量します。

商用電源
(系統電源)

自立運転コンセント

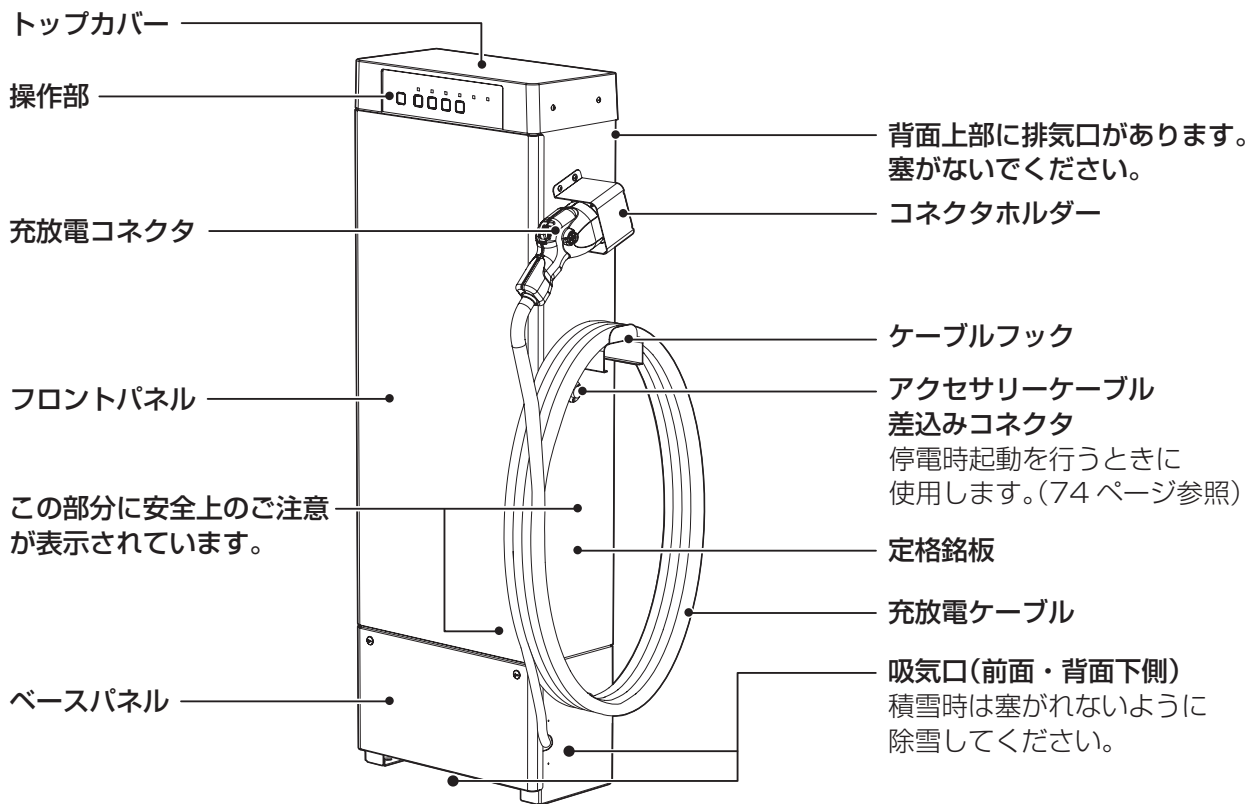
自立運転時に電気機器を接続します。別途、配線工事が必要です。設置場所はお引渡し時にご確認ください。

※本システムでは、太陽電池モジュールを接続しなくても、蓄電池ユニットでの充電および放電が可能です。

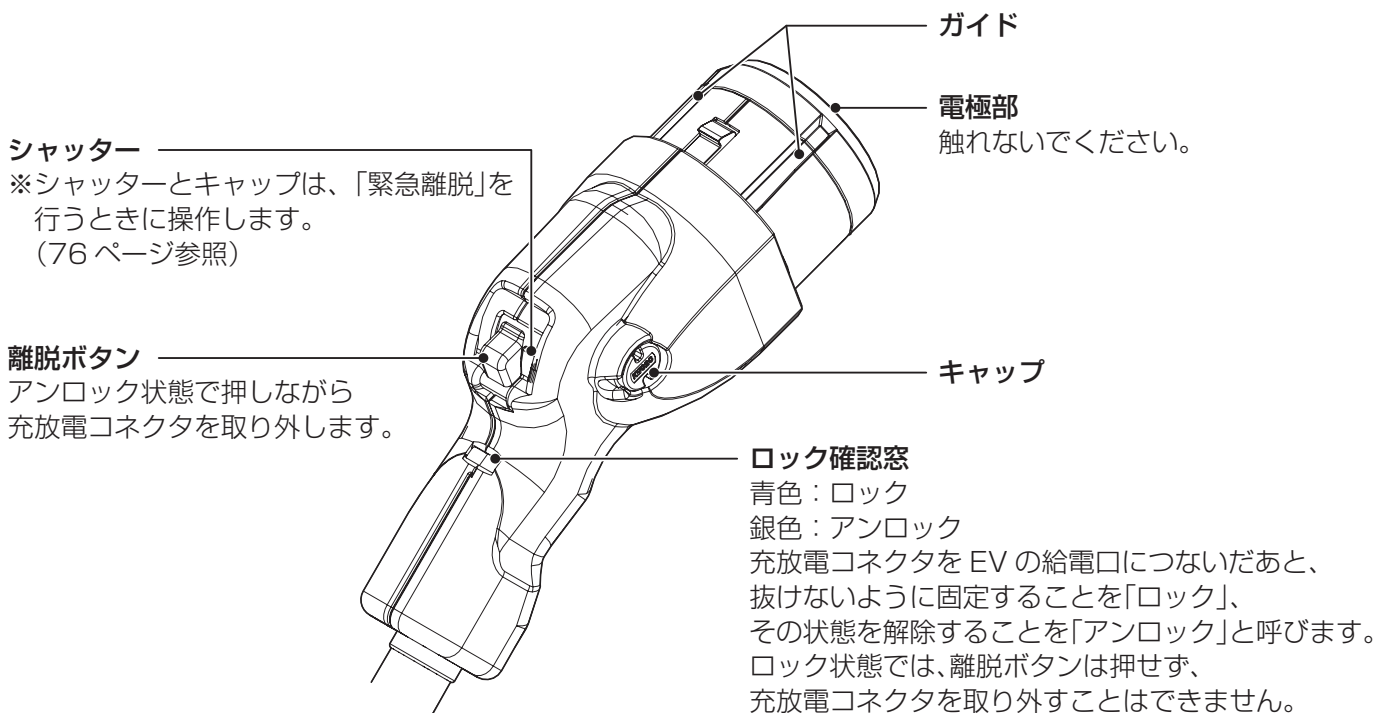
※本取扱説明書と共に、接続機器の説明書もご確認ください。

各部の名前(V2Hスタンド)

V2Hスタンド本体

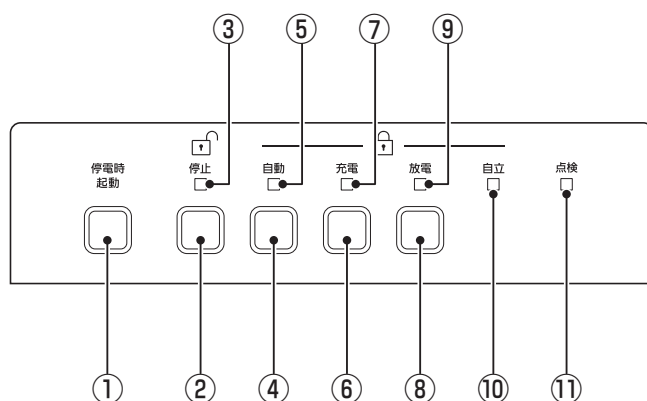


充電コネクタ



●以下、V2Hスタンドに接続可能な電気自動車(EV・PHEV)をEVと記載します。

操作部



① 停電時起動ボタン

停電により電力供給が断たれ、システムが停止したときにアクセサリケーブルでEVと接続して停電時起動ボタンを押すと、接続しているEVから電源供給を受けてシステムを起動できます。(74 ページ参照)

② 停止ボタン

設定した自動モードによるV2Hスタンドの運転やEVの充電・放電を停止します。充放電コネクタはアンロックされます。また、一部の点検コードへの対処に使用します。

③ 停止LED

V2Hスタンドの停止中、緑色に点灯します。

④ 自動ボタン

充放電コネクタをEVに接続して自動ボタンを押すと、充放電コネクタがロックされ設定した自動モードで運転します。

⑤ 自動LED

自動モードで運転中、赤色に点灯します。

●蓄電池(ユニットおよびEV)の蓄電量により、自動ボタンや放電ボタンの押下時に、充電が開始されることがあります。

また、電圧上昇抑制運転時にも充電されることがあります。(21 ページ参照)

●充放電コネクタを接続しないで、ボタン操作を繰り返し行くと、点検LEDが点滅しネットリモコンに点検コードを表示することがあります。(19、82 ページ参照)

⑥ 充電ボタン

充放電コネクタをEVに接続して充電ボタンを押すと、充放電コネクタがロックされEVに充電します。

⑦ 充電LED

手動で充電中、赤色に点灯します。

⑧ 放電ボタン

充放電コネクタをEVに接続して放電ボタンを押すと、充放電コネクタがロックされEVから放電します。

⑨ 放電LED

手動で放電中、赤色に点灯します。

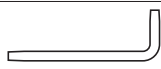

⑩ 自立LED

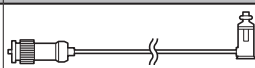
システムの自立運転中、赤色に点灯します。

⑪ 点検LED

ネットリモコンにお知らせが表示されているとき、赤色に点滅します。

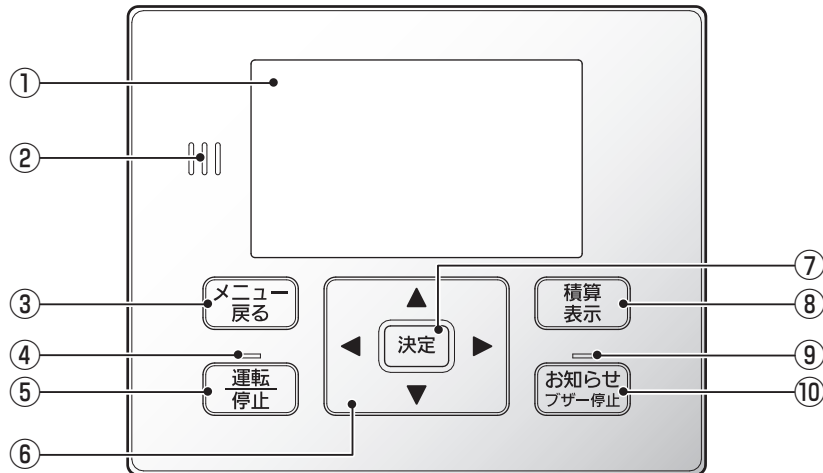
■ 付属品(必要な時にいつでも取り出せるよう大切に保管してください)

名称	形状	員数
緊急離脱工具セット		1
特殊ドライバー		1
専用工具		1
取扱説明書		1

名称	形状	員数
アクセサリケーブル		1
かんたんガイド		1
取扱説明書(本書)		1
施工説明書		1

各部の名前(ネットリモコン)

ネットリモコンの機能説明



※本書画面イラストはすべてイメージです。

ご注意

- ネットリモコンはバックライト点灯中のみボタン操作可能です。
設定した時間(初期設定: 1分)が経過すると、バックライトは消灯します。いずれかのボタンを押すと再点灯し、ボタン操作が可能になります。

ブザー音：お知らせ発生時(停電・復電・点検コード発生・蓄電池残量低下など)にブザーが鳴ります。

 を押すと止まります。

操作しなくても、約1分間で自動停止(蓄電池残量低下時は自動停止しません)し、その後約5時間ごとに鳴ります。(ただし、21時～翌朝7時の間は鳴りません)

①表示部(バックライト付き)

情報を表示します。

②ブザー

ボタンの操作音：正しい操作の時は「ピッ」と1回鳴り、誤った操作の時は、「ピッ、ピッ、ピッ」と3回鳴ります。

③メニュー/戻るボタン

トップ画面のときはメニュー画面に切り換わります。それ以外では前の画面に戻ります。

④運転/停止ランプ

運転中、待機中は点灯。停止時は消灯します。

⑤運転/停止ボタン

運転または停止する時に使用します。

⑥方向ボタン

カーソル移動、数字合わせに使用します。

⑦決定ボタン

項目の選択後、決定時に使用します。

⑧積算表示ボタン

今までの発電量・放電量や買電・売電電力などが画面に表示されます。

⑨お知らせランプ

お知らせが発生したら、ランプの点灯や点滅にて知らせます。

⑩お知らせ/ブザー停止ボタン

[お知らせ]ランプが点灯・点滅時、お知らせ内容が画面に表示されます。
ブザーが鳴動している場合は、ブザー音が停止します。

(次ページ以降で使用している画面イラストは、説明用の表示例です。)

画面操作のしかた

画面操作や設定の例として、日時設定の方法を示しています。

1 トップ画面で を押す

「メニュー (1/3)」画面が表示されます。
(メニュー画面は、(2/3)、(3/3)まであります)

2 でメニューを選択する

「メニュー (3/3)」画面へ移動し、カーソルを「日時設定」に合わせます。

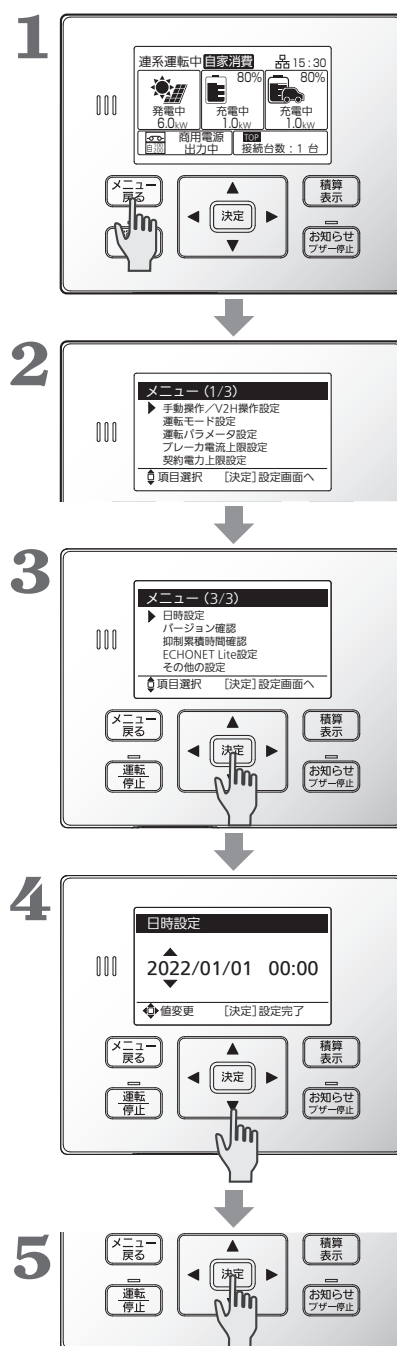
3 を押す

選択したメニューの画面が表示されます。

4 で値を設定する

5 で設定完了する

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「メニュー」画面に戻ります。



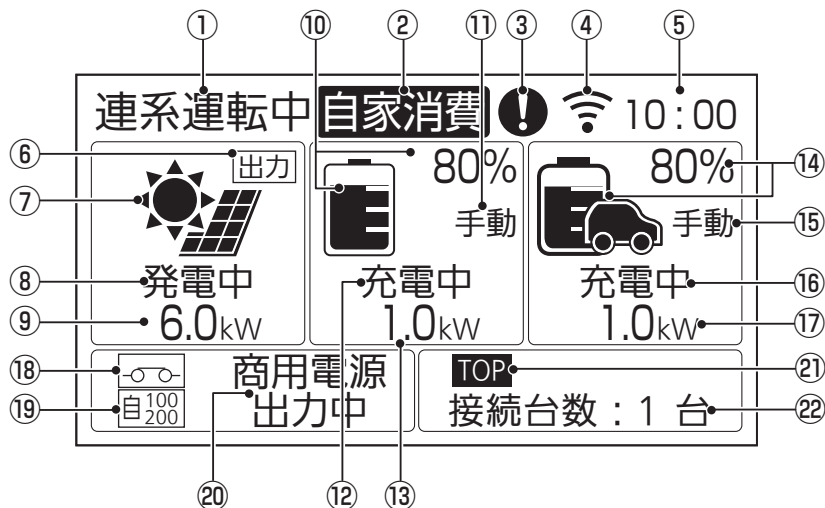
トップ画面に戻るときは

-  を押すことで、トップ画面に戻ります。

表示について

ネットリモコンのボタンの機能などは 16 ページをご確認願います。

連系運転時の画面説明



画面表示はお使いのシステムの機器構成により変わります。接続されていない機器は表示されません。

※液晶画面に表示される内容やレイアウトは、V2Hシステムを構成する機器の有無や運転状態に応じて変わります。本書では例として、別売の蓄電池ユニットなどを接続した構成での画面で説明しています。

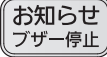
①運転状態

- 連系運転中－連系運転状態
- 連系待機中－太陽光、蓄電池、商用電源が全て待機状態
- 連系停止中－連系運転が手動または異常により停止した状態
- 自立運転中－自立運転状態(35 ページ参照)
- 自立停止中－自立運転中に停止操作を行った状態
- 維持－維持充電状態(79 ページ参照)
- 運転中－eムーブ運転状態(46 ページ参照)


②モード表示

- 自家消費／タイマー (23 ページ参照)
- ／外部制御／eムーブ／蓄電充電／EV充電

③お知らせ発生時にアイコン表示

-  を押すと発生内容が表示されます。
(19 ページ参照)

④ネットワーク接続状態

設定状態	接続時表示	未接続時
有線LAN		
無線LAN		
ネットワーク無効	表示なし	

(点滅している時は 85 ページ参照)

⑤現在の時刻

(65 ページ参照)

⑥出力制御表示

ネットリモコンにより電力会社からの出力制御が働いている場合に表示されます。

⑦太陽光発電表示

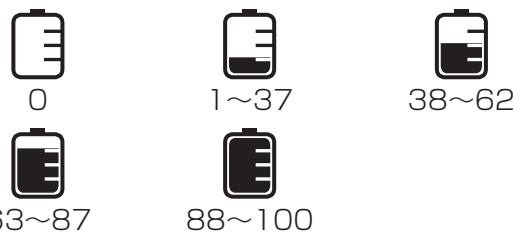
⑧太陽光運転状態

- 発電中／待機中／停止中
- 発電電力が 0 kW のときでも発電中と表示される場合があります。

⑨太陽光発電電力

直流の電力値が表示されます。

⑩蓄電池残量(目安。単位：%)



⑪蓄電池手動操作状態

蓄電池ユニットの手動操作時に表示します。

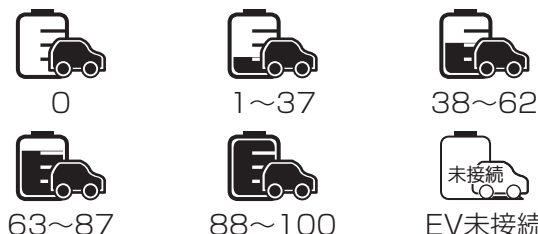
⑫蓄電池状態

充電中／放電中／待機中／停止中

⑬蓄電池充放電電力

直流の電力値が表示されます。

⑭EV蓄電池残量(目安。単位：%)



⑮EV蓄電池手動操作状態

EV蓄電池の手動操作時に表示します。

⑯EV蓄電池状態

充電中／放電中／停止中／待機中

⑰EV蓄電池充放電電力


直流の電力値が表示されます。

⑱リンクユニットリレー状態


リンクユニットを接続していない場合には、表示されません。


 リレーON：太陽光パワーコンディショナを接続


 リレーOFF：太陽光パワーコンディショナを切断

：状態不明

⑲抑制/自立出力表示

 抑制：連系運転時の抑制をしている際に表示されます。(21 ページ参照)

 自¹⁰⁰/₂₀₀：自立運転時に 100/200 V出力する場合に表示されます。

 自¹⁰⁰：自立運転時に 100 V出力する場合に表示されます。

⑳入出力状態

(入出力先は、商用電源／バックアップ回路)

入力中－電力会社からの電力を充電中

出力中－太陽光発電電力、蓄電池放電電力を分電盤へ出力中

待機中－発電状況、充放電設定時間、電気機器の使用状況に応じて入出力可能な状態

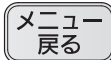
停止中－入出力を停止している状態

㉑選択機器

多機能パワーコンディショナのみの場合は、**TOP** と表示されます。

複数台接続時は、台数に応じて **1**、**2**、**3** を表示します。

複数台接続時は、  で各機器の状態を表示します。

各機器の画面で  を選択することで、トップ画面を表示します。

㉒接続台数

接続された機器数が表示されます。

※⑰と⑱の位置には運転状況に応じて

- ・各種のお知らせ情報
- ・自立運転時の蓄電池およびEV蓄電池の使用可能時間が表示されます。(下記参照)

お知らせ情報表示について

お知らせ発生時には、お知らせアイコンと共にお知らせ情報を表示します。22 ページも合わせてご確認ください。

 を押すと発生内容を表示します。

お知らせがあります
10H101

お知らせ通知

システム異常が発生しました。
点検コードを表示します。
(82 ページ参照)

停電または復電が
発生しています

停電／復電検知

停電または復電を検知しました。
手動で自立運転または連系運転への切換
が必要です。(39、40 ページ参照)

蓄電池の異常が
発生しています

蓄電池異常

蓄電池異常が発生しました。
蓄電池を切り離して運転を継続可能
です。(22 ページ参照)

スタンドの異常が
発生しています

V2Hスタンド異常

V2Hスタンドに異常が発生しまし
たが、切り離して運転継続可能です。
(22 ページ参照)

電気の使い過ぎに
ご注意ください

過負荷警告

使用可能な電力の上限に近づいてい
ます。使用機器の目安にしてください。

〇〇〇残量が
低下しています

自立運転時の電池残量低下

蓄電池またはEV蓄電池の残量が低下
しています。

連系運転開始まで
XXX 秒

連系復帰待機時間

連系運転復帰中です。連系運転開始
までの秒数を表示します。

出力制御スケジュールの
期限が近づいています

出力制御スケジュール更新必要

出力制御スケジュールの残り日数が
30 日以下となっています。

最新のファームウェア
があります

ファームウェア更新可能

新しいファームウェアに更新してく
ださい。(78 ページ参照)
(更新しないことも選択可能)

使用可能時間
自 :  :

自立時蓄電池/EV使用可能時間

自立運転時の蓄電池およびEV蓄電池
の使用可能時間の目安です。

点検・交換のお知らせ

蓄電池・充放電コネクタの停止予告
蓄電池の点検停止、または充放電コ
ネクタ交換時期のお知らせです。

商用電源を
確認しています

商用電源安定待ち

商用電源が安定すれば運転を開始し
ます。しばらくお待ちください。

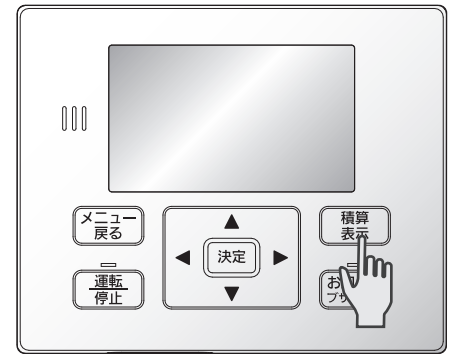
表示について(つづき)

各種電力量を表示させる

- **積算表示** を押す
- 「表示対象選択」の画面で、確認したい対象を **▲ ▼** で選択し、**決定** を押す

「積算表示(1/2)」画面が表示されます。

決定 または **メニュー戻る** を押すと、「表示対象選択」の画面に戻ります。



積算発電量	設置時からの太陽光発電の発電量の積算値です。
積算放電量(蓄電)	設置時からの蓄電池ユニットの放電電力量の積算値です。
積算充電量(V2H) 積算放電量(V2H)	設置時からのV2Hスタンドの充電および放電電力量の積算値です。
買電電力量 売電電力量	設置時からの買電電力および売電電力の積算値です。
買電電力 売電電力	買電電力・売電電力の瞬時値です。

※パワコン2では、太陽光パワーコンディショナの積算発電量が表示されます。

- 「表示対象選択」の画面で **メニュー戻る** を押すと、トップ画面に戻ります。

表示対象選択	
▶ パワコン1	
▶ パワコン2	
項目選択	[決定] 表示画面へ

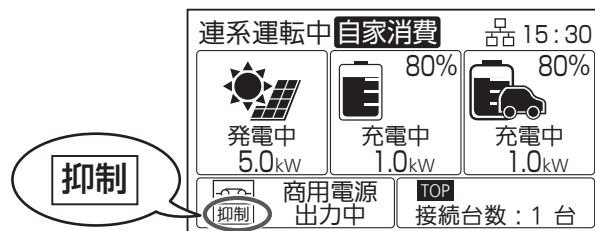
積算表示(1/2) パワコン1	
積算発電量	0 kWh
積算放電量(蓄電)	0 kWh
積算充電量(V2H)	0 kWh
積算放電量(V2H)	0 kWh
ページ切換	[決定] 選択メニューへ

積算表示(2/2) パワコン1	
買電電力量	0 kWh
売電電力量	0 kWh
買電電力	0.0 kW
売電電力	0.0 kW
ページ切換	[決定] 選択メニューへ

- ネットリモコンに表示される電力量は、電力計の値と異なる場合があります。
- 十分な日射がある時に多機能パワーコンディショナが最大電力付近で運転を続けると、内部の温度が上昇して抑制運転を行い、発電量が少なくなることがあります。保護機能ですので、故障ではありません。頻繁に発生する場合は、多機能パワーコンディショナの設置環境をご確認ください。

電圧上昇抑制について

抑制 と表示されたときは、電圧上昇抑制が働いています。商用電源の電圧が規定値(電力会社による指定値が設定されています)を超えないように、多機能パワーコンディショナは出力を抑制しますが、異常ではありません。商用電源の電圧が規定値内に戻れば、通常運転に戻り、**抑制**表示は消えます。頻繁に発生する場合は、商用電源側での対策が必要であるため、お買い上げの販売店または施工店、もしくは管轄の電力会社にご相談ください。

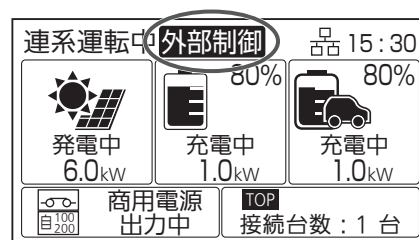


抑制運転中の充電

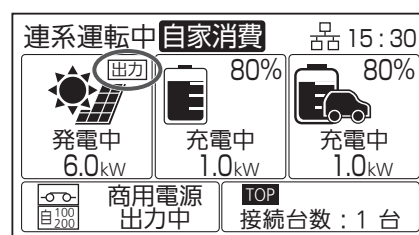
電圧上昇抑制の運転中は、太陽光発電による売電量が少なくなる可能性があります。ただし、蓄電池やEV蓄電池(ロック時)に空き容量があれば、売電できない発電電力を充電することができます。タイマーモードの放電時間帯であっても、抑制運転中の余剰電力は充電します。

外部制御・出力制御について

多機能パワーコンディショナは、ネットワークに接続することで、ECHONET Liteにより、充放電(充電、放電、待機)の外部制御が可能です。例えば、AiSEG2 のカスタム運転モード機能などを用いて、電気料金プランに連動した充放電制御が可能です。制御中は、ネットリモコンに「外部制御」と表示されます。外部制御による充放電を停止したい場合は、HEMSコントローラーを操作するか、ネットリモコンの **運転停止** を押して運転を停止してください。



出力制御運転中は **出力** と表示されます。出力制御運転中は、売電量が少なくなる可能性がありますが、蓄電池ユニットに空き容量があれば、売電できない余剰の発電電力を充電します。タイマーモードの放電時間帯であっても、充電することができます。ネットリモコンでの出力制御を有効としている場合に、定格出力を 100 %未満に抑制する必要がある時間帯に **出力** が表示されます。AiSEG2 や電力検出ユニット(MCSM-PO5)から出力制御する場合には表示されません。出力制御の動作状況は、出力制御を有効にしている機器でご確認ください。

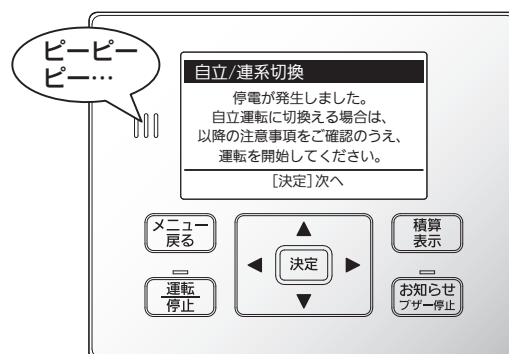


停電した場合

商用電源の停電が発生すると、ネットリモコンのブザーが鳴り、停電発生のお知らせが表示されます。商用電源が停電した場合、本装置は自動的に運転を停止します。商用電源が正常に戻れば約5分後自動的に運転を再開します。


(**運転停止** を操作する必要はありません。)

停電した場合は、自立運転に切り換えることが可能です。切換方法は 39 ページをご確認ください。
※自立運転自動切換設定時は、本操作は不要です。



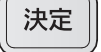
表示について(つづき)


異常発生について

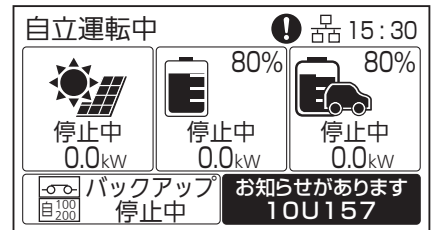
異常が発生したら、ネットリモコンでお知らせアイコン  とお知らせが表示されます。

 を押すと、発生内容や点検コードが表示されます。

点検コードは 82~85 ページを確認し、対処してください。

 を押すとトップ画面に戻りますが、システムの問題が解消され

るまではお知らせアイコン  が点滅表示されます。また、お知らせランプも点滅します。




お知らせ確認

電気の使い過ぎです。
 使用する機器を減らして
 決定を押してください。
 10U157

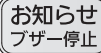
[決定] トップ画面へ

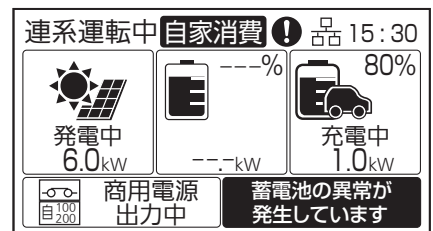
蓄電池異常切り離し運転 蓄電池あり

蓄電池ユニットに異常が発生した場合、ネットリモコンのお知らせアイコン  とお知らせメッセージが表示されます。

太陽光発電に影響がなければ、自動で蓄電池ユニットを切り離し、蓄電池ユニットの充電、放電をせずに、太陽光発電のみ運転を継続します。

蓄電池ユニットを2台接続している時に、片方の蓄電池ユニットに異常が発生した場合には、異常が発生した蓄電池ユニットのみ切り離して運転を行い、正常な蓄電池ユニットは継続運転します。

 を押すと、お知らせと点検コードが表示されます。お客さま相談窓口にご相談ください。




お知らせ確認

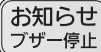
異常を検知したため
 蓄電池を切り離しています。
 修理窓口へご連絡ください。
 11H552

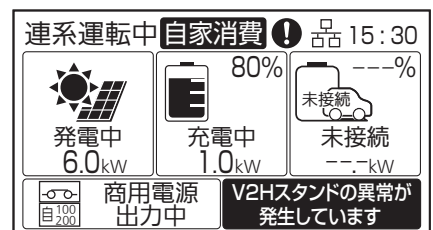
[決定] トップ画面へ

V2Hスタンド異常切り離し運転

V2Hスタンドに異常が発生した場合、ネットリモコンのお知らせアイコン  とお知らせメッセージが表示されます。

他の構成機器に影響がなければ、自動でV2Hスタンドを切り離し、残りの機器のみでシステムの運転を継続します。

 を押すと、お知らせと点検コードが表示されます。お客さま相談窓口にご相談ください。



お知らせ確認

異常を検知したため
 V2Hスタンドを切り離しています。
 修理窓口へご連絡ください。
 13H773

[決定] トップ画面へ

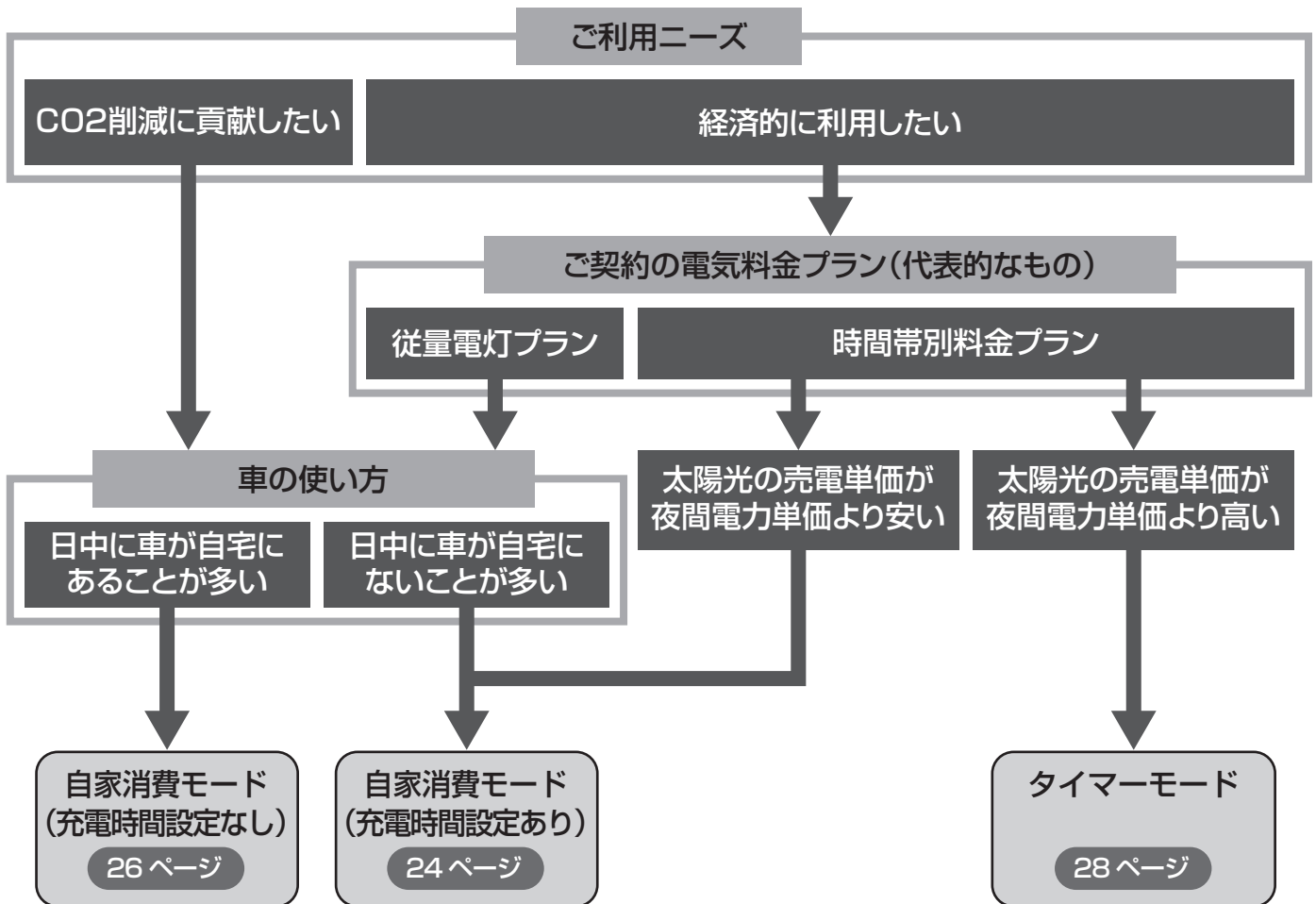
運転モード

多機能パワーコンディショナには下記の運転モードがあります。蓄電池やEV蓄電池を有効活用することで、自分らしいライフスタイルに合った電気の使い方をサポートします。

運転モード	モード説明
自家消費モード	余剰電力(太陽電池モジュールで発電した電気のうち、宅内で使用しなかった電気)で充電。宅内で使用する電気が増えた際に、電力会社から買う電気を抑えるように放電することで、積極的に自家消費を行うモードです。
充電時間設定あり	余剰電力だけでは宅内やEV充電に使用する電気が足りない場合に備え、深夜など電気代がお得な時間帯にも設定した上限まで充電します。電気をたくさん使われる方におすすめです。
充電時間設定なし	余剰電力を使って充電します。電気の自給自足を目指したい方におすすめです。
タイマーモード	余剰電力ではなく深夜など電気代がお得な時間帯に充電し、日中や夕方などの電気代が割高な時間帯に購入を抑えるように放電するモードです。太陽電池モジュールで発電した電気はなるべく電力会社に売電したい方におすすめです。

運転モードの選択

お客様のご利用ニーズにより運転モードを選択してください。発電状況によっては、最適な運転モードが異なる場合がありますので、発電量および売電量をご確認の上設定してください。



運転モードの変更方法は、「運転モード設定」(53 ページ)をご確認ください。

自家消費モード(充電時間設定あり)

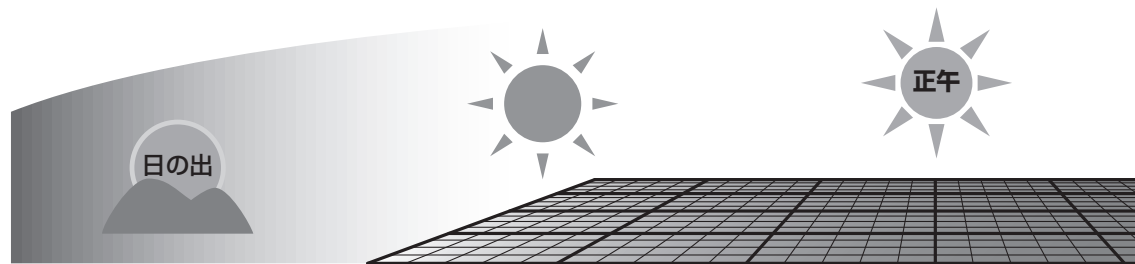
運転モードの変更方法は、「運転モード設定」(53 ページ)をご確認ください。

自家消費モード(充電時間設定あり)

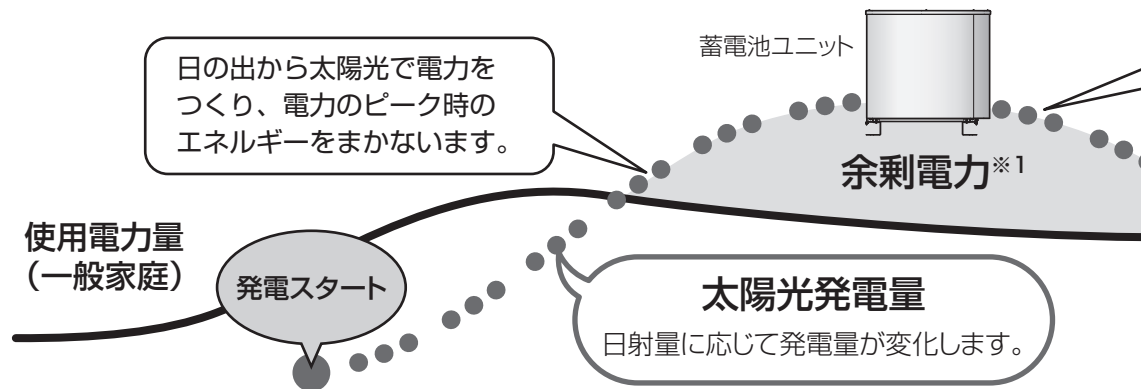
太陽光発電の電力を家で有効に使いつつ、EV蓄電池および蓄電池ユニットは、割安な夜間(深夜)時間帯に充電するよう充電時間を設定します。

- ・ 固定価格買取期間を終了した方
- ・ 時間帯別電気料金プラン等を契約している方におすすめのモードです。

太陽の状態



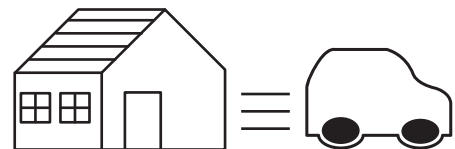
電力の状態



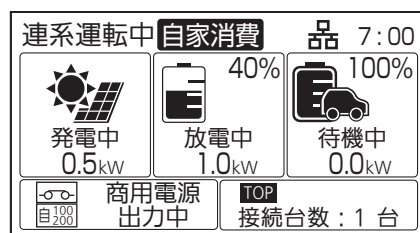
蓄電池



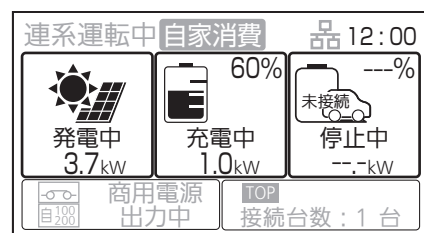
EV蓄電池



ネットリモコン画面表示(例)



日射が始まると、太陽光発電が開始します。



日射が増えると、太陽光発電の余剰分を充電します。

● 画面の表示については 18 ページをご参照ください。

※画面に記載の数値は参考値です。

ご注意

- 太陽光の余剰電力で蓄電池ユニットに充電するため、日射条件や機器の使用状況の変化によって充電量が変わり、満充電にならない可能性があります。
- ご契約の電力料金プランや蓄電池の容量に合わせて、充電時間帯を設定してください。
- EV蓄電池および蓄電池ユニットの容量、実際の走行距離等に合わせ、充電・放電の優先度を設定してください。



太陽光でつくった電力を使い、余った電力は蓄電池にためます。さらに余った場合は売電します。

- ※1 太陽光発電の余剰電力を売電中に、蓄電池は放電しません。
- ※2 充電時間帯は、蓄電池は放電しません。
- ※3 残量が放電下限(平常時)(54ページ参照)付近を下回ったときに充電する場合があります。

商用電源から蓄電池に充電します。

商用電源からEV蓄電池および蓄電池ユニットに充電※2

発電ストップ

蓄電池から供給



充電可能な時間帯

連系運転中		自家消費		品
15:00	100%	---	---	---
発電中 0.5kw	待機中 0.0kw	未接続	停止中 --,-kw	
商用電源 出力中	TOP 接続台数: 1台			

蓄電池ユニットが満充電になると余剰分を売電します。

連系運転中		自家消費		品
20:00	50%	50%	---	---
待機中 0.0kw	放電中 2.0kw	待機中 0.0kw		
商用電源 出力中	TOP 接続台数: 1台			

日射量が減ると太陽光発電の不足分を補うように放電します。

連系運転中		自家消費		品
23:00	75%	85%	---	---
待機中 0.0kw	充電中 1.5kw	充電中 6.0kw		
商用電源 入力中	TOP 接続台数: 1台			

「充電時間設定あり」のため、商用電源からEV蓄電池および蓄電池ユニットに充電します。

自家消費モード(充電時間設定なし)

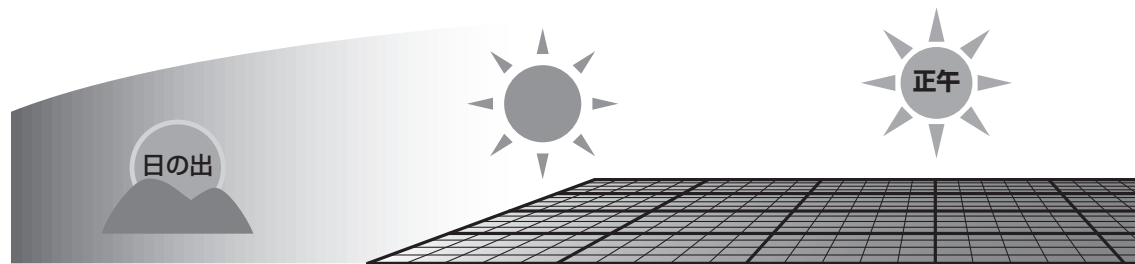
運転モードの変更方法は、「運転モード設定」(53 ページ)をご確認ください。

自家消費モード(充電時間設定なし)

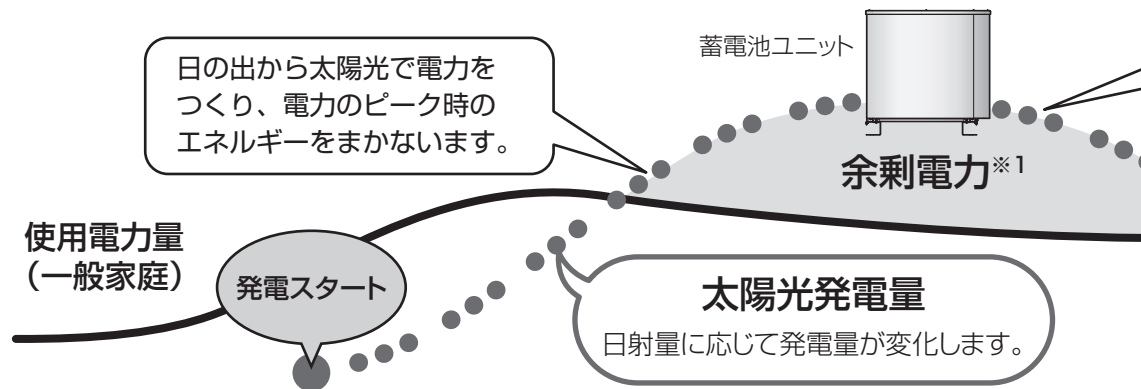
買電による充電は行わず、太陽光発電の電力を家で有効に使い、電力会社からの買電量を抑えます。必要時は、手動充電をお願いします。

・固定価格買取期間を終了した方におすすめのモードです。

太陽の状態



電力の状態



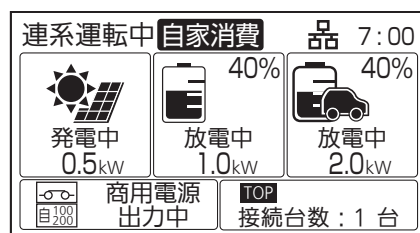
蓄電池



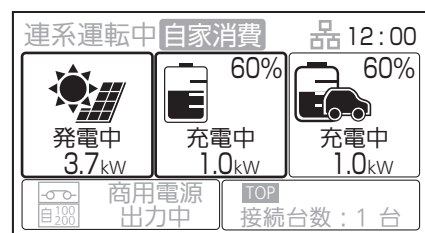
EV蓄電池



ネットリモコン
画面表示(例)



日射が始まると、太陽光発電が開始します。



日射が増えると、太陽光発電の余剰分を充電します。

●画面の表示については 18 ページをご参照ください。

※画面に記載の数値は参考値です。

ご注意

- 太陽光の余剰電力でEV蓄電池および蓄電池ユニットに充電するため、日射条件や機器の使用状況の変化によって充電量が変わり、満充電にならない可能性があります。
- EV蓄電池への充電が必要な場合は、手動充電をお願いします。



太陽光でつくった電力を使い、余った電力は蓄電池にためます。さらに余った場合は売電します。

※1 太陽光発電の余剰電力を売電中に、蓄電池は放電しません。

昼間にためた電力を使って、電力会社からの購入電力を抑えます。

発電ストップ

蓄電池から供給



※2 残量が放電下限(平常時)(54 ページ参照)付近を下回ったときに充電する場合があります。



連系運転中	自家消費	品 15:00
発電中 0.5kw	100% 待機中 0.0kw	100% 待機中 0.0kw
商用電源 出力中	TOP	接続台数: 1 台

EV蓄電池および蓄電池ユニットが満充電になると余剰分を売電します。

連系運転中	自家消費	品 20:00
待機中 0.0kw	70% 放電中 2.0kw	70% 放電中 2.0kw
商用電源 出力中	TOP	接続台数: 1 台

日射量が減ると太陽光発電の不足分を補うように放電します。

連系待機中	自家消費	品 23:00
待機中 0.0kw	40% 待機中 0.0kw	40% 待機中 0.0kw
商用電源 待機中	TOP	接続台数: 1 台

EV蓄電池および蓄電池ユニットの残量が放電下限に近付くと、放電を停止します。放電停止後に微量な充電をすることがあります。

タイマーモード

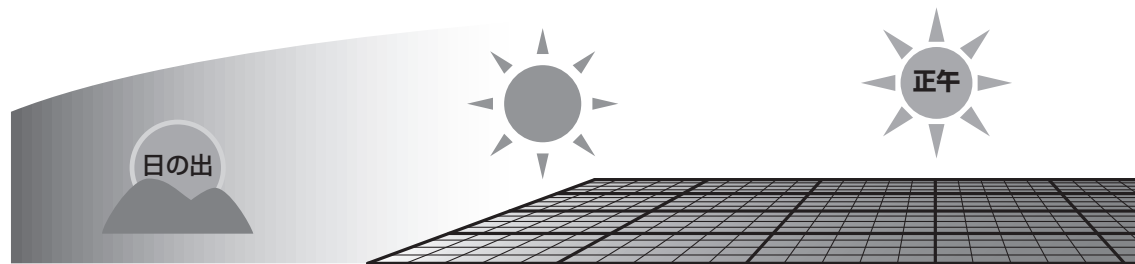
運転モードの変更方法は、「運転モード設定」(53 ページ)をご確認ください。

タイマーモード

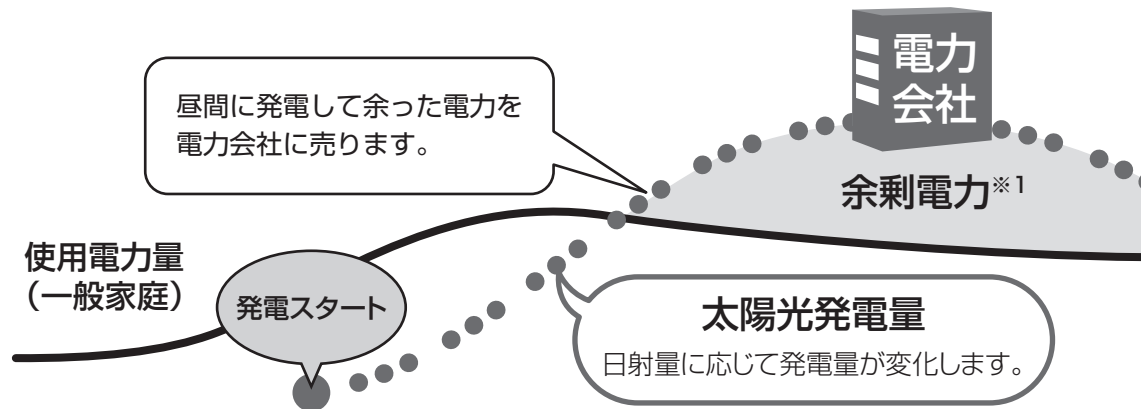
割安な深夜時間帯に充電し、昼間や夜間に放電する設定で、「買電料金の抑制」や「ピーク電力の抑制」につながります。

・固定価格買取期間中の方におすすめのモードです。

太陽の状態



電力の状態



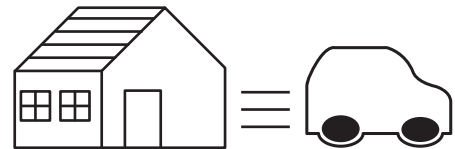
蓄電池



※充電可能な時間が短い場合や低温の場合は、満充電にならないことがあります。

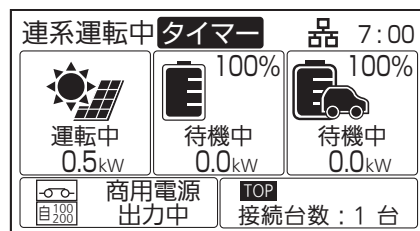


EV蓄電池

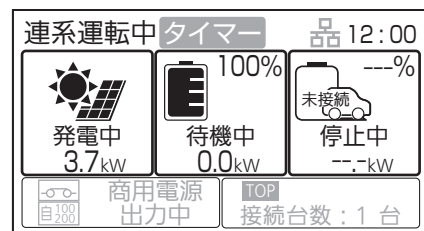


充電可能な時間帯

ネットリモコン画面表示(例)



満充電になると、放電開始時刻まで充放電を停止します。



太陽光発電が始まり、日射量が増えると余剰分を売電します。

●画面の表示については 18 ページをご参照ください。

※画面に記載の数値は参考値です。

ご注意

- タイマーモードで使用する場合、定期的にネットリモコンの日時を確認してください。
日時がずれると、電気料金が安い時間帯に充電するなど、経済的な損失が発生する場合があります。
- ご契約の電力料金プランや蓄電池の容量に合わせて、充電／放電可能な時間帯および充電・放電の優先度を設定してください。
- 本モードでは、パワーアップ充電はできません。(81 ページ参照)



- ※1 太陽光発電の余剰電力を売電中に、蓄電池は放電しません。
- ※2 充電時間帯は、蓄電池は放電しません。
- ※3 残量が放電下限(平常時) (54 ページ参照)付近を下回ったときに充電する場合があります。

蓄えた電力で太陽光発電による不足分を補います。

電気代の安い夜間のうちに電力会社から電力を購入します。

発電ストップ

蓄電池からのアシストで買電量抑制

商用電源からEV蓄電池および蓄電池ユニットに充電※2



放電可能な時間帯

連系運転中	タイマー	15:00
発電中 1.7kw	放電中 85% 1.0kw	未接続 停止中 ---% ---kw
商用電源 出力中	TOP	接続台数: 1台

放電可能な時間帯に、太陽光発電の不足分(電力会社から購入する電力)を補うように放電します。

連系待機中	タイマー	20:00
待機中 0.0kw	待機中 40% 0.0kw	待機中 50% 0.0kw
商用電源 待機中	TOP	接続台数: 1台

蓄電池ユニットの残量が放電下限に近づくと、放電を停止します。

充電可能な時間帯

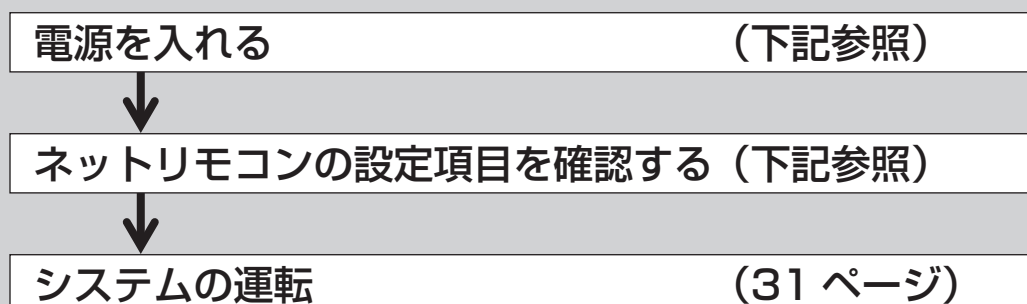
連系運転中	タイマー	23:00
待機中 0.0kw	充電中 60% 1.5kw	充電中 85% 6.0kw
商用電源 入力中	TOP	接続台数: 1台

充電可能な時間に、満充電になるまで充電します。

はじめてお使いになるときは

はじめてお使いになるときは、施工店に『システムの運転』の実施を依頼してください。

(運転前に電力会社との連系協議と竣工検査が必要です)



電源を入れる

はじめてお使いになるときは、施工会社に下記の状態を確認の上、各種設定を行い、運転を開始してください。

- 住宅用分電盤の太陽光発電システム連系ブレーカがON(入)になっていること。

ネットリモコンの設定項目を確認する

以下の最初の操作は、施工店に実施を依頼してください。

■運転モード設定…連系運転時の運転モードを設定します。(53 ページ参照)

■運転パラメータ設定…充電・放電を行う時間帯などの連系運転に関する以下の項目を、選んだ運転モードに応じて設定します。

- 放電下限設定 : 蓄電池およびEVの放電量の下限値を設定します。(54 ページ参照)
- 自家消費モード詳細設定 : 自家消費モードでの運転に必要な以下の設定を行います。(55 ページ参照)
 - ・充電時間帯(蓄電池・EV共通)
 - ・蓄電池充電上限
 - ・EV充電上限
- タイマーモード詳細設定 : タイマーモードにおける、蓄電池およびEVの充電時間帯・放電時間帯を設定します。(56 ページ参照)
- EV放電許可設定 : 自動モードおよび外部制御による運転中に、EVからの放電を許可するかどうかを設定します。(56 ページ参照)
- 充放電優先度設定 : 蓄電池とEVのどちらを優先して、充電および放電するかを設定します(57 ページ参照)

以上の設定がされていることをご確認ください。

システムの運転

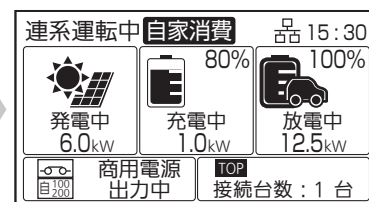
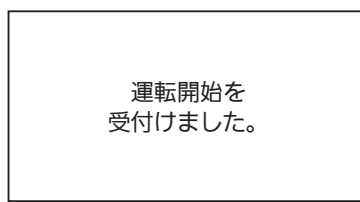
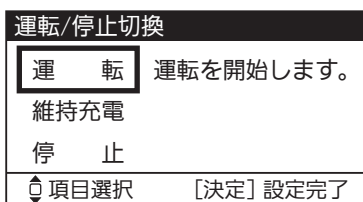
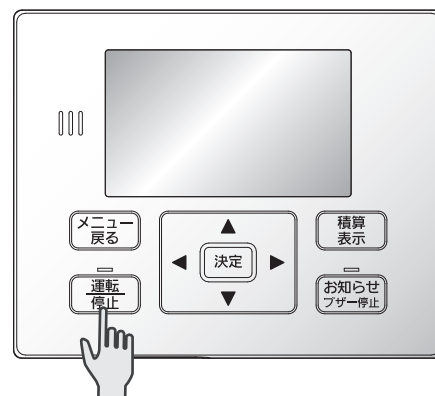
運転を開始する

下記の手順で運転を開始します。

1 **運転停止** を押す

2 「運転」を **▲ ▼** で選択し、**決定** を押す

「運転開始を受けました」と表示され、
トップ画面が表示されます。
「連系運転中」となります。



(パソコン1台接続時)
※約5分後に連系運転を開始します。

基本の使いかた

はじめてお使いになるとき **蓄電池あり**

「維持充電」に設定されている場合は、施工店にご連絡をお願いします。

■本システムは、試運転を実施しないとご利用できません。必ず、試運転を完了させてください。
不明の場合は、お買い上げの販売店、施工店にご確認ください。

遠隔出力制御について

本製品は、2015年1月22日公布の電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令と関連告示に対応した機器です。

遠隔出力制御を行うためには、対応した以下の機器が必要です。

- 多機能パワーコンディショナ(制御対応)
 - 出力制御ユニット(電力検出ユニット、モニターなど)
- また、電力会社によっては、原則インターネット接続が必要です。

なお、下記の費用はお客様のご負担となります。

・インターネット回線契約 ・利用に伴う費用 など

遠隔出力制御の対応のため、出力制御ユニットのファームウェア(ソフトウェア)の更新や設置場所での作業(有償)が必要となる場合もあります。遠隔出力制御は、電力会社の要請により実施されますので、詳細については電力会社にご確認ください。

EVへの充電(自動)～片付け

設定した運転モードでシステムを運転中に、EVに自動で充電(放電)します。

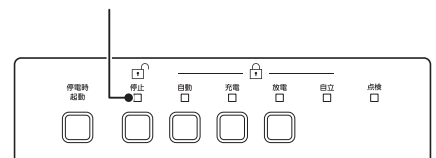
※EV側での操作が必要な場合もありますので、充電・放電を行う前にEVの取扱説明書をよくご確認ください。

充放電コネクタを接続する

1 停止LED(緑色)が点灯していることを確認する

LED表示状態については 15 ページをご確認ください。

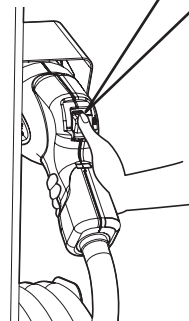
停止 LED



2 充放電コネクタをコネクタホルダーから取り外す

離脱ボタンを押しながら取り外してください。

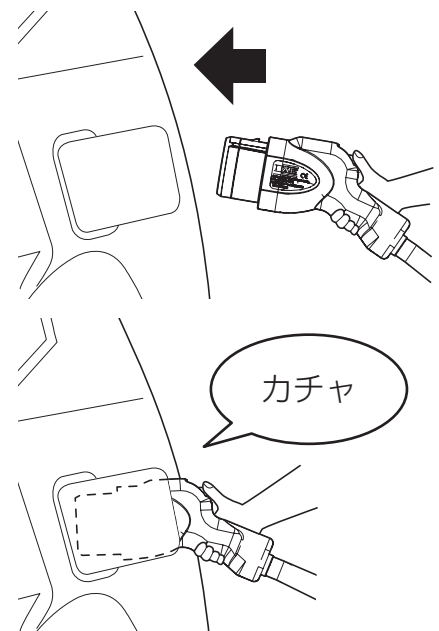
離脱ボタンを押しながら取り外す



3 ケーブルフックに巻き付けてある充放電ケーブルを取り外す

4 2か所のガイドをEVの給電口の溝に合わせながら充放電コネクタを差し込む

「カチャ」と音がして、確実に固定されたことを確認してください。

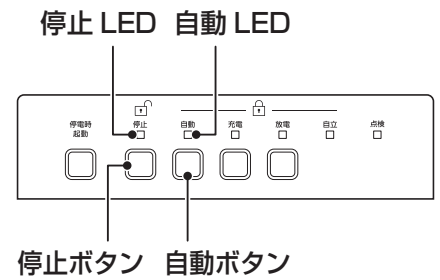


- 以下で設定されている値を超えてEV蓄電池を充電・放電することはできません。対応車種固有の充電上限・放電下限は、当社ホームページよりご確認ください。(34 ページ)
 - ・EV充電上限(55 ページ)
 - ・放電下限設定(平常時/停電時) (54 ページ)
 また、EVから放電するためには、「EV放電許可設定」を「許可」に設定する必要があります。(56 ページ)

自家消費モード (EV充電上限)		放電下限設定 (平常時)	
EV固有充電上限	EV充電上限 (50%~100%)	EV固有放電下限	平常時EV放電下限 (+10%~+70%)
95 %	▲80%	10 %	▲+40 %
⬇️値変更	[決定] 設定完了	⬇️値変更	[決定] 選択確定

5 操作部の自動ボタンを押す

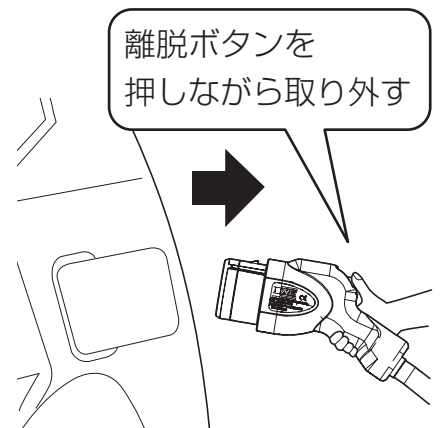
自動LEDがしばらく点滅したあと赤色点灯し、設定した動作を行います。
操作部の停止ボタンを押すと、V2Hスタンドは待機状態に戻り、停止LED(緑色)が点灯します。



充放電コネクタを片付ける

6 停止ボタンを押し、給電口から充放電コネクタを取り外す

停止LED(緑色)の点灯後、離脱ボタンを押しながら取り外してください。
EVの充電状態は、ネットリモコンのトップ画面で確認してください。



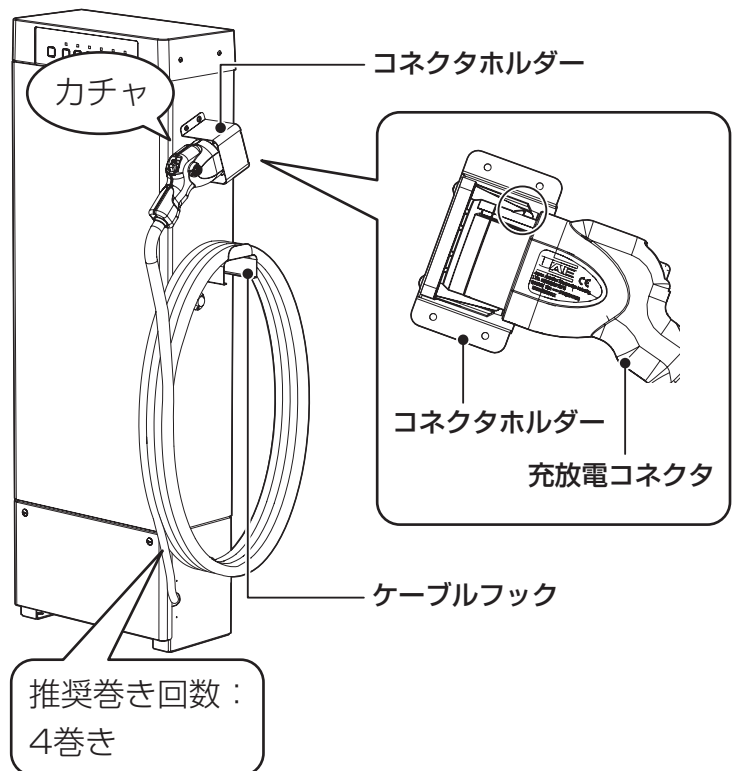
基本の使いかた

7 充放電ケーブルをケーブルフックに巻き付ける

充放電ケーブルが地面につかないように推奨回数(4巻き)巻き付けてください。

8 充放電コネクタをコネクタホルダーに戻す

充放電コネクタの2か所のガイドがコネクタホルダーの溝に合うように戻し、「カチャ」と音がして、確実に固定されたことを確認してください。



EV接続時のご注意

■V2H蓄電システムに接続可能な電気自動車(EV・PHEV)は、当社公表の対応車種に限ります。

対応車種は、当社ホームページでご確認ください。

<https://cic-solar.jp/>

今後発売される車両については、全ての車種の接続をお約束するものではありません。

接続確認ができた車両については、順次当社ホームページで公開してまいります。



■本システムをご使用になる前に、必ず接続車両の取扱説明書をご確認ください。

■充放電コネクタや手が濡れた状態では、使用しないでください。

感電のおそれがあります。

もし、水分や雪などが付いた場合は、乾いた布で十分に拭きとってください。強い風雨の場合は、十分ご注意ください。

■雷鳴時(使用時間中に予想される場合も含む)は、使用しないでください。

■車両充電中にネットリモコンに表示される充電電力の変化が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。

自立運転について

自立運転とは

自立運転は、停電時に多機能パワーコンディショナの電力を自立運転出力回路から使用できる運転方法のことを言います。使用できる機器は、バックアップ用住宅分電盤または自立運転コンセントに接続している機器のみとなります。(電力切替ユニットを分電盤一次側設置している場合には、通常時(連系運転時)に使用している機器が使えます。)

<電力切替ユニットありの場合>

バックアップ用住宅分電盤



停電時にも使用したい機器の例
(電力切替ユニットなしの場合、自立運転コンセントに接続した機器は停電時のみ使用できます。)

<電力切替ユニットなしの場合>

自立運転コンセント



電力切替ユニットを設置すると、バックアップ用住宅分電盤の配電設計により、停電時も差し換えなしで電気機器、通信機器などを使用できます。

また、コンセント式でない照明器具なども使用可能です。

■停電時に機器を使用するためには切替操作が必要です。

- 自立運転の切替方法が、手動切替か自動切替かをご確認ください。
詳細は「自動/手動切替設定」(68 ページ)をご確認ください。
必ず、次ページの「自立運転を行う場合」をご理解した上でご利用願います。
- 自立運転を行う際は、必ずネットリモコンの切替操作を行ってください。(39 ページ参照)
ただし、自立運転を自動切替に設定した場合は、切替操作は不要です。
- 電力切替ユニットなしの場合は、自立運転の切替方法を自動切替にしないでください。
停電が復旧したときに、電気が流れていなかったコンセントに自動で流れ始めたり、コンセントの差し換えを忘れた場合、接続された機器に電気が流れないままになるなどのトラブルが発生するおそれがあります。

■電力切替ユニット、バックアップ用住宅分電盤に接続されるコンセントまたは自立運転コンセントを使用してください。(電力切替ユニットを分電盤一次側設置で使用している場合は除きます)

自立運転のときは、バックアップ用住宅分電盤に接続されるコンセント、または自立運転コンセントのみご利用ください。停電時にその他のコンセントは使用できません。

■太陽光パワーコンディショナの停電時のお知らせを確認するには

- 太陽光パワーコンディショナを接続している時に停電し、一定時間経過すると、お知らせが表示されます。

お知らせを確認するには、 を押してください。(19、82 ページ参照)

自立運転について(つづき)

自立運転を行う場合

警告



●自立運転時に給電されるコンセントに以下の電気機器をつながない

- ・全ての医療機器、防犯機器
- ・デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器
- ・灯油やガスを用いた暖房機器、および停電から復旧したときに、自動的に運転を開始する暖房・電熱機器
- ・電気ストーブ、電熱調理器具などの、高温部が露出し、かつ安全装置がない器具
- ・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器



蓄電池(EV蓄電池含む)残量が不足しているときの自立出力は、天候の状態により定格容量に達しない場合があります。多機能パワーコンディショナの出力電力よりも、自立運転時に給電されるコンセントにつないだ電気機器の消費電力が大きいときは運転を停止します。

途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある電気機器はご使用にならないでください。

●自立運転時に給電されるコンセントには、自動で給電された場合に不安全となる可能性がある機器は接続しない(自動切換設定時)

注意



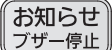
必ず守る

●説明書に従って点検を実施し、多機能パワーコンディショナや自立運転時に給電されるコンセントに接続される電気機器が安全な状態であることを確認してから自立運転を開始する(手動切換設定時)

●自立運転開始後に多機能パワーコンディショナや、自立運転時に給電されるコンセントに接続している電気機器から発煙、異臭や異音が出た場合は、直ちに自立運転を停止する

■自立運転が自動的に止まった時は、使用する機器が多い可能性があります。使用する機器を減らしてください。

- 消費電力が出力可能な電力より大きいと、運転を一時停止し、自動的に再度自立運転を行います。
- 複数回繰り返した場合には、機器保護のため、運転を停止し、お知らせとブザー音でお知らせします。

発生内容は、で確認できます。

使用する機器を減らした後、表示内容に従って操作し、運転を再開してください。

- 電力切替ユニットやバックアップ用住宅分電盤を使用の場合は、内部のブレーカがOFF(切)になった可能性があります。接続機器を減らしてブレーカをON(入)にしてください。
- 点検コードが表示された場合、充放電コネクタのロックは解除されます(アンロック)。必要に応じて、手動操作でロックしてください。(EV蓄電池から放電するためには、充放電コネクタはロックしている必要があります。)

ただし、以下の4つの点検コード発生時は、ネットリモコンの画面表示に従い異常状態を解除すると自動的にロック状態に戻ります。

- ・U152
- ・U155
- ・U157
- ・U164

■停電時の自立運転でEV蓄電池から放電を行うには、充放電コネクタが繋がれロックされている必要があります。

自立運転時のご注意

- 電気機器の中には電源投入時に大きな電流が流れるものがあります。
そのときには、保護機能が働き、自立運転を停止することがあります。
- 同時に使用できる電力には限りがあります。
自立運転で使用できる電力は、蓄電池の数やEVの接続、自立出力の結線(单相2線 100 V/单相3線 200 V)で変わります。
また、多機能パワーコンディショナの運転を維持するため、微量な電力を消費します。
太陽光発電システムで発電した電力と蓄電池ユニットの放電電力よりもバックアップ回路に接続した機器の消費電力が大きい場合、自立運転を停止します。
- 使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。
太陽光発電システムで発電した電力を使用するため、天候や蓄電池ユニットの状態の変化などで出力が不安定になることがあります。太陽光発電や蓄電池の電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。
- 自立運転が自動停止した場合、使用中の電気機器を一部停止し、消費電力を小さくすると、自動的に運転を再開します。(消費電力オーバーを連続で繰り返すと、エラーの解除操作が必要になります。)
- 多機能パワーコンディショナから供給される自立出力は、商用電源と完全に同一ではありません。
位相制御するタイプの調光器具などは、自立出力でお使いの際に平常時と動作が異なる場合があります。
例えば、調光器具の場合は、調光レベルによってちらつきが発生する場合があります。
その時は調光レベルを調節して使用してください。
- 設置環境や車種によっては、電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHEV)へ充電できない場合があります。
- リンクユニット使用時を含め、他社製HEMS機器などの制御装置の動作を保証するものではありません。

蓄電池等(EV蓄電池および蓄電池ユニット)の自立運転

■自立運転による放電とその後の充電について

- 自立運転は、蓄電池等の残量がなくなるまで運転を行い、蓄電池等の残量がなくなった時に自動的に運転を停止し、使用している電気機器も停止します。
蓄電池等の残量が一定残量以下になり、太陽電池モジュールからの発電がある場合には、強制的に充電を行います。蓄電池ユニットの残量がない状態が続いた場合、蓄電池の過放電保護により、蓄電池ユニット内のブレーカがOFF(切)になり、お客様による復旧ができなくなります。復旧には、お買い上げ販売店または施工店にご連絡願います。
- 商用電源が復帰し連系運転に戻ると、選択している運転モードに従い動作します

ご注意

- 夜間(太陽電池モジュールが十分に発電していない状態)で蓄電池ユニットの接続がなく、かつ停電時に、充放電コネクタがアンロック状態でネットリモコンの運転/停止切換で「停止」を選択した場合、ネットリモコンの電源が落ち、表示部も消えて、運転操作ができなくなります。ネットリモコンの電源が切れた場合、再び操作するためには、停電が復旧するか、太陽電池モジュールが発電するか、V2Hスタンドの停電時起動を行う(74 ページ)必要があります。

蓄電池等の自立運転時のご注意

- 蓄電池等の残量が不足しているときの自立出力電力は天候の状態により変化します。くもりや朝・夕など太陽電池モジュールの発電量が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できずに、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。

自立運転について(つづき)

リンクユニット接続時の自立運転

他社製などの併設の太陽光パワーコンディショナの連系点に、別売のリンクユニットを接続することで、停電中も太陽光パワーコンディショナを連系出力状態のまま運転させることができます。これにより、停電中であっても、積載パネルからの発電電力を最大限活用することができます。

■自立運転中に太陽光の発電量が消費電力や充電量を上回った場合

- 併設の太陽光パワーコンディショナから出力される電力が、消費電力量を上回りかつ蓄電池等の充電可能容量も上回った場合(もしくは蓄電池等が接続されていない場合)*は、リンクユニットの保護機能が働いて、太陽光パワーコンディショナの運転を停止します。

※本説明書では、この状態を「過発電状態」と呼びます。

- 運転停止後は、多機能パワーコンディショナが自立運転中であれば、過発電状態から復帰した所で、太陽光パワーコンディショナからの連系運転を再開します。

■自立運転中に多機能パワーコンディショナが運転を停止した場合

- リンクユニットの起動には、多機能パワーコンディショナの出力電力が必要となります。天候や蓄電池等の残量不足などにより多機能パワーコンディショナが運転を停止した場合は、使用する機器を減らしたり、十分な日射を確認して再度運転を開始してください。
- 多機能パワーコンディショナに蓄電池のみが接続されている場合、運転停止後に、蓄電池の残量が放電下限まで達してしまうと、併設の太陽光パワーコンディショナからの出力を再開できなくなります。
- 運転停止後に、多機能パワーコンディショナの蓄電池残量が下限に達して、自立運転が停止してしまった場合は、以下の手順で多機能パワーコンディショナの自立出力を一時的に復帰させてください。
 1. 「放電下限設定(停電時)」を0%まで下げてください。(54 ページ参照)
 - ・元の設定値は忘れないように記録しておいてください。
 - ・太陽光による発電が期待できる日中に行ってください。
 2. 自立運転を再開します。
システムの運転(31 ページ参照)で運転を開始してください。
 3. ネットリモコンの画面で「リンクユニット状態」が「リレーON(接続)」となっていることを確認してください。(19 ページ参照)
 4. 併設の太陽光パワーコンディショナからの発電などにより、蓄電池の残量が元の放電下限設定(停電時)の値まで回復したら、「放電下限設定(停電時)」を元の値に戻してください。

自立運転の点検について

点検のために自立運転を行う場合には、下記の手順に従い、自立運転を開始してください。注意事項をご確認願います。(36 ページ参照)

操作がご不明な場合は、施工店にご連絡をお願いします。

■自立運転開始手順

- 電力切替ユニット(分電盤一次側設置)の場合
 1. 電力切替ユニット内の太陽光発電システム連系ブレーカをOFF(切)にしてください。
 2. 電力切替ユニット内の主幹ブレーカをOFF(切)にしてください。
 3. 39 ページに従い、操作してください。
 4. 住宅用分電盤またはバックアップ用住宅分電盤に接続されている自立運転コンセントに接続している機器が使えるかご確認ください。
- 電力切替ユニット(分電盤二次側設置)、または電力切替ユニットなしの場合
 1. 住宅用分電盤内の太陽光発電システム連系ブレーカをOFF(切)にしてください。
 2. 住宅用分電盤内の電力切替ユニットに接続しているブレーカをOFF(切)にしてください。
※電力切替ユニットなしの場合は、この操作は不要となります。
 3. 39 ページに従い、操作してください。
 4. 電力切替ユニットまたはバックアップ用住宅分電盤に接続されている自立運転コンセントに接続している機器が使えるかご確認ください。

復帰するには、上記の逆の手順で操作してください。

自立運転の操作

停電時(自立運転を始める)



停電になったら自立運転に切り換えます。
※自動/手動切換設定を「自動切換」に設定している場合には、操作は不要です。

停電が発生するとネットリモコンのブザーが鳴り、「自立/連系切換」画面に停電発生のお知らせが表示されます。

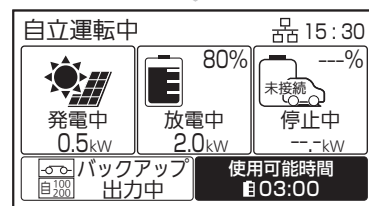
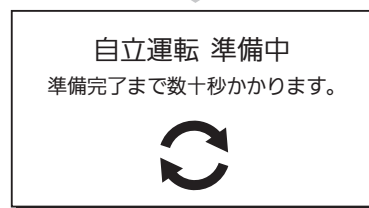
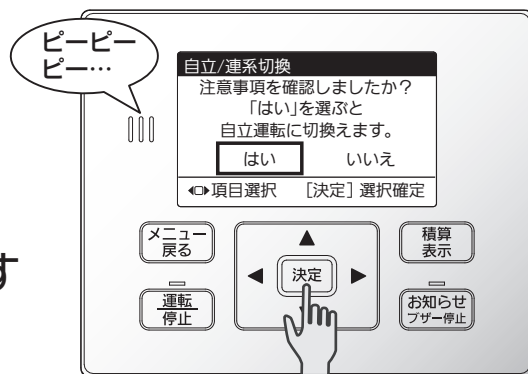
※操作がなければブザーは1分間で自動停止します。
5時間ごとに再度鳴ります。
ただし夜間の21時~7時は鳴りません。

1 表示画面を確認しながら、「決定」を押す

注意のメッセージを確認の上、操作してください。
ブザーが停止し、「自立運転 準備中」になります。

2 「自立運転中」に切り換わることを確認する

バックアップ回路または自立運転コンセントに電気が流れ始めます。
※電力切替ユニットを設置している場合、切り換え時に電力切替ユニットから1回動作音(約85 dB)がします。
※電力切替ユニットを分電盤一次側設置で使用している場合、通常時(連系運転時)に使用しているコンセントから電気が流れます。
自立運転時には、使用機器が多すぎると保護機能が働き、自立運転を停止することがあります。



基本の使いかた

すぐに自立運転に切り換えたくないときは

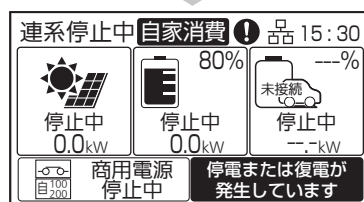
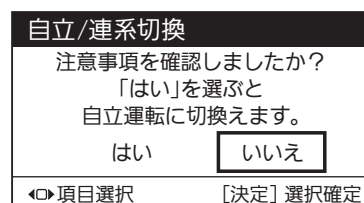
1 ▶ で「いいえ」を選択して「決定」を押す

「連系停止中」に切り換わり、お知らせアイコン❗と、「停電または復電が発生しています」が表示されます。

2 後で自立運転に切り換えたいときには

停電または復電が発生していますが表示されている時に **お知らせブザー停止** を押す

「自立/連系切換」画面(右上の画面)に戻ります。



自立運転の操作(つづき)

停電復旧時(連系運転へ戻す)

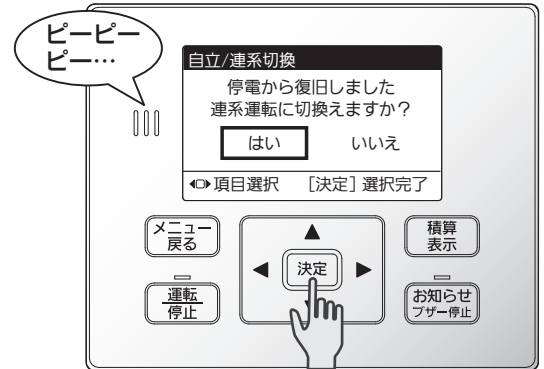


停電が復旧したら元どおり連系運転に切り換えます。
※自動/手動切換設定を「自動切換」に設定している場合には、操作は不要です。

停電が復旧すると、ネットリモコンのブザーが鳴り「自立/連系切換」画面に復旧のお知らせが表示されます。

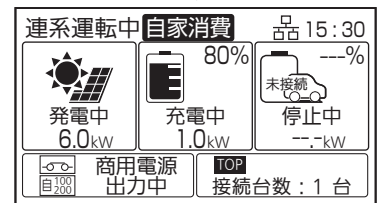
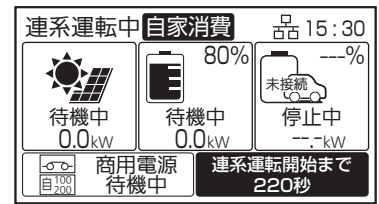
1 「はい」を選択して **決定** を押す

- ※約5分後に連系運転を開始します。
電力切替ユニットなしの場合、自立運転コンセントには電気が流れなくなりますので、差し換えてください。
- ※電力切替ユニットを設置している場合、切り換え時に電力切替ユニットから1回動作音(約85 dB)がします。



2 復電タイマー表示後、「連系運転中」に切り換わることを確認する

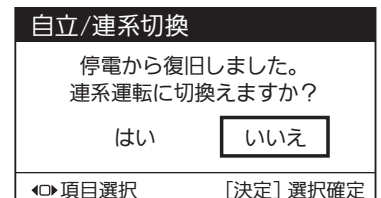
- ※復電タイマーの時間は、電力会社が定める整定値の設定によって異なります。
- ※停電復旧からしばらくして、連系運転に切り換えると、復電タイマーが表示されないことがあります。



すぐに連系運転に切り換えたくないときは

1 ▶で「いいえ」を選択して **決定** を押す

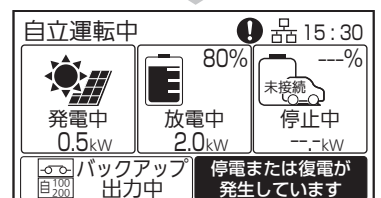
「自立運転中」のまま、お知らせアイコン❗と、「停電または復電が発生しています」が表示されます。
※この状態では太陽光発電電力の売電はできません。
できる限り早く連系運転に切り換えてください。







2 後で連系運転に切り換えたいときには

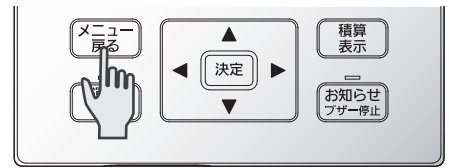
停電または復電が発生しています が表示されている時に **お知らせブザー停止** を押す

「自立/連系切換」画面(右上の画面)に戻ります。






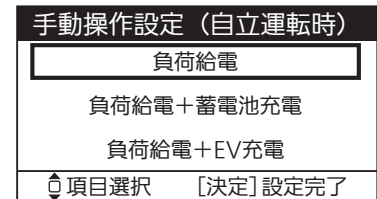
自立運転時の手動操作

- 1 トップ画面で  を押し、  と  を操作する



メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 > 手動操作設定
へ進みます。

- 2   で行いたい手動操作を選択して  を押す



負荷給電

太陽光発電および蓄電池から負荷に給電します。

EVからも給電する場合は、V2Hスタンドの充放電コネクタをEVに接続(32 ページ参照)し、コネクタロック操作(48 ページ参照)をロックに設定してください。「充放電優先度設定」(57 ページ参照)で設定した電力割合で、EVからも負荷に給電します。

負荷給電+蓄電池充電

太陽光発電から負荷に給電するとともに、蓄電池を充電します。

EVからも給電および充電する場合は、V2Hスタンドの充放電コネクタをEVに接続(32 ページ参照)し、コネクタロック操作(48 ページ参照)をロックに設定してください。

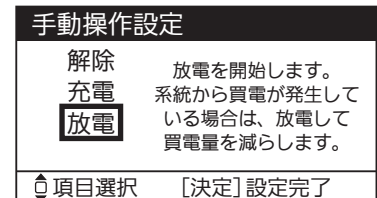
負荷給電+EV充電

太陽光発電および蓄電池から負荷に給電するとともに、EVを充電します。

V2Hスタンドの充放電コネクタをEVに接続(32 ページ参照)し、コネクタロック操作(48 ページ参照)をロックに設定してください。

蓄電池ユニットを設置していない場合

- 太陽光発電から負荷に給電します。また、EVから負荷への給電、および太陽光発電によるEVの充電も行うことができます。
- 太陽光発電が行われていないときに右の画面が表示される場合は、既にEVからシステムに給電が行われています。この状態でEV蓄電池残量が無くなると、システムは停止します。



今すぐ充電する

「少し遠くまで出かけることになったので、EVを満充電にしておきたい」、「台風による停電に備えて、蓄電池を満充電にしておきたい」など、すぐにEVおよび蓄電池を充電したいときには、手動で充電が可能です。

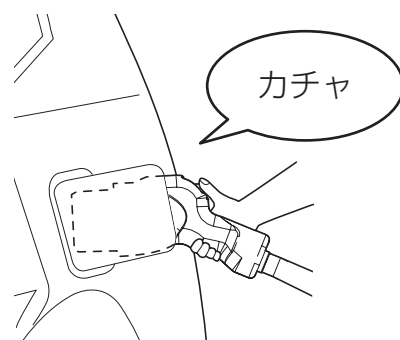
- 以下で設定されている値以上にEV蓄電池に充電することはできません。
対応車種固有の充電上限・放電下限は、当社ホームページよりご確認ください。
(34 ページ)
・ EV固有充電上限

自家消費モード (EV充電上限)	
EV固有 充電上限 95 %	EV充電上限 (50%~100%) ▲80% ▼
値変更	[決定] 設定完了

EVを手動で充電する

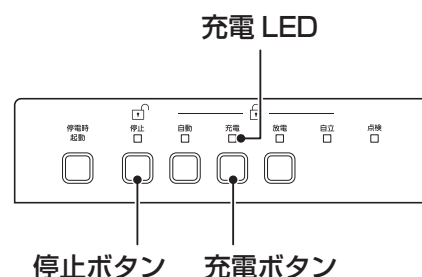
1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 32 ページを確認してください。
既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
手順2へ進んでください。



2 操作部の充電ボタンを押す

充電が開始され、充電LEDが赤色に点灯します。



ネットリモコンの

[TOP > メニュー \(1/3\) > 手動操作/V2H操作設定 >](#)

手動操作設定

からも充電を開始できます。

※ネットリモコンからEV蓄電池の充放電操作を行う場合は、
別途、充放電コネクタをロックする必要があります。(48 ページ)

手動操作設定		
蓄電池 解除 充電	EV 解除 充電 放電	eムーブ EV→蓄電池 蓄電池→EV
値変更	[決定] 設定完了	

- 操作部の停止ボタンを押すと、充電を終了し、
あらかじめ設定された自動モードに戻ります。

ネットリモコンの

[TOP > メニュー \(1/3\) > 手動操作/V2H操作設定 >](#)

手動操作設定

からも充電を停止できます。

手動操作設定		
蓄電池 解除 充電	EV 解除 充電 放電	eムーブ EV→蓄電池 蓄電池→EV
値変更	[決定] 設定完了	

3 充電LEDが消灯し、充電が完了したことを確認する

充電が完了すると、待機状態になります。

充電の状況は、トップ画面に戻ってEV蓄電池残量の表示を確認してください。

充放電コネクタをEVから取り外す場合は、33 ページを参照してください。

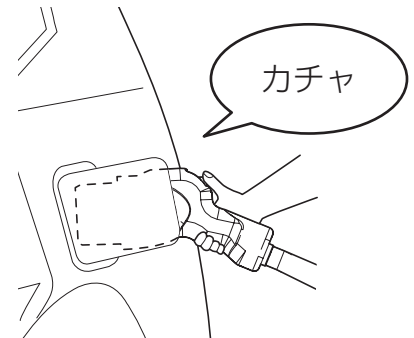
EVと蓄電池を手動で同時に充電する

- 充電時における、EVと蓄電池の電力割合は以下で設定した値になります。
 - ・ 充放電優先度設定(57 ページ)

充放電優先度設定			
充電時		放電時	
蓄電池	EV	蓄電池	EV
50%	50%	100%	0%
▲		▼	
◀ 値変更		[決定] 設定完了	

1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 32 ページを確認してください。
既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
手順2へ進んでください。



2 ネットリモコンを操作して充電を開始する

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 >
手動操作設定



で以下のように設定し、

決定 を押してください。

- ・ 蓄電池：充電
- ・ EV：充電

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、充電が開始されます。
※充放電コネクタをロックする必要があります。(48 ページ)

手動操作設定		
◀蓄電池▶	EV	eムーブ
解除 充電	解除 充電 放電	EV→蓄電池 蓄電池→EV
◀ 値変更		[決定] 設定完了

- 「手動操作設定」画面で以下のように設定して **決定** を押すと、
充電を停止し、あらかじめ設定された自動モードに戻ります。

- ・ 蓄電池：解除
- ・ EV：解除

手動操作設定		
◀蓄電池▶	EV	eムーブ
解除 充電	解除 充電 放電	EV→蓄電池 蓄電池→EV
◀ 値変更		[決定] 設定完了

3 充電が完了したことを確認する

充電の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量およびEV蓄電池残量の表示を確認してください。
充放電コネクタをEVから取り外す場合は、33 ページを参照してください。

今すぐ充電する(つづき)

蓄電池を手動で充電する

1 ネットリモコンを操作して充電を開始する


TOP > メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 >
手動操作設定

    で以下のように設定し、

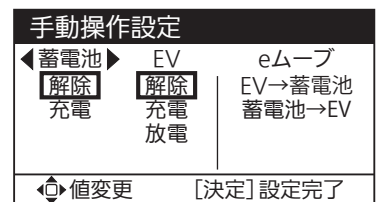
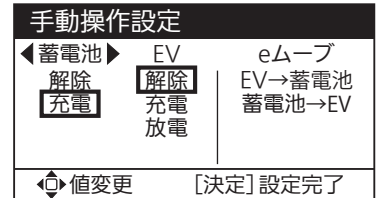
 を押してください。

- ・蓄電池：充電
- ・EV：解除

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、充電が開始されます。

- 「手動操作設定」画面で以下のように設定して  を押すと、
充電を停止し、あらかじめ設定された自動モードに戻ります。

- ・蓄電池：解除
- ・EV：解除



2 充電が完了したことを確認する

充電の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量の表示を確認してください。
※設定された自動モードに戻るには、上記の解除操作が必要です。

EVから放電し家庭で使う

EVに充電した電力を手動で放電することで、家庭内で活用することができます。

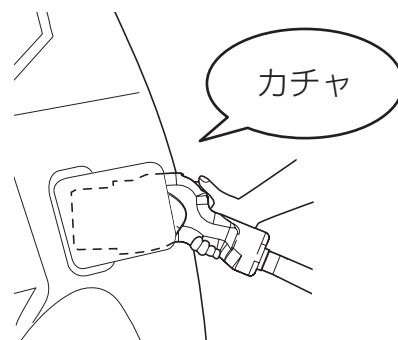
- 以下で設定されている値以上にEV蓄電池から放電することはできません。
 対応車種固有の充電上限・放電下限は、当社ホームページよりご確認ください。
 (34 ページ)
 ・ EV固有放電下限

放電下限設定 (平常時)	
EV固有 放電下限 10 %	平常時EV放電下限 (+10%~+70%) ▲ +40 % ▼
値変更	[決定] 選択確定

EVから手動で放電する

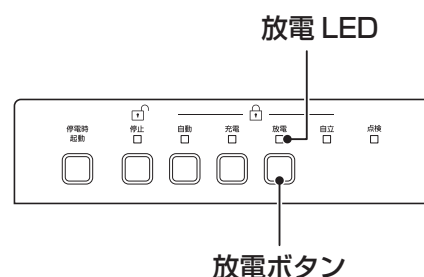
1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 32 ページを確認してください。
 既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
 手順2へ進んでください。



2 操作部の放電ボタンを押す

放電が開始され、放電LEDが赤色に点灯します。



ネットリモコンの

[TOP > メニュー \(1/3\) > 手動操作/V2H操作設定 >](#)

手動操作設定

からも放電を開始できます。

※充放電コネクタをロックする必要があります。(48 ページ)

手動操作設定		
蓄電池 解除 充電	EV 解除 充電 放電	eムーブ EV→蓄電池 蓄電池→EV
値変更	[決定]	設定完了

- 操作部の停止ボタンを押すと、放電を終了し、待機状態になります。

ネットリモコンの

[TOP > メニュー \(1/3\) > 手動操作/V2H操作設定 >](#)

手動操作設定

からも放電を停止できます。

手動操作設定		
蓄電池 解除 充電	EV 解除 充電 放電	eムーブ EV→蓄電池 蓄電池→EV
値変更	[決定]	設定完了

3 放電LEDが消灯し、放電が終了したことを確認する

放電が終了すると、待機状態になります。

放電の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量の表示を確認してください。

充放電コネクタをEVから取り外す場合は、33 ページを参照してください。

色々な使いかた

EV・蓄電池間で電力を移動する[eムーブ]

EVの電力を手動で蓄電池に移す

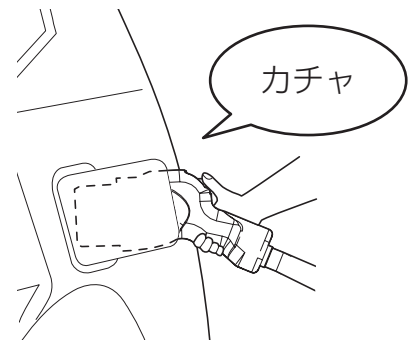
外出先などでEVに充電した電力を手動で、EVから蓄電池へ移動させることができます。

- 以下で設定されている値以上にEV蓄電池から放電することはできません。
対応車種固有の充電上限・放電下限は、当社ホームページよりご確認ください。
(34 ページ)
・ EV固有放電下限

放電下限設定 (平常時)	
EV固有 放電下限 10 %	平常時EV放電下限 (+10%~+70%) ▲ +40 % ▼
値変更	[決定] 選択確定

1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 32 ページを確認してください。
既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
手順2へ進んでください。



2 ネットリモコンを操作してEVの電力を蓄電池に移す

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 >
手動操作設定



で以下のように設定し、

決定 を押してください。

- ・ eムーブ：EV→蓄電池

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、電力の移動が開始されます。
※充放電コネクタをロックする必要があります。(48 ページ)

手動操作設定		
蓄電池 解除 充電	EV 解除 充電 放電	eムーブ EV→蓄電池 蓄電池→EV
値変更	[決定]	設定完了

- 「手動操作設定」画面で以下のように設定して **決定** を押すと、
電力の移動を停止し、あらかじめ設定された自動モードに戻ります。
・ 蓄電池：解除
・ EV：解除

手動操作設定		
蓄電池 解除 充電	EV 解除 充電 放電	eムーブ EV→蓄電池 蓄電池→EV
値変更	[決定]	設定完了

3 電力の移動が完了したことを確認する

電力の移動が完了すると、待機状態になります。

電力の移動の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量およびEV蓄電池残量の表示を確認してください。
充放電コネクタをEVから取り外す場合は、33 ページを参照してください。

蓄電池の電力を手動でEVに移す

蓄電池に充電した電力をEVへ移動させることができます。

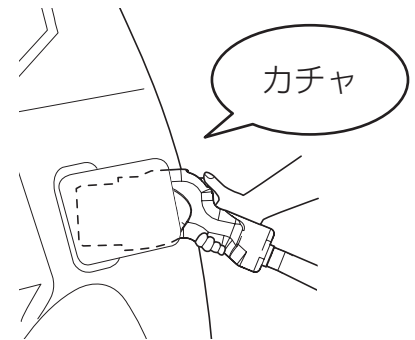
太陽光発電による電力をEVに移動させれば、環境に優しい再生可能エネルギー（グリーンエネルギー）を使用してEVを運転できます。

- 以下で設定されている値以上にEV蓄電池に充電することはできません。
対応車種固有の充電上限・放電下限は、当社ホームページよりご確認ください。
(34 ページ)
・ EV固有充電上限

自家消費モード (EV充電上限)	
EV固有 充電上限 95 %	EV充電上限 (50%~100%) 80%
値変更	[決定] 設定完了

1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 32 ページを確認してください。
既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
手順2へ進んでください。



2 ネットリモコンを操作して蓄電池の電力をEVに移す

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 >
手動操作設定



決定 を押してください。

- ・ eムーブ：蓄電池→EV

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、電力の移動が開始されます。
※充放電コネクタをロックする必要があります。(48 ページ)

手動操作設定		
蓄電池 解除 充電	EV 解除 充電 放電	eムーブ EV→蓄電池 蓄電池→EV
値変更	[決定] 設定完了	

- 「手動操作設定」画面で以下のように設定して **決定** を押すと、
電力の移動を停止し、あらかじめ設定された自動モードに戻ります。
 - ・ 蓄電池：解除
 - ・ EV：解除

手動操作設定		
蓄電池 解除 充電	EV 解除 充電 放電	eムーブ EV→蓄電池 蓄電池→EV
値変更	[決定] 設定完了	

3 電力の移動が完了したことを確認する

電力の移動が完了すると、待機状態になります。

電力の移動の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量およびEV蓄電池残量の表示を確認してください。
充放電コネクタをEVから取り外す場合は、33 ページを参照してください。




充放電コネクタをロック・アンロックする

ネットリモコンからEVの充電・放電操作を行うためには、充放電コネクタをロックする必要があります。
充放電操作とロック操作のどちらを先に行っても構いません。


充放電コネクタをロックする

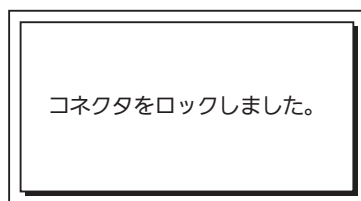
1 ネットリモコンを操作して 充放電コネクタにロックをかける

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 >
コネクタロック操作

  で「ロック」を選択し、 を押してください。

「コネクタをロックしました。」メッセージ表示後、
充放電コネクタにロックがかかります。


コネクタロック操作	
コネクタ状態	アンロック
<input checked="" type="checkbox"/> ロック	コネクタをロックし、 手動操作設定で設定された 動作を開始します。
<input type="checkbox"/> アンロック	
 項目選択	[決定] 設定完了






充放電コネクタをアンロックする(ロック解除)

1 ネットリモコンを操作して 充放電コネクタのロックを解除する

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 >
コネクタロック操作


  で「アンロック」を選択し、 を押してください。


自立運転に関する確認画面が表示されます。

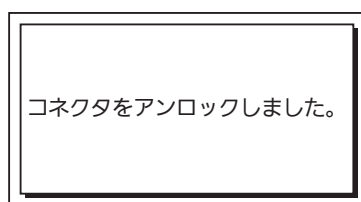
内容を確認して、  「はい」を選択し、 を
押してください。

「いいえ」を選択すると、「コネクタロック操作」画面に戻ります。

「コネクタをアンロックしました。」メッセージ表示後、
充放電コネクタのロックが解除されます。

コネクタロック操作	
コネクタ状態	ロック
<input type="checkbox"/> ロック	コネクタをアンロックし、 EVとの接続を切り離します。
<input checked="" type="checkbox"/> アンロック	
 項目選択	[決定] 設定完了

アンロック操作	
自立運転中にEVをアンロックすると 自立運転が停止する 可能性があります。実施しますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
 項目選択	[決定] 選択確定





V2Hスタンドのボタン操作を禁止する

V2Hスタンドを操作されたくないときに、V2Hスタンドのボタン操作を禁止することができます。
●V2Hスタンドのボタン操作を禁止しても、停止ボタンおよびネットリモコンからの操作は有効です。

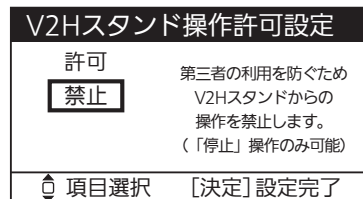
V2Hスタンドのボタン操作を禁止する

1 ネットリモコンを操作して V2Hスタンドのボタン操作を禁止する

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 >
V2Hスタンド操作許可設定

  で「禁止」を選択し、 を押してください。

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、
V2Hスタンドのボタン操作が無効になります。



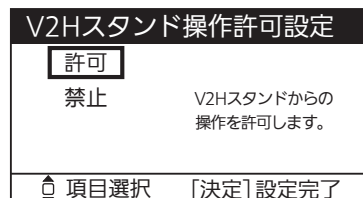
V2Hスタンドのボタン操作を許可する

1 ネットリモコンを操作して V2Hスタンドのボタン操作を許可する

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 >
V2Hスタンド操作許可設定

  で「許可」を選択し、 を押してください。

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、
V2Hスタンドのボタン操作が有効になります。



設定・確認のしかた

各設定の一覧

お客様の設置状況で、設定項目が変わります。

設定項目	機能説明	ページ
手動操作/V2H操作設定	手動操作/V2H操作設定メニューを表示します。	52
手動操作設定	運転モードによる自動運転を行うか、手動による充電、放電、またはEV・蓄電池間の電力移動を行うかを設定します。	42～47
コネクタロック操作	EVに接続したV2Hスタンドの充放電コネクタをロックまたはアンロック(ロック解除)します。	48
V2Hスタンド操作許可設定	V2Hスタンドのボタン操作を、許可するか禁止するかを設定します。	49
運転モード設定	連系運転時の運転モードを設定します。 初期値は「自家消費モード」です。	53
運転パラメータ設定	運転パラメータ設定メニューを表示します。	53
運転パラメータ確認	運転パラメータ(充電・放電を行う時間帯などの連系運転に関する設定)を確認します。	53
放電下限設定	蓄電池およびEVの放電量の下限値を設定します。 平常時と停電時それぞれの値を設定できます。	54
自家消費モード詳細設定	自家消費モードでの運転に必要な以下の設定を行います。 充電時間帯(蓄電池・EV共通) 太陽光発電の余剰電力による充電に加えて、買電による充電も行うかを設定します。買電を行う場合は、その時間帯も設定します。 蓄電池充電上限 設定した「充電時間帯」における、蓄電池への充電量の上限値を設定します。 EV充電上限 設定した「充電時間帯」における、EVへの充電量の上限値を設定します。	55
タイマーモード詳細設定	タイマーモードにおける、蓄電池およびEVの充電時間帯・放電時間帯を設定します。	56
EV放電許可設定	自動モードおよび外部制御による運転中に、EVからの放電を許可するかどうかを設定します。	56
充放電優先度設定	蓄電池とEVのどちらを優先して、充電および放電するかを設定します。	57
ブレーカ電流上限設定	充電時にブレーカの遮断を防止するための機能です。	57
契約電力上限設定	充電時にピーク電力の発生を防止するための機能です。	58
ネットワーク確認	ネットリモコンのネットワーク設定状態を確認します。	58
ネットワーク設定	ネットワーク設定メニューを表示します。	59
ネットワーク選択設定	ネットワークの有無、有線LAN/無線LANを選択します。	59
無線LAN接続設定	無線LANで接続する場合の設定を行います。	59
IPアドレス設定	IPアドレスの設定を行います。	62
設定初期化	ネットワークの設定状態を初期値に戻します。	63
ブザー音量設定	お知らせ発生時などのブザー音量を設定します。	63

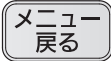





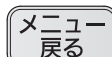
設定項目	機能説明	ページ
表示節電設定	設定した時間、操作がなければ自動で画面のバックライトが消灯されます。	63
液晶・ランプ設定	液晶・ランプ設定メニューを表示します。	64
液晶設定	液晶画面の明るさとコントラストを設定します。	64
ランプ設定	お知らせランプと運転／停止ランプの明るさを設定します。	64
日時設定	ネットリモコンの日時を設定します。 ※外部制御中に日時設定の変更はできません。 外部制御が終了後、実施してください。 ※ネットリモコンで出力制御を実施しているときは、設定項目が「日時設定」から「時刻調整」に変わります。	65
バージョン確認	ネットリモコンのバージョン情報を確認します。	65
抑制累積時間確認	抑制運転の累積時間を確認します。	66
ECHONET Lite設定	ECHONET Lite設定をします。	66
その他の設定	その他の設定(出力制御)の設定をします。	67
出力制御	出力制御の設定をします。	67
スケジュール確認	出力制御の予定(経過分含む)を確認します。	67
発電量確認	発電量を確認します。	68
出力制御設定	出力制御設定を行います。 ※設定は、お客様ではできません。お買い上げの販売店または施工店もしくはメーカーサービスマンにて設定を行います。	68

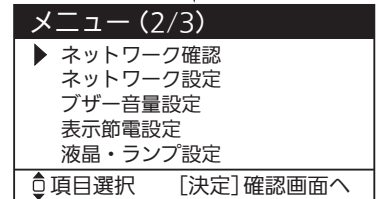
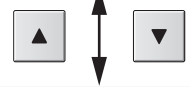
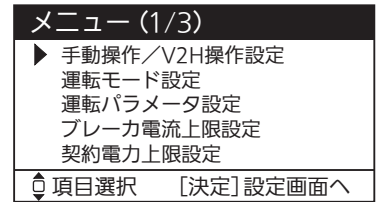
設定項目	機能説明	ページ
自動／手動切換設定	停電時、および停電復旧時に自立運転や連系運転に切り換える方法を設定します。	68

※太陽光発電から、EVへの6 kW充電および蓄電池ユニットへの3 kW充電(ともに最大)を同時に行う「パワーアップ充電」は、タイマーモードでは行いません。

設定・確認のしかた(つづき)

■メニュー




- ① トップ画面で  を押す
「メニュー (1/3)」画面が表示されます。
(カーソル)が最下行のとき  で次画面の
「メニュー (2/3)」、「メニュー (3/3)」と切り換わります。
また、カーソルが最上行のとき  で画面を切り換えることもできます。
- ②   でメニューを選択する
- ③  を押す
選択したメニューの画面が表示されます。
※選択したメニューの画面で  を押すと操作はキャンセルとなり、
メニュー画面に戻ります。

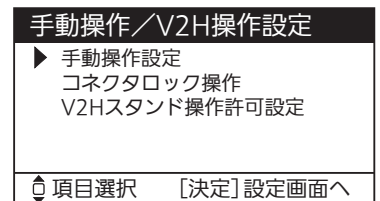


⋮

■手動操作/V2H操作設定

手動操作/V2H操作設定メニューを表示します。

- ①   で手動操作/V2H操作設定のメニューを選択する
- ②  を押す
選択したメニューの画面が表示されます。



詳しい操作方法は、以下のページをご覧ください。

- 手動操作設定 : 今すぐ充電する。(42 ページ参照)
EVの電力を家庭で使う。(45 ページ参照)
EV・蓄電池間で電力を移動【e ムーブ】(46 ページ参照)
- コネクタロック操作 : 充放電コネクタをロック・アンロックする。(48 ページ参照)
- V2Hスタンド操作許可設定 : V2Hスタンドのボタン操作を禁止(49 ページ参照)

■ 運転モード設定

連系運転時の運転モードを設定します。運転モードは、「自家消費モード」または「タイマーモード」のどちらかを選択します。

初期値は「自家消費モード」です。

各モードの動作については 23 ページを確認してください。

※外部制御中に運転モードの変更はできません。

外部制御が終了後、実施してください。

① ▲ ▼ で運転モードを選択する

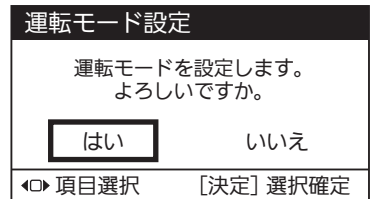
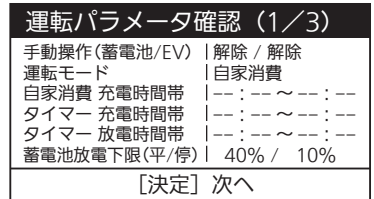
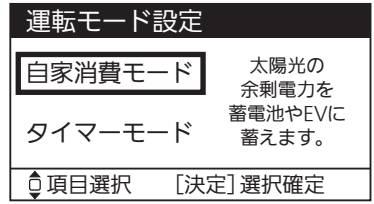
② 決定 を押す

「運転パラメータ確認」画面が表示されます。

③ 各運転パラメータ(連系運転に関する設定)を確認し、運転モード設定の確認画面が表示されるまで 決定 を押す

④ ◀ ▶ で「はい」を選択し、決定 を押す

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「メニュー」画面に戻ります。



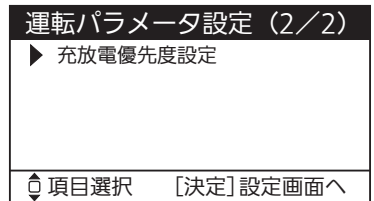
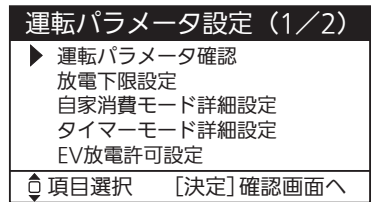
■ 運転パラメータ設定

運転パラメータ設定メニューを表示します。

① ▲ ▼ で運転パラメータ設定メニューを選択する

② 決定 を押す

選択したメニューの画面が表示されます。



□ 運転パラメータ確認

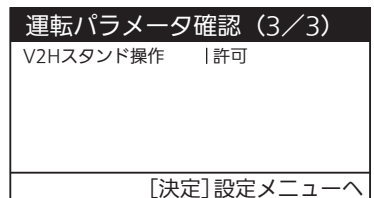
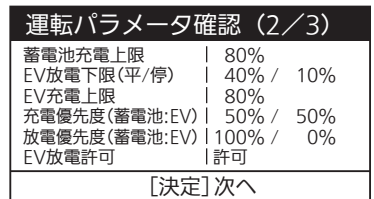
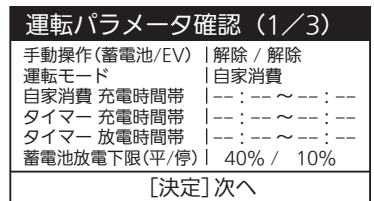
運転パラメータ(連系運転に関する以下の設定)を確認します。

- ・ 手動操作(蓄電池/EV)
- ・ 蓄電池充電上限
- ・ V2Hスタンド操作
- ・ 運転モード
- ・ EV放電下限(平/停)
- ・ 自家消費 充電時間帯
- ・ EV充電上限
- ・ タイマー 充電時間帯
- ・ 充電優先度(蓄電池:EV)
- ・ タイマー 放電時間帯
- ・ 放電優先度(蓄電池:EV)
- ・ 蓄電池放電下限(平/停)
- ・ EV放電許可

① 決定 で、画面を切り換えて設定を確認する。

② 決定 を押す

「運転パラメータ設定」画面に戻ります。



設定・確認のしかた(つづき)

□ 放電下限設定

蓄電池およびEVの放電量の下限値を設定します。蓄電池およびEVは、放電下限値で設定した値まで放電可能です。また、平常時と停電時の値を個別に設定可能です。(90 ページ参照)

初期値は、蓄電池の平常時：「40%」、停電時：「10%」、EVはそれぞれ「+40%」、「+10%」です。

※EVの放電下限設定値は、EV固有の放電下限より低く設定することはできません。

放電下限設定(平常時)値

停電時に備える蓄電池およびEV蓄電池の容量を設定します。設定値を減らすと平常時に活用できる電力が増え、設定値を増やすと停電時に備える電力が増えます。

※蓄電池ユニットを複数台接続し、蓄電池残量が低い蓄電池がある場合、運転モードに関わらず充電動作を行う場合があります。

放電下限設定(停電時)値

太陽光モジュールの発電によるシステムの再起動に備える、蓄電池およびEV蓄電池の容量を設定します。停電発生中に蓄電池およびEV蓄電池の残量が放電下限設定(停電時)値を下回ると、多機能パワーコンディショナは一旦運転を停止し、太陽光モジュールの発電によるシステムの再起動に備えます。設定値を増やすと、太陽光モジュールの発電があったときにシステムを再起動できる状態が続く期間が長くなり、設定値を減らすとその期間が短くなります。

※EV蓄電池でシステムの再起動を行わない場合、EVの放電下限設定(停電時)値には、走行用に確保しておきたいEV蓄電池の容量を設定します。

※停電中に蓄電池の残量が0%になると、再起動するにはサービスマンに依頼する必要があります。

- ① ◀ ▶ で放電下限値を設定する
機器(「蓄電池」または「EV」)を選択する
- ② **決定** を押す
- ③ 放電下限設定(平常時)値についての説明画面を確認し、放電下限設定(平常時)値の設定画面が表示されるまで **決定** を押す
- ④ ▲ ▼ で放電下限設定(平常時)値を変更する
EV放電下限の設定は、EV固有放電下限の値に何%上乘せするかを設定します。
- ⑤ **決定** を押す
- ⑥ 放電下限設定(停電時)値についての説明画面を確認し、放電下限設定(停電時)値の設定画面が表示されるまで **決定** を押す
- ⑦ ▲ ▼ で放電下限設定(停電時)値を変更する
- ⑧ **決定** を押す
「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「運転パラメータ設定」画面に戻ります。

放電下限設定	
対象機器を選択してください。	
蓄電池	EV
◀ 項目選択	[決定] 選択確定

蓄電池	EV
放電下限設定 (平常時) 平常時における蓄電池の放電下限を設定します。(停電に備え確保する最低容量) [決定] 次へ	放電下限設定 (平常時) EV固有の放電下限を基準に平常時におけるEVの放電下限を設定します。(停電に備え確保する最低容量) [決定] 次へ
放電下限設定 (平常時) 平常時蓄電池放電下限 (10%~70%) ▲ 40 % ▼ ⬇️ 値変更 [決定] 選択確定	放電下限設定 (平常時) EV固有放電下限 (+10%~+70%) 10 % ▲ +10 % ▼ ⬇️ 値変更 [決定] 選択確定
放電下限設定 (停電時) 停電時に蓄電池から本システムを起動するため、容量を確保します。負荷供給には利用できません。 [決定] 次へ	放電下限設定 (停電時) 停電時にEVから本システムを起動するため、または走行用の容量を確保します。負荷供給には利用できません。 [決定] 次へ
放電下限設定 (停電時) 停電時蓄電池放電下限 (0%~40%) ▲ 10 % ▼ ⬇️ 値変更 [決定] 設定完了	放電下限設定 (停電時) EV固有放電下限 (+0%~+40%) 10 % ▲ +10 % ▼ ⬇️ 値変更 [決定] 設定完了

□ 自家消費モード詳細設定

自家消費モードでの運転に必要な以下の設定を行います。

充電時間帯(蓄電池・EV共通)

太陽光発電の余剰電力による充電に加えて、買電による充電も行うかを設定します。買電を行う場合は、その時間帯も設定します。

充電時間帯で「しない」を選択した場合の初期値は、充電時間帯は設定されません。蓄電池充電上限100%です。充電時間帯で「する」を選択した場合の出荷時の設定は、充電時間01:00～06:00、蓄電池充電上限80%です。充電時間帯に設定した時間帯は放電を行いません。電力会社との契約プラン等をあらかじめご確認ください。

充電時間設定なし(充電時間帯「しない」)を選択した場合、余剰電力を使って充電します。電気の自給自足を目指したい方におすすめです。

充電時間設定あり(充電時間帯「する」)を選択した場合、余剰電力だけでは宅内で使用する電気が足りない場合に備え、深夜など電気代がお得な時間帯にも設定した上限まで充電します。電気をたくさん使われる方におすすめです。

蓄電池充電上限

設定した「充電時間帯」における、蓄電池への充電量の上限値を設定します。その時間帯以外は100%まで充電します。

EV充電上限

設定した「充電時間帯」における、EVへの充電量の上限値を設定します。初期値は接続するEV等により異なります。※設定した値がEV固有のEV充電上限を上回る場合、EV固有の値が優先されます。

充電時間帯(蓄電池・EV共通)

① 充電時間帯設定についての説明画面を確認し、充電時間帯設定の確認画面が

表示されるまで **決定** を押す

② ◀ ▶ で「する」または「しない」を選択し、 **決定** を押す

「する」を選択→ ③ へ進みます。

「しない」を選択→「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「運転パラメータ設定」画面に戻ります。

③ ◀ ▶ で変更する時間を切り換えて、▲ ▼ で時間の数値を変更する
(時：1時間単位、分：10分単位)

④ **決定** を押す

自家消費モード (時間帯)	
太陽光の余剰電力以外に買電による充電をしたい場合の充電時間帯の設定を行います。蓄電池とEVで共通の設定となります。	
[決定] 次へ	

自家消費モード (時間帯)	
買電による充電を行うための充電時間帯を設定しますか。	
する	しない
◀ 項目選択	[決定] 選択確定

自家消費モード (時間帯)	
充電時間	01:00 - 06:00
◀ 値変更	[決定] 選択確定

蓄電池充電上限

⑤ 蓄電池充電上限についての説明画面を確認し、 **決定** を押す

蓄電池充電上限の設定画面が表示されます。

⑥ ▲ ▼ で蓄電池への充電量の上限値を設定する

設定可能な範囲は、平常時蓄電池放電下限によって変動します。平常値放電下限値の+10%から2倍までの範囲で設定可能です。

⑦ **決定** を押す

自家消費モード (蓄電池充電上限)	
自家消費モードの充電時間帯における蓄電池充電量の上限を設定します。設定範囲は放電下限設定で設定した平常時蓄電池放電下限に連動します。	
[決定] 次へ	

自家消費モード (蓄電池充電上限)	
平常時蓄電池放電下限	蓄電池充電上限 (50%~80%)
40 %	80%
◀ 値変更	[決定] 選択確定

設定・確認のしかた(つづき)

EV充電上限

- ⑧ EV充電上限についての説明画面を確認し、EV充電上限の設定画面が表示されるまで **決定** を押す

- ⑨ ▲ ▼ でEVへの充電量の上限值を設定する

- ⑩ **決定** を押す

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「運転パラメータ設定」画面に戻ります。

自家消費モード (EV充電上限)	
自家消費モードの充電時間帯におけるEV充電量の上限を設定します。設定値がEV内部上限より大きい場合EV内部上限が上限となります。	
[決定] 次へ	

自家消費モード (EV充電上限)	
EV固有充電上限	EV充電上限 (50%~100%)
95 %	80%
値変更	[決定] 設定完了

□ タイマーモード詳細設定

タイマーモードにおける、蓄電池およびEVの充電時間帯・放電時間帯を設定します。

初期値は、充電時間帯：「01：00～06：00」、放電時間帯：「10：00～22：00」です。

電力会社と契約している時間帯別料金に合わせて、電気代が安い時間帯に充電の開始時間～終了時間を、電気代が高い時間帯に放電の開始時間～終了時間を設定してください。ただし、同じ時間帯に充電時間帯と放電時間帯を設定することはできません。

※「EV放電許可設定」(下記参照)が「禁止」に設定されている場合、タイマーモードで運転中にEVからは放電されません。

※充電時間帯が短く設定された場合は満充電にならないことがあります。充電量および、充電が完了する時間は変動することがあります。

- ① 充電時間帯および放電時間帯についての説明画面を確認し、充電時間帯および放電時間帯の設定画面が表示されるまで **決定** を押す

- ② ◀ ▶ で変更する時間を切り換えて、▲ ▼ で時間の数値を変更する
(時：1時間単位、分：10分単位)

- ③ **決定** を押す

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「運転パラメータ設定」画面に戻ります。

タイマーモード (時間帯)	
充電時間帯と放電時間帯を設定します。充電時間帯のみの設定はできません。蓄電池とEVで共通の設定となります。	
[決定] 次へ	

タイマーモード (時間帯)	
充電時間	01:00 - 06:00
放電時間	10:00 - 22:00
値変更	[決定] 設定完了

□ EV放電許可設定

自動モードおよび外部制御による運転中に、EVからの放電を許可するかどうかを設定します。

- ① ◀ ▶ で「許可」または「禁止」を選択する

- ② **決定** を押す

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「運転パラメータ設定」画面に戻ります。

EV放電許可設定	
自家消費モード、タイマーモードおよび外部制御中にEVから放電を許可しますか?	
<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 禁止
◀ 項目選択	[決定] 設定完了

□ 充放電優先度設定

蓄電池とEVのどちらを優先して、充電および放電するかを設定します。

- ① 充放電優先度についての説明画面を確認し、**決定** を押す
充放電優先度の設定画面が表示されます。
- ② **◀ ▶** で充電時と放電時を切り換えて、**▲ ▼** で割合の数値を変更する
(合計100%)
- ③ **決定** を押す
「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「運転パラメータ設定」画面に戻ります。

充放電優先度設定	
蓄電池とEVのどちらを優先して充電/放電したいかを設定します。数字が大きい方を優先します。	
[決定] 次へ	

充放電優先度設定			
充電時		放電時	
蓄電池	EV	蓄電池	EV
50%	50%	100%	0%
▲ ▼			
◀▶ 値変更		[決定] 設定完了	

■ ブレーカ電流上限設定

充電時にリミッター(電流制限器)の動作(トリップ)を防止するための機能です。蓄電池への充電時間帯にリミッターが動作する場合は値を見直してください。

設定値を超えないように、充電を制御します。初期値は「無効」です。「有効」に設定した場合の初期値は、「60 A」です。

- ① **◀ ▶** でブレーカ電流上限設定を行うか(有効)行わないか(無効)を選択する
- ② **決定** を押す
「無効」選択時は「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。
- ③ **▲ ▼** でブレーカ電流上限設定値を変更する
5 A刻みで設定ができます。
- ④ **決定** を押す
設定された電流値に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

ブレーカ電流上限設定	
ブレーカ電流上限設定	
有効	無効
◀▶ 項目選択 [決定] 選択確定	

ブレーカ電流上限設定	
ブレーカ電流上限 (15A~120A)	
▲ ▼	
60 A	
◀▶ 値変更 [決定] 設定完了	

設定・確認のしかた(つづき)

■契約電力上限設定

※実量制の電気料金契約向けの設定です。

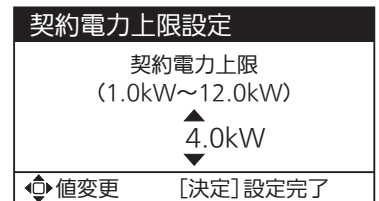
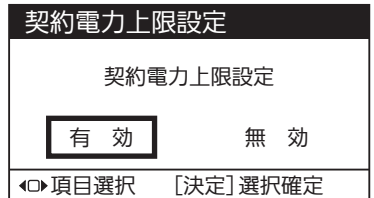
充電時にピーク電力の発生を防止するための機能です。充電時間帯に、ピーク電力が発生している場合に設定してください。設定値は契約電力以下にしてください。設定値を超えないように、充電を制御します。初期値は「無効」です。「有効」に設定した場合の初期値は、「4.0 kW」です。

① ◀ ▶ で契約電力上限設定を行うか(有効)行わないか(無効)を選択する

② 決定 を押す
「無効」選択時は「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

③ ▲ ▼ で契約電力上限値を変更する

④ 決定 を押す
設定された電力値に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。



■ネットワーク確認

ネットリモコンのネットワーク設定状態を確認します。

※「ネットワーク選択」の設定により、表示は変わります。

① 設定状態を確認する

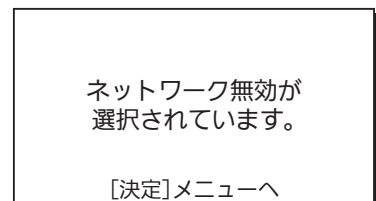
■有線LAN設定時

ネットワーク確認:有線	
DHCP	有効
IPアドレス	192.168.001.010
サブネット	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.001
DNSサーバ	192.168.001.001
[決定]メニューへ	

■無線LAN設定時

ネットワーク確認:無線 (1/2)	
簡単設定	有効
SSID	xxxx
認証方式	—
暗号化方式	—
↑ ページ切換 [決定]メニューへ	

■ネットワーク無効設定時



ネットワーク確認:無線 (2/2)	
DHCP	有効
IPアドレス	192.168.001.010
サブネット	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.001
DNSサーバ	192.168.001.001
↑ ページ切換 [決定]メニューへ	

② 「無線LAN」に設定されているときは ▲ ▼ で画面を切り換える

③ 決定 を押す
メニュー画面に戻ります。

■ ネットワーク設定

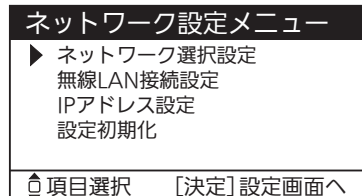
ネットワーク設定メニューを表示します。

※起動時など、IPアドレス自動取得中は、ネットワーク設定の変更はできません。
しばらく待ってから実施してください。

① ▲ ▼ でネットワーク設定メニューを選択する

② 決定 を押す

選択したメニューの画面が表示されます。



□ ネットワーク選択設定

ネットワークに接続または無効を選択することができます。接続の場合、有線または無線を選択できます。お使いの環境に合わせて設定してください。

① ▲ ▼ でネットワークの接続方式を選択する

② 決定 を押す

設定された方式に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「ネットワーク設定メニュー」画面に戻ります。



□ 無線LAN接続設定

無線LANで接続する場合の設定を行います。初期値は「簡単設定」です。

① ▲ ▼ で設定方式を選択する

② 決定 を押す

「簡単設定」を選択→ ③ へ進みます。

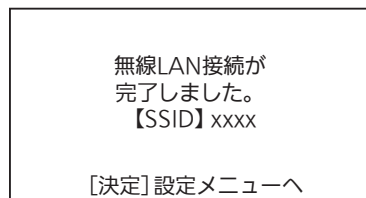
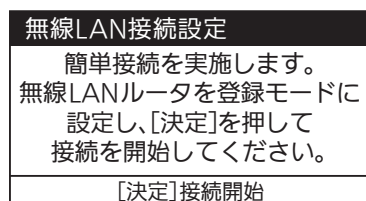
「手動設定」を選択→ ⑤ へ進みます。

③ メッセージを確認し、決定 を押す

「接続処理中」メッセージ表示後、接続完了画面が表示されます。
接続に失敗した場合は、無線LANの環境を確認し、再度実施してください。

④ メッセージを確認し、決定 を押す

「ネットワーク設定メニュー」画面に戻ります。



設定・確認のしかた(つづき)

【SSID設定】

初期値は「123」です。

変更するときは「←」を選択して設定文字を削除してから、設定してください。

⑤ メッセージを確認し、**決定** を押す

⑥     で、SSIDの文字を選択する

⑦ **決定** を押す

選択した文字が画面下部に追記表示されます。

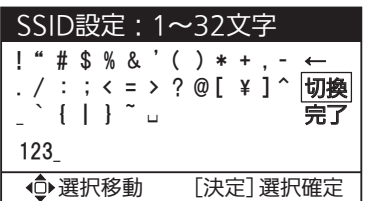
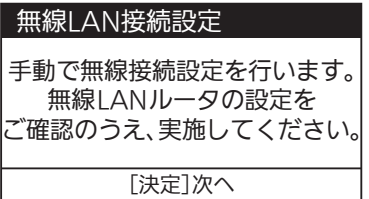
「←」を選択すると、画面下部に表示されている文字を 1 文字削除します。

「切換」を選択すると、選択する文字種を切り換えます。

⑧ 「完了」を選択し、**決定** を押す

画面下部に表示された文字がSSIDとして登録され、

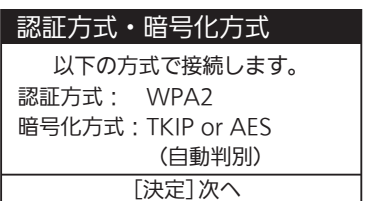
「認証方式・暗号化方式」画面が表示されます。



【認証方式・暗号化方式】

⑨ 認証方式および暗号化方式を確認し、**決定** を押す

「パスワード入力方法」画面が表示されます。



【パスワード設定】

⑩ ▲ ▼ でパスワード入力方法を選択する

⑪ 決定 を押す
「パスワード」画面が表示されます。

⑫ ◀ ▶ ▲ ▼ で、パスワードの文字を選択する

⑬ 決定 を押す
選択した文字が画面下部に追記表示されます。
「←」を選択すると、画面下部に表示されている文字を1文字削除します。「切換」を選択すると、選択する文字種を切り換えます。
認証方式別、パスワードの文字数条件は以下のとおりです。

文字列：8～63文字で設定してください。
16進数：64桁で設定してください。

⑭ 「完了」を選択し、決定 を押す
パスワードが設定され、「無線LAN接続設定」画面が表示されます。

⑮ 決定 を押す
無線LAN接続設定が登録され、「ネットワーク設定メニュー」画面が表示されます。

パスワード入力方法

文字列

16進数

項目選択 [決定] 選択確定

パスワード設定：8～63文字

ABCDEFGHIJKLM ←

NOPQRSTUVWXYZ 切換

0123456789 完了

—

選択移動 [決定] 選択確定

パスワード設定：8～63文字

abcdefghijklm ←

nopqrstuvwxyz 切換

0123456789 完了

—

選択移動 [決定] 選択確定

パスワード設定：8～63文字

! " # \$ % & ' () * + , - ←

. / : ; < = > ? @ [¥] ^ 切換

_ ` { | } ~ ` 完了

—

選択移動 [決定] 選択確定

パスワード設定：64桁(16進数)

0123456789ABCDEF ←

完了

—

選択移動 [決定] 選択確定

無線LAN接続設定

簡単設定	無効
SSID	xxxx
認証方式	WPA/WPA2
暗号化方式	自動判定

[決定] 設定完了

色々な使いかた

設定・確認のしかた(つづき)

□ IPアドレス設定

IPアドレスの設定を行います。

※初期値(自動取得(DHCP有効))でご利用する場合は設定不要です。

① ▲ ▼ で設定方式を選択する

② 決定 を押す

「自動取得(DHCP有効)」を選択→ ③ へ進みます。

「手動設定(DHCP無効)」を選択→ ④ へ進みます。

IPアドレス設定	
<input checked="" type="radio"/>	自動取得 (DHCP有効)
<input type="radio"/>	手動設定 (DHCP無効)
項目選択	[決定] 設定画面へ

【DHCP設定】

③ メッセージを確認し、 決定 を押す

「アドレス取得中」メッセージ表示後、「IPアドレス設定」画面が表示されます。→ ⑬ へ進みます。

接続に失敗した場合は、ネットワークの環境を確認し、再度実施してください。

IPアドレス設定	
DHCP で IP アドレスを自動取得します。 [決定] を押して取得を開始してください。	
[決定] 取得開始	

IPアドレス設定	
DHCP	有効
IPアドレス	192.168.001.010
サブネット	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.001
DNSサーバ	192.168.001.001
[決定] 設定メニューへ	

【固定IPアドレス手動設定】

④ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

⑤ ▲ ▼ で、IPアドレスを変更する

⑥ 決定 を押す

IPアドレスが設定され、「サブネットマスク設定」画面が表示されます。

⑦ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

⑧ ▲ ▼ で、サブネットマスクを変更する

⑨ 決定 を押す

サブネットマスクが設定され、「デフォルトゲートウェイ設定」画面が表示されます。

⑩ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

⑪ ▲ ▼ で、デフォルトゲートウェイを変更する

⑫ 決定 を押す

デフォルトゲートウェイが設定され、「DNSサーバ設定」画面が表示されます。

IPアドレス設定 (1/4)	
IPアドレス	
▲ 192.168.001.010 ▼	
値変更	[決定] 次へ

IPアドレス設定 (2/4)	
サブネットマスク	
▲ 255.255.255.000 ▼	
値変更	[決定] 次へ

IPアドレス設定 (3/4)	
デフォルトゲートウェイ	
▲ 192.168.001.010 ▼	
値変更	[決定] 次へ

⑬ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

⑭ ▲ ▼ で、DNSサーバのアドレスを変更する

⑮ **決定** を押す

DNSサーバが設定され、「IPアドレス設定」画面が表示されます。

⑯ IPアドレス設定内容を確認し、**決定** を押す
「ネットワーク設定メニュー」画面に戻ります。

IPアドレス設定 (4/4)	
DNSサーバアドレス	
▲ 192.168.001.010 ▼	
◀ 値変更	[決定] 確認画面へ

IPアドレス設定	
DHCP	無効
IPアドレス	192.168.001.010
サブネット	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.001
DNSサーバ	192.168.001.001
[決定] 設定完了	

□ 設定初期化

ネットワークの設定状態を初期値(工場出荷状態)に戻します。

① 「はい」を選択し、**決定** を押す

初期化処理中のメッセージが表示されます。(最大1分)
ネットワークの設定が工場出荷状態に戻され、「設定を受付けました。」
メッセージ表示後、「ネットワーク設定メニュー」画面に戻ります。

ネットワーク設定初期化	
ネットワークの設定を 工場出荷状態に戻します。 初期化を実施しますか?	
<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
◀ 項目選択	[決定] 選択確定

■ ブザー音量設定

お知らせ発生時などのブザー音量を設定します。初期値は「小」です。

① ▲ ▼ でブザー音量を選択する

② ブザー音量を選択した状態で、▶ を押す
設定した音量の「ピッ」というブザー音が試聴できます。

③ **決定** を押す

選択されたブザー音量に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

ブザー音量設定	
大	
中	
<input checked="" type="checkbox"/> 小	▶ で試聴
切	
◀ 項目選択	[決定] 設定完了

■ 表示節電設定

設定した時間、操作がなければ自動で画面のバックライトが消灯します。初期値は「1分後消灯」です。

① ▲ ▼ で消灯までの時間を選択する

② **決定** を押す

選択された表示節電設定に変更され、「設定を受付けました。」
メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

表示節電設定	
10秒後消灯	
<input checked="" type="checkbox"/> 1分後消灯	
10分後消灯	
◀ 項目選択	[決定] 設定完了

設定・確認のしかた(つづき)

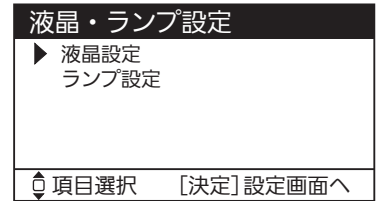
■液晶・ランプ設定

液晶・ランプ設定メニューを表示します。

① ▲ ▼ で液晶・ランプ設定メニューを選択する

② 決定 を押す

選択したメニューの画面が表示されます。



□液晶設定

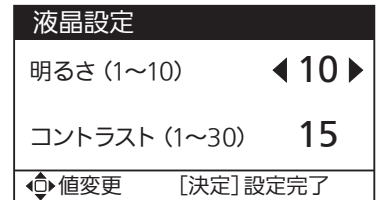
液晶画面の明るさとコントラストを設定します。初期値は、明るさ：10、コントラスト：15 です。

① ▲ ▼ で変更する項目を切り換える

② ◀ ▶ で段階を変更する

③ 決定 を押す

設定された明るさとコントラストに変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。



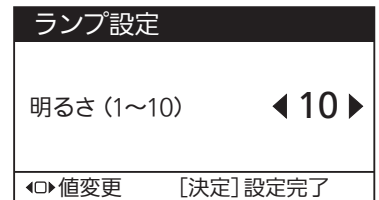
□ランプ設定

お知らせランプと運転/停止ランプの明るさを設定します。初期値は「10」です。

① ◀ ▶ で段階を変更する

② 決定 を押す

設定された明るさに変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。



■日時設定

ネットリモコンの日時を設定します。

① ◀ ▶ で変更する年・月・日・時・分を切り換える

② ▲ ▼ で数値を変更する
(1年・1月・1日・1時・1分単位)

③ **決定** を押す

設定された日時に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

※ 外部機器を接続している場合、日時情報は外部機器の日時が自動的に同期されます。

※ ネットリモコンで出力制御が設定されている場合は、±10分の範囲で設定できます。

日時設定	
2022/01/01 00:00	
◀▶ 値変更	[決定] 設定完了

出力制御設定ありの場合

時刻調整	
1日につき±10分の範囲で調整できます。	
現在時刻 09:00	+ 5分
◀▶ 値変更	[決定] 設定完了

■バージョン確認

ネットリモコンのバージョン情報を確認します。

① バージョン情報が表示される

メニュー戻る を押すとメニュー画面に戻ります。

バージョン確認	
ファームウェア	1.0
出力制御	3.0
MACアドレス(有線)	1234567890AB
MACアドレス(無線)	8901234567CD
[決定] 更新確認へ	

□ ファームウェアの更新確認

① バージョン確認画面で **決定** を押す

ファームウェア更新ファイルがなければメッセージを確認し、**決定** を押してメニューに戻ります。

② 「はい」を選択し、**決定** を押す→③へ進みます。

「いいえ」を選択すると、メニュー画面に戻ります。

更新ファイルなし

ご使用のファームウェアは最新のバージョンです。更新の必要はありません。
[決定] メニューへ

更新ファイルあり

ファームウェア更新	
最新のファームウェアがあります。ファームウェアの更新を実施します。	
はい	いいえ
◀▶ 項目選択	[決定] 選択確定

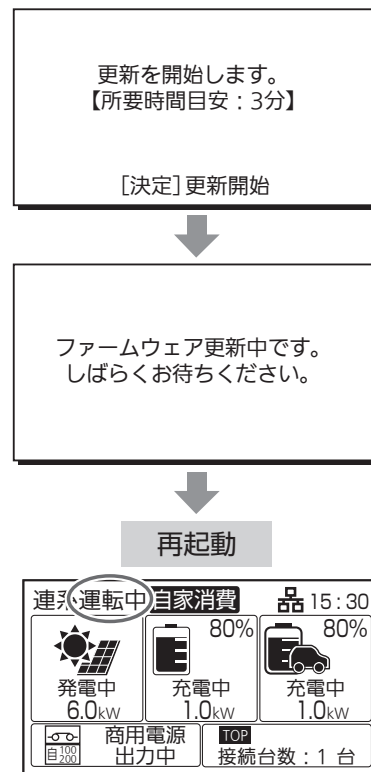
設定・確認のしかた(つづき)

- ③ メッセージを確認し、**決定** を押す

お知らせランプが赤点灯し、運転停止後ファームウェアの更新を開始します。更新が終了すると、お知らせランプが消灯します。自動でネットリモコンは再起動しトップ画面に戻ります。

ご注意

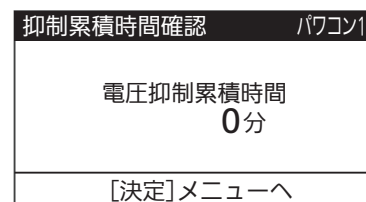
- 更新中は内部処理をしていますので、故意に電源を切らないでください。
- 所要時間目安は更新するファームウェアの内容によって変化します。
- 再起動時はトップ画面に戻ります。運転状態を確認してください。
- ファームウェア更新に失敗すると**お知らせランプが赤点滅**します。その場合は、裏表紙記載のお客さま相談窓口にご連絡ください。



抑制累積時間確認

電圧上昇抑制運転を行った累積時間を確認できます。

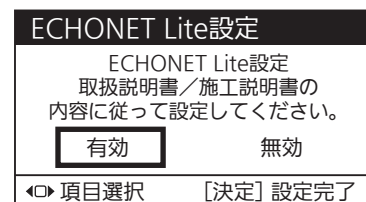
- ① 確認する多機能パワーコンディショナや太陽光パワーコンディショナを選択する
- ② **決定** を押し、確認する
- ③ **決定** を押す
メニュー画面に戻ります。



ECHONET Lite設定

ECHONET Lite™通信を行うため、有効に設定します。初期値は「有効」です。

- ① ◀ ▶ で「有効」または「無効」を選択する
- ② **決定** を押す
「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。



■ その他の設定

□ 出力制御

出力制御設定を行います。遠隔出力制御を行う場合には、必ず設定する必要があります。

出力制御メニュー

▶ スケジュール確認
発电量確認
出力制御設定

◀ 項目選択 [決定] 設定画面へ

- 外部機器で出力制御が有効な場合、右図の表示が出ます。

決定 を押す。出力制御メニューに戻ります。

接続している外部機器の施工説明書をご確認ください。
外部機器で出力制御を行う場合、ネットリモコンでの出力制御は設定できません。

上位機器による出力制御が有効なため設定できません。

[決定] 設定メニューへ

- 出力制御設定が無効の場合、右図の表示が出ます。

決定 を押す。出力制御メニューに戻ります。

出力制御が無効なため確認できません。

[決定] 設定メニューへ

□ スケジュール確認

出力制御の予定(経過分含む)を表示します。

1ヶ月スケジュールと1日スケジュールを確認します。

① ▲ ▼ で確認したいスケジュールを選択する

② **決定** を押す

③ ▲ ▼ で確認したい「月」または「日」を選択する

④ **決定** を押す

⑤ 設定状況を確認し、**決定** を押す

1か月スケジュールは、出力制御の有無を表しています。

1日スケジュールは、時刻と制御割合を表しています。

例えば、10と記載されている場合には10%に出力を制御することを示します。

※出力制御運転中は、売電量が少なくなる可能性があります。蓄電池ユニットやEV蓄電池に空き容量があれば、売電できない余剰の発電電力も充電します。

スケジュール確認

固定スケジュールの残日数：31日

1ヶ月スケジュール

1日スケジュール

◀ 項目選択 [決定] 設定確定

1ヶ月スケジュール

スケジュール確認(1ヶ月)

2022/01

◀ 値変更 [決定] 選択確定

1日スケジュール

スケジュール確認(1日)

2022/01/01

◀ 値変更 [決定] 選択確定

カレンダー 2022/03 出力制御設定値

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
○: 出力制御有り -: 情報未取得						
[決定] メニューへ						

設定状況(2022/03/01)(1/3) [%]

00:00	10	03:00	---	06:00	70
00:30	20	03:30	20	06:30	80
01:00	30	04:00	30	07:00	90
01:30	40	04:30	40	07:30	100
02:00	50	05:00	50	08:00	0
02:30	60	05:30	60	08:30	10

◀ ページ切換 [決定] メニューへ

設定・確認のしかた(つづき)

□ 発電量確認

発電量を確認します。

- ① ▲ ▼ で確認したい多機能パワーコンディショナや太陽光パワーコンディショナを選択する
- ② 決定 を押す
- ③ ▲ ▼ で発電量を確認したい「年月日」を選択する
- ④ 決定 を押す
- ⑤ 設定状況を確認し、決定 を押す
時刻と制御割合を表しています。
例えば、5.00 と記載されている場合には 5.00 kWh 発電したことを示します。

確認対象選択	
▶	パワコン1 パワコン2
◀	項目選択 [決定] 入力画面へ

発電量確認	
▲ 2022/01/01 ▼	
◀	値変更 [決定] 設定確定

発電量 2022/01/01 (1/3)[kWh] パワコン1					
00:00	0.00	03:00	0.00	06:00	2.00
00:30	0.00	03:30	0.00	06:30	3.00
01:00	0.00	04:00	0.00	07:00	4.00
01:30	0.00	04:30	0.00	07:30	5.00
02:00	0.00	05:00	0.00	08:00	5.00
02:30	0.00	05:30	1.00	08:30	5.00
▶ ページ切換 [決定] メニューへ					

□ 出力制御設定

出力制御設定を行います。

※設定は、お客様ではできません。お買い上げの販売店または施工店もしくはメーカーサービスマンにて設定を行います。

出力制御設定	
本画面以降は出力制御の設定画面です。機器メーカーなどの作業員以外の使用は禁止されています。本画面以降の操作は記録されます。	
[決定] 次へ	

■ 自動/手動切替設定

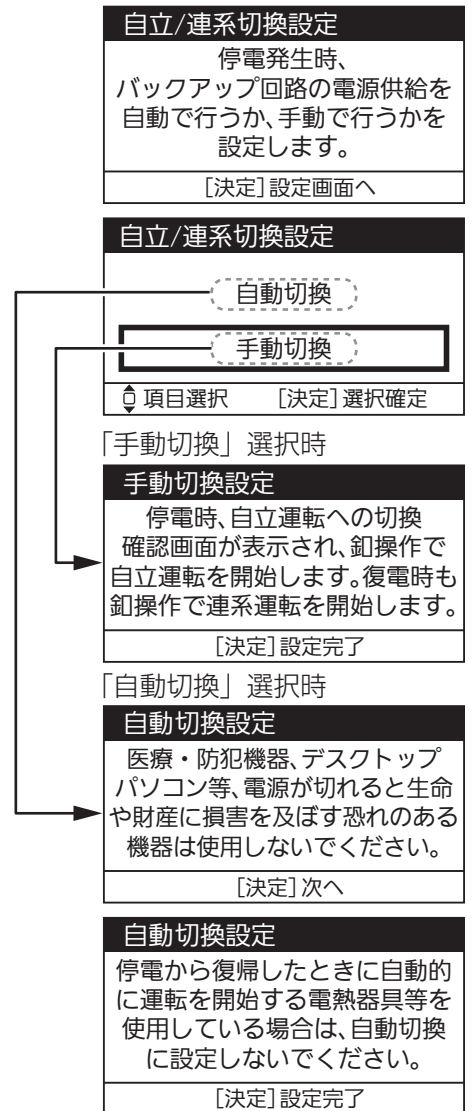
停電時、および停電復旧時に自立運転や連系運転に切り換える方法を設定します。初期値は「手動切替」です。

自動切替設定時の注意事項

- 停電すると、自立負荷の状態によらず、バックアップ回路へ自動で給電を開始するため、36 ページも併せてご確認ください。
 - ・電力切替ユニットを分電盤一次側設置で使用している場合にも、下記の接続不可の機器は使用できません。
[バックアップ回路に接続不可の機器の例]
 - ・電気ストーブ、電熱調理器具などの、高温部が露出し、かつ安全装置がない器具
- 電力切替ユニットを分電盤一次側設置で使用している場合には、使用する機器を減らしてください。同時に使用できる電力には限りがあります。自立運転が自動停止した場合、使用中の電気機器を一部停止し、消費電力を小さくすると、自動的に運転を再開します。(消費電力オーバーを連続で繰り返すと、エラーの解除操作が必要になります)
- 蓄電池が無い場合、太陽光発電システムの発電状況により停電時のバックアップは不安定となります。電力切替ユニットに接続する機器が停電時に自動切替で一斉に起動すると、発電量が足りないため保護装置が働き、停止する場合があります。電力切替ユニットに接続する機器は必要最低限の接続としてください。蓄電池が無い場合は手動切替を推奨します。

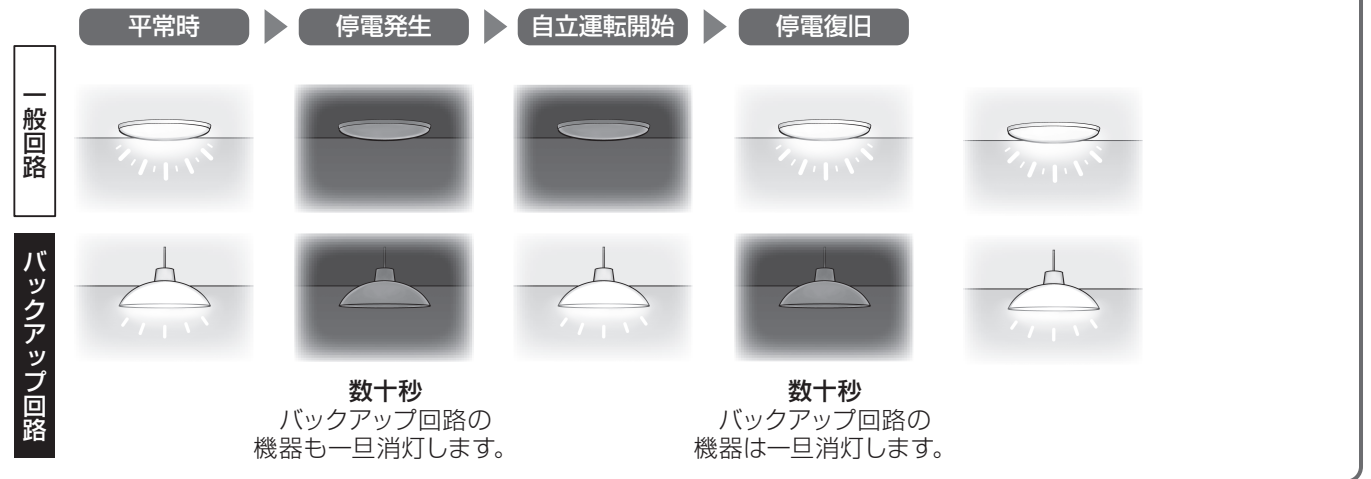
運転停止状態で設定を行ってください。

- ① トップ画面で **メニュー戻る** を押す
「メニュー (1/3)」画面が表示されます。
 - ② **積算表示** + **決定** を同時に長押しする
確認メッセージが表示されます。
 - ③ **決定** を押す
自動/手動切換の画面が表示されます。
 - ④ **▲** **▼** で切換方法を選択する
 - ⑤ **決定** を押す
設定時の注意メッセージが表示されます。
 - ⑥ **決定** を押す
設定された切換方法に変更され、「設定を受けました。」
メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。
- ※ **メニュー戻る** を押すと操作はキャンセルとなり、前画面に戻ります。



色々な使いかた

自動切換に設定した場合の停電時の動作



充放電できない

EVを充電できない

■使用温度範囲

V2Hスタンドを設置している場所の気温が、使用温度範囲(−20~+50℃)外になっている可能性があります。気温が動作温度範囲内に戻ると自動的に運転を再開します。システムを構成する他の機器の使用温度範囲については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

■ネットリモコンの設定

●EV充電上限(55 ページ)：

「EV充電上限」で設定されている値以上にEVを充電することはできません。

自家消費モード [※] (EV充電上限)	
EV固有 充電上限	EV充電上限 (50%~100%)
95 %	80%
値変更	[決定] 設定完了

■充放電コネクタの状態

EVの給電口に差し込んだ充放電コネクタに、ロックがかかっていない可能性があります。ネットリモコンを操作して、充放電コネクタにロックをかけてください。(48 ページ)

■EVの充電が遅い

EVがなかなか満充電にならない時には、「充放電優先度設定」の充電時でEVの比率が小さい可能性があります。設定をご確認ください。(57 ページ)
また、低温時には、蓄電池の保護のために充電に時間がかかることがあります。

■蓄電池への充電が100%にならない

昼間に蓄電池が100%まで充電されないご家庭では、夜間の充電量を増やすため、放電下限設定値を上げてください。(54 ページ)

EVから放電できない

■使用温度範囲

V2Hスタンドを設置している場所の気温が、使用温度範囲(−20~+50℃)外になっている可能性があります。気温が動作温度範囲内に戻ると自動的に運転を再開します。システムを構成する他の機器の使用温度範囲については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

■ネットリモコンの設定

●EV放電許可設定(56 ページ)：

「EV放電許可設定」を「禁止」に設定している場合、自動モードおよび外部制御による運転中に、EVから放電を行うことができません。「許可」に設定してください。

EV放電許可設定	
自家消費モード、タイマーモード および外部制御中に EVから放電を許可しますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 禁止
◀◁項目選択 [決定] 設定完了	

■充放電コネクタの状態

EVの給電口に差し込んだ充放電コネクタに、ロックがかかっていない可能性があります。ネットリモコンを操作して、充放電コネクタにロックをかけてください。(48 ページ)

■余剰電力の売電中

太陽光発電の余剰電力を発電中は、EVから放電できません。余剰電力の売電が終了するまでお待ちください。

充放電コネクタ・ケーブルのトラブル

■充放電コネクタが濡れた

乾いた布などで、ていねいに水分をふき取ってください。

- そのまま使用すると感電の原因となります。

■充放電コネクタを落とした

充放電コネクタのロック確認窓が青色(ロック)になり、ロックがかかった状態になる場合があります。

その場合は、充放電コネクタをEVに接続し、ネットリモコンから手動操作でコネクタのロックを解除してください。(48 ページ)ロック確認窓が銀色(アンロック)に変わります。

- 充放電コネクタのロック確認窓が青色(ロック)のままコネクタホルダーに収納してしまった場合も同様に、ネットリモコンから手動操作でコネクタのロックを解除してください。
- 充放電コネクタがひび割れたり、欠けたりした場合は、そのまま使用せずにお買い上げの販売店にご相談ください。

■雨水や雪などで充放電ケーブルが凍り付いた

20～40℃程度のぬるま湯をかけて、解凍してから使用してください。

- 充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。
- 解凍せずに充放電ケーブルを使用すると、ケーブルが傷ついたり、劣化したりするおそれがあります。

■充放電ケーブルに傷が付いた

傷がついた充放電ケーブルは感電や事故などの原因となりますので、そのまま使用せずにお買い上げの販売店にご相談ください。

- 充放電ケーブルを引きずったり、踏みつけたり、EVのタイヤでひいたりすると、充放電ケーブル表面の被覆が痛みますのでご注意ください。

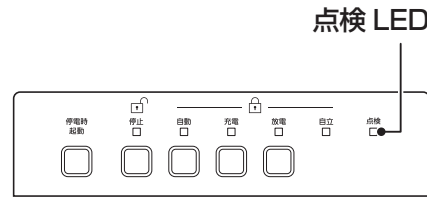
充放電コネクタ・ケーブルの寿命

充放電コネクタ・ケーブルには寿命があり、寿命に達するとV2Hスタンドが停止して使用できなくなります。寿命に達する前に充放電コネクタ・ケーブルを交換(有償)する必要がありますので、寿命が近づいて来たら早めにお買い上げの販売店または当社お客さま相談窓口(裏表紙)にご連絡ください。

充放電コネクタ・ケーブルの寿命が近づいた場合

充放電コネクタ・ケーブルが以下に該当すると、適宜ネットリモコンにお知らせ(点検コード)が表示され、操作部の点検LEDが赤色に点滅します。

- ・充放電コネクタの抜き差しが 9700 回に達した



お知らせ確認
V2Hスタンドのコネクタ・ケーブルの交換時期が近づいています。交換しない場合、安全のためV2Hスタンドを停止します。
[決定] 次へ

充放電コネクタ・ケーブルが寿命に達した場合

以下に該当すると、充放電コネクタ・ケーブルは寿命となります。ネットリモコンにお知らせが表示され、V2Hスタンドが停止します。

- ・充放電コネクタの抜き差しが 1 万回に達した

※「V2Hスタンド異常切り離し運転」を行います。取扱説明書の 22 ページをご確認ください。

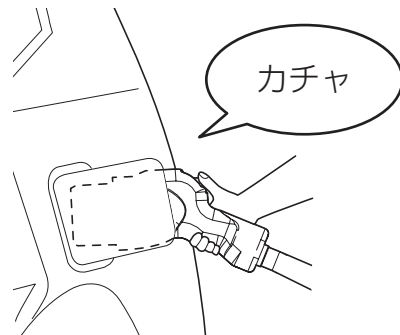
EVの電力でシステムを起動する

太陽光による発電がなく、蓄電池からの電力供給もなく、かつ、V2Hスタンドの充放電コネクタがロックされていない状態(アンロック)で停電すると、システムが停止します。

このようなときは、アクセサリケーブルを用いてEVから給電することで、システムを起動できます。これを「停電時起動」と呼びます。

1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 32 ページを確認してください。
既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
手順2へ進んでください。



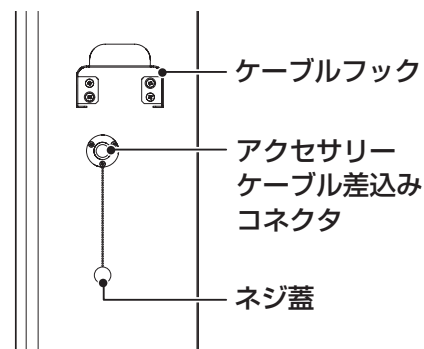
2 本体右側面にあるアクセサリケーブル 差し込みコネクタのネジ蓋を外し、 付属のアクセサリケーブルを差し込む

ネジ蓋は反時計回りに回して外してください。
アクセサリケーブルの屋外用防水コネクタ側を差し込んでください。

アクセサリケーブル



本体右側面



- 雨天時などは、アクセサリケーブルのコネクタ(屋外用防水コネクタおよび差し込みコネクタ)に水分が付かないようにご注意ください

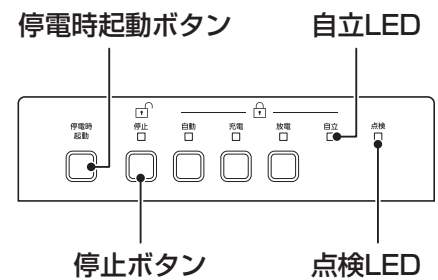
3 アクセサリケーブルの差し込みコネクタをEVの 電源ソケットに差し込み、EVのソケットスイッチをONにする

アクセサリケーブルはEVの窓に通してください。
電源ソケットの位置、アクセサリケーブルの差し込み方、およびソケットスイッチの
位置・操作方法については、EVの取扱説明書をご確認ください。

4 操作部の停電時起動ボタンを押す

EVからの放電が開始されるとV2Hスタンドが起動し、自立LEDが赤色に点滅します。

- 点検LEDが点滅している場合は、停電時起動を実施できない場合があります。停止ボタンを5秒以上長押しして点検LEDの点滅を消してから、再び停電時起動ボタンを押してください。それでも実施できない場合は、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外して、V2HスタンドのLEDが消灯するまで(3分程度)待ってから、やり直してください。



5 自立LEDの点灯(赤色)を確認したあと、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外す

システムが起動し、ネットリモコンで操作可能になります。
停電中は自立運転を行います。
自立運転の詳しい説明は35~41ページをご確認ください。

- EV側の電力を消費しますので、起動後はEVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外してください。

6 アクセサリケーブル差込みコネクタのネジ蓋を確実に閉める

充放電コネクタの緊急離脱

V2Hスタンドまたはネットリモコンの操作により充放電コネクタのロックを解除したにもかかわらず、離脱ボタンを押しても充放電コネクタがEVから取り外せない故障が発生する可能性があります。付属の緊急離脱工具セットは、このような場合に、緊急で取り外す(緊急離脱)ための工具です。急を要していない場合は、使用する前にお買い上げの販売店にご相談ください。

必ず事前にお読みください

緊急離脱工具セットは、すぐに取り出し可能な所に大切に保管してください。

セットの袋を開封する前に、必ず本説明、またはセットに同梱の説明書をお読みください。

- 緊急離脱を行う前に、必ずネットリモコンの点検コードを確認してください。
- 緊急離脱を行った場合、その充放電コネクタは使用できなくなり、当社サービスによる調整・点検が必要になります。(緊急離脱実施の理由および保証期間にかかわらず有償となります)
- 緊急離脱は必ず、下記の「緊急離脱に関する安全上のご注意」をお読みいただき、次ページの「充放電コネクタを緊急離脱する」の手順に沿って実施してください。
- 緊急離脱工具セットが入った袋の開封により、本書記載内容を確認・同意いただいたこととなります。

緊急離脱に関する安全上のご注意



警告



禁止

- 操作部の自動LED・充電LED・放電LED・自立LEDが点灯している場合は、緊急離脱を実施しない感電のおそれがあります。
- 緊急離脱が禁止されている点検コード表示時は、緊急離脱を実施しない感電のおそれがあります。点検コードは、下記「緊急離脱の実施前に」を確認してください。
- 充放電コネクタをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしない感電のおそれがあります。
- 充放電コネクタの電極部分に触れない感電のおそれがあります。
- 充放電コネクタを落とさないけがのおそれがあります。
- 充放電コネクタ内部の部品やケーブルを傷つけない感電のおそれがあります。
- 取り外した部品や工具は、子供の手の届くところに置かないけが・誤飲のおそれがあります。

■緊急離脱の実施前に

以下を確認してください。

- ① ネットリモコンに、以下の点検コードが表示されている場合は、感電のおそれがありますので、お客様ご自身では行わず、お買い上げの販売店にご相談ください。
緊急離脱禁止の点検コード(以下、下3桁の数字部分を示す)
・716 ・717 ・718
- ② 以下の点検コードが表示されている場合は、感電のおそれがありますので、機器やケーブルには触れずに充放電ケーブルの亀裂等の外観異常を確認してください。
外観異常確認の点検コード
・706 ・707 ・715 ・719 ・746 ・765 ・766
外観異常がある場合は機器には触れず、お買い上げの販売店にご相談ください。
異常がなければ、ネットリモコンの表示に従い操作してください。
操作しても点検コードの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ③ 表示されている点検コードが上記以外または、点検コードが表示されていない場合は、V2Hスタンドの停止ボタンを押して、充放電コネクタが外せないか確認してください。
- ④ V2Hスタンドの停止ボタンを押しても充放電コネクタを外せない場合は、次ページの「充放電コネクタを緊急離脱する」をよく確認し、付属の工具による緊急離脱を実施してください。

充放電コネクタを緊急離脱する

1 V2Hスタンドにアクセサリーケーブルが接続されていたら取り外す

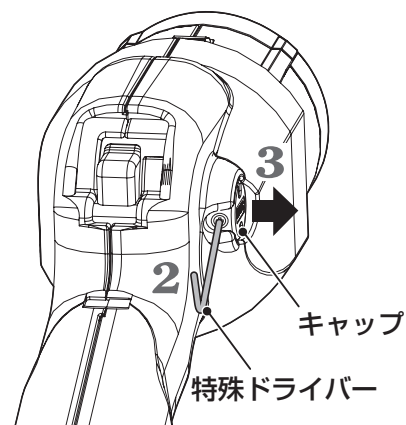
2 付属の特殊ドライバーを使用して、
充放電コネクタのキャップを
固定しているネジを外す

ネジは反時計回りに回して外してください。

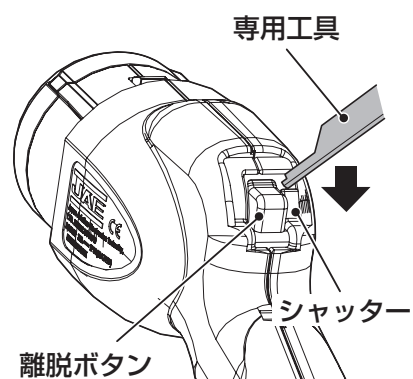
- 他のネジには触れないでください。
- 外したネジは無くさないように保管してください。

3 キャップを右側へ引き出す

- キャップを動かすと音がしますが、問題ありません。



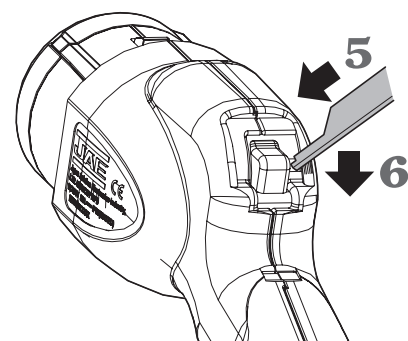
4 付属の専用工具を使用して
離脱ボタンの右横にある
シャッターを押し下げる



5 シャッターを押し下げて開いた穴に
専用工具を奥まで差し込む

6 差し込んだ専用工具を押し下げながら、
充放電コネクタをゆっくり引き抜く

- 充放電コネクタはコネクタホルダーには戻さず、ケーブルフックに掛けてください。



■緊急離脱の実施後は

当社サービスによる調整・点検が必要になりますので、お買上げの販売店にご相談ください。
緊急離脱実施の理由および保証期間にかかわらず、有償となります。

ファームウェアアップデートについて

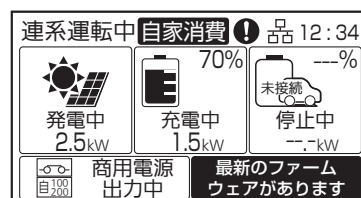
重要！

ファームウェア更新中は、多機能パワーコンディショナの運転が停止し、売電などはできません。また、更新完了後はトップ画面に戻ります。必ず運転状態を確認してください。

ネットリモコンの新しいファームウェアがダウンロードされると、トップ画面にファームウェア更新のお知らせが表示されます。

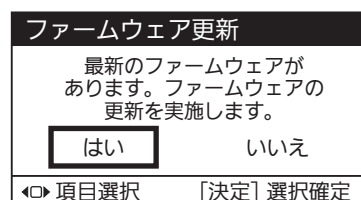
1 お知らせランプを押す

ファームウェア更新の確認画面が表示されます。



2 「はい」を選択して 決定 を押す

「いいえ」を選択すると、トップ画面に戻り、ファームウェア更新のお知らせは消えます。運転中などのため、後日更新したいときは、一旦「いいえ」を選択し、メニュー画面のバージョン確認(65 ページ参照)にて実施してください。

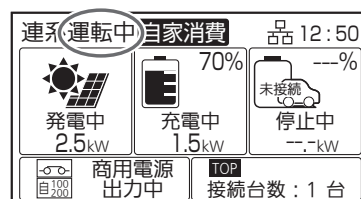
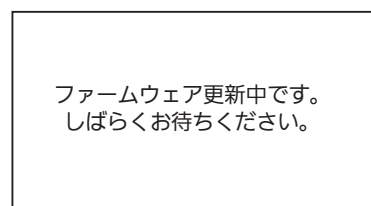
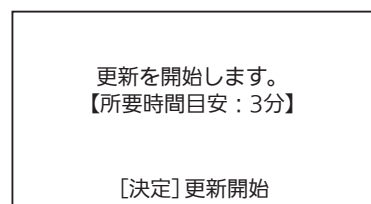


3 メッセージを確認して 決定 を押す

お知らせランプが赤点灯し、運転停止後ファームウェアの更新を開始します。更新が終了すると、お知らせランプが消灯します。自動でネットリモコンは再起動しトップ画面に戻ります。

ご注意

- 更新中は内部処理をしていますので、故意に電源を切らないでください。
- 所要時間目安は更新するファームウェアの内容によって変化します。
- 再起動時はトップ画面に戻ります。運転状態を確認してください。
- ファームウェア更新に失敗するとお知らせランプが赤点滅します。その場合は、本書記載のお客さま相談窓口にご連絡ください。



システムを停止したい<維持充電>蓄電池あり

長期間、システムを停止される場合には、必ず「維持充電」運転を行ってください。

※通常使用時には設定は必要ありません。

- 多機能パワーコンディショナは運転を停止しても、待機電力を消費します。
- 住宅分電盤の太陽光発電システム連系ブレーカを切るときなど、長期間停止するときは、多機能パワーコンディショナの運転を「維持充電」状態にしてください。(下記手順参照)

蓄電池が残量0%の状態では充電ができない状況がおおむね1~2日続くと、蓄電池ユニットの過放電を防止するために、蓄電池ユニット内部の開閉器が自動的にOFF(切)になります。

開閉器がOFF(切)になった場合は、蓄電池ユニットを再度使用する際にメンテナンスが必要となります。

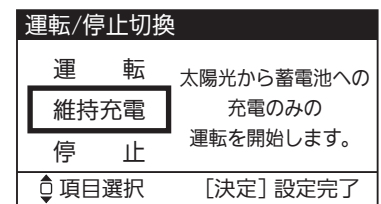
長期間、蓄電池ユニットの開閉器がOFF(切)の状態では放置しますと蓄電池ユニットの交換(有償)が必要になる場合があります。

「維持充電」状態にしておくと、住宅分電盤への入出力は停止しますが、太陽光発電による電力が蓄電池ユニットに充電され、過放電を防止します。ただし太陽電池モジュールが接続されていない場合、または既存の太陽光発電システム(太陽電池モジュール、太陽光パワーコンディショナ)をそのままご使用される場合は、蓄電池ユニットに充電できません。

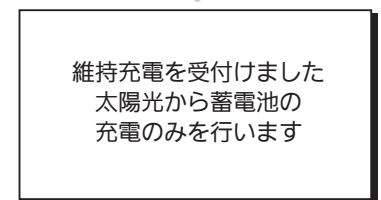
システム全体を停止すると、蓄電池に充電されなくなります。長期間継続すると蓄電池の充電容量が減ります。維持充電にすることで、蓄電池の残容量を40%以上になるようにします。

※太陽光からのみ充電します。商用電源からは充電しません。

1 を押す



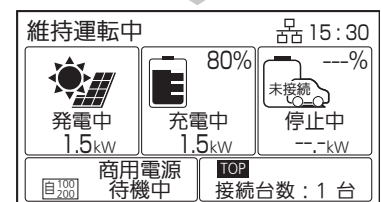
2 を操作し、「維持充電」を選択し、 を押す



3 「維持充電」が開始されます

EVを接続している場合は、アンロックされます。

※維持充電を停止する場合には、選択画面で「停止」を選択してください。



こんなときは

システムを停止したい<停止>

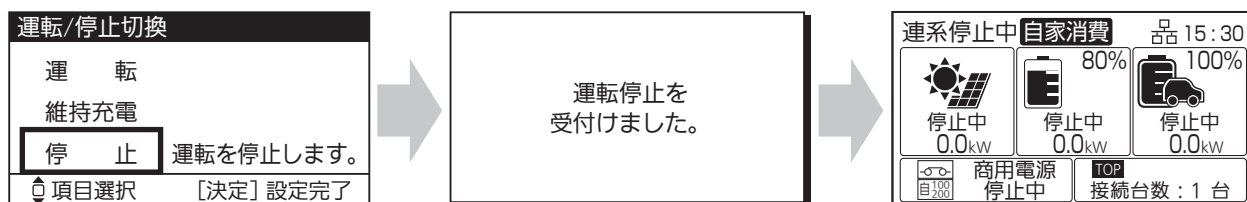
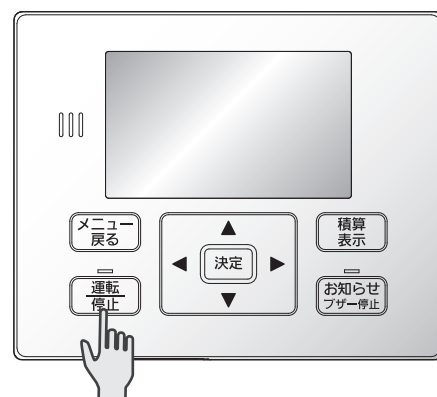
運転を停止するには

下記の手順で運転を停止します。

1 **運転停止** を押す

2 「停止」を **▲ ▼** で選択し、**決定** を押す

「運転停止を受けました」と表示され、
トップ画面が表示されます。
「停止中」となります。



ご注意

- **蓄電池あり** の場合には、長時間運転を停止すると、蓄電池ユニットの残量が過放電となる可能性があります。長期間、システムを停止される場合には、必ず「維持充電」運転を行ってください。
- 転居などにより、システムを停止させたい場合は、開閉器および蓄電池ユニット内部の開閉器をOFF(切)にするため、メンテナンスが必要となります。お買い上げの販売店または施工店、あるいは裏表紙記載のお客さま相談窓口にご相談ください。

運転を再開したい<再開>

■システム全体を停止した場合(**蓄電池なし** の場合)

システム全体の停止を依頼した販売店または施工店に、運転の再開をご依頼ください。

■維持充電を行っている場合(**蓄電池あり** の場合)

79 ページ「システムを停止したい<維持充電>」の手順2 で「運転」を選び **決定** を押してください。

「運転開始を受けました」と表示され、トップ画面が表示されます。約5分後に連系運転を開始します。

AiSEG2 との接続

本製品はHEMS(HEMSとは「Home Energy Management System」の略で、家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムです。)と連携するためのECHONET Lite通信プロトコルを搭載しています。ネットワークに接続することにより、太陽光発電電力や蓄電池ユニットの充放電電力などの情報をHEMSに表示することができます。

また、インターネットを通じて、ファームウェアアップデートが可能となります。

AiSEG2 にV2H蓄電システムを登録する方法は、AiSEG2 の設定マニュアルや取扱説明書をご確認ください。

ネットワーク接続の設定方法は、本書の「設定・確認のしかた」をご確認ください。

パワーアップ充電について

本システムは、系統側の定格出力電力6.0 kWに対し、太陽光の定格入力電力を 9.0 kWとしているため、その差分を蓄電池やEV蓄電池に蓄え、有効活用できる「パワーアップ充電」機能を搭載しています。

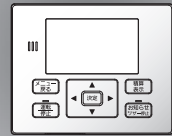
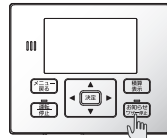
※太陽電池モジュールを 6.0 kW超接続している場合、かつ、蓄電池やEV蓄電池の充電電力に余力がある場合に限り、運転モードの設定によっては機能しない場合があります。(28 ページ)

点検コードが表示されたとき



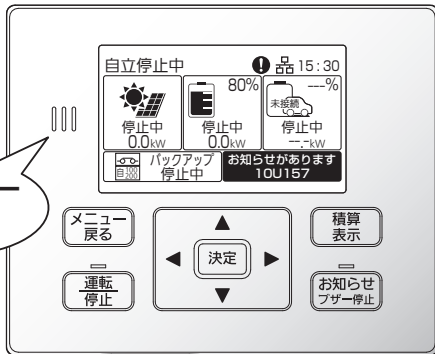
下記内容をご確認の上、対処方法をお試してください。
確認の結果、異常がある場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

- 1 ネットリモコンのお知らせを確認してください
- 2 お知らせの内容を元に、取扱説明書を確認し、対処を行ってください
- 3 確認した後、異常がある場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください



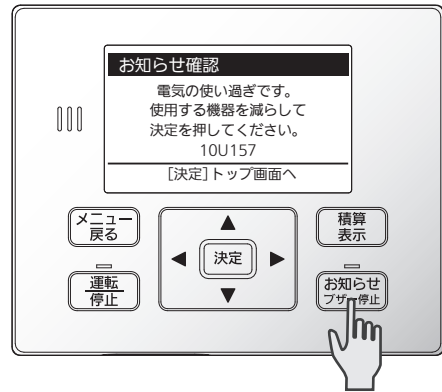
●点検コードの確認方法

1



「お知らせがあります」が表示されていることを確認します。

2



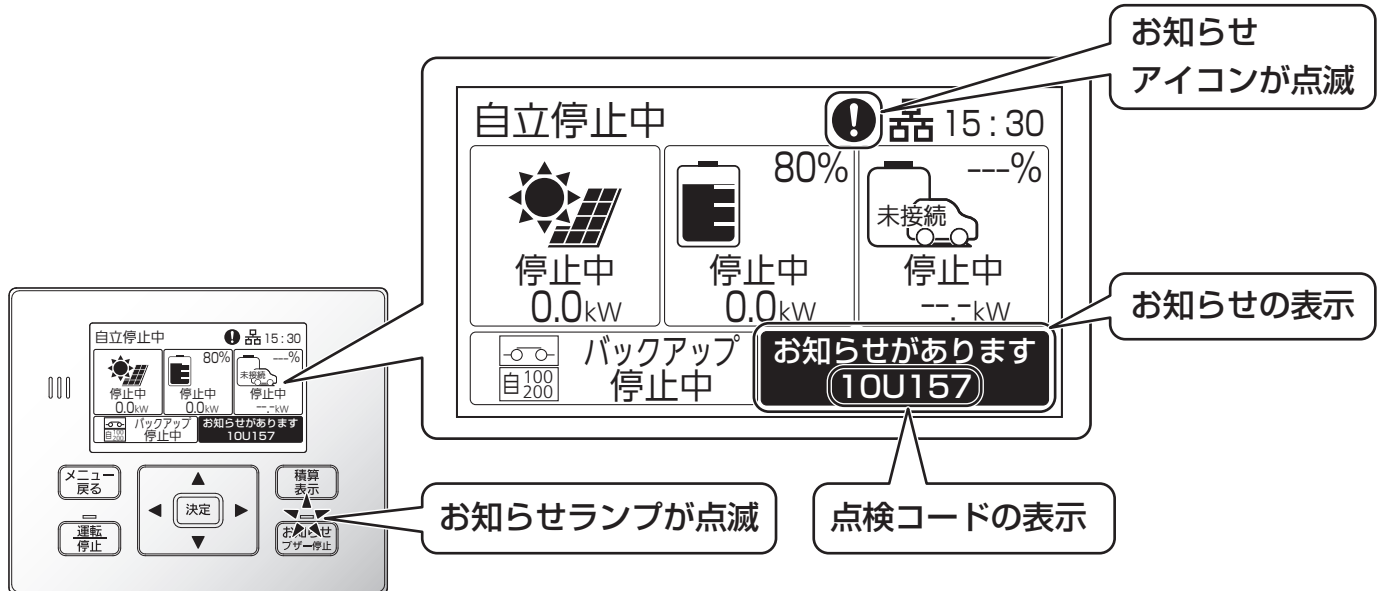
「お知らせブザー停止」を押すことで、ブザーが止まりお知らせ発生内容が表示されます。

ご注意

- 充放電コネクタをEVに接続しロック状態の時に異常が発生し点検コードが表示されると、充放電コネクタはアンロック(ロック解除)されます。異常が解除された場合は、必要に応じて再度ロックしてください。なお、一部の点検コードでは、お客様の操作で異常が解除されると、自動的に再ロックされます。ロック・アンロックの状態は、ネットリモコンによりご確認ください。(アンロック状態では、EV未接続のアイコンが表示されます)

点検コードは、ネットリモコンで表示されます。正常な運転ができないときには、お知らせランプの点滅と共に、お知らせアイコン、お知らせの表示がされます。状況により、運転を停止することがあります。

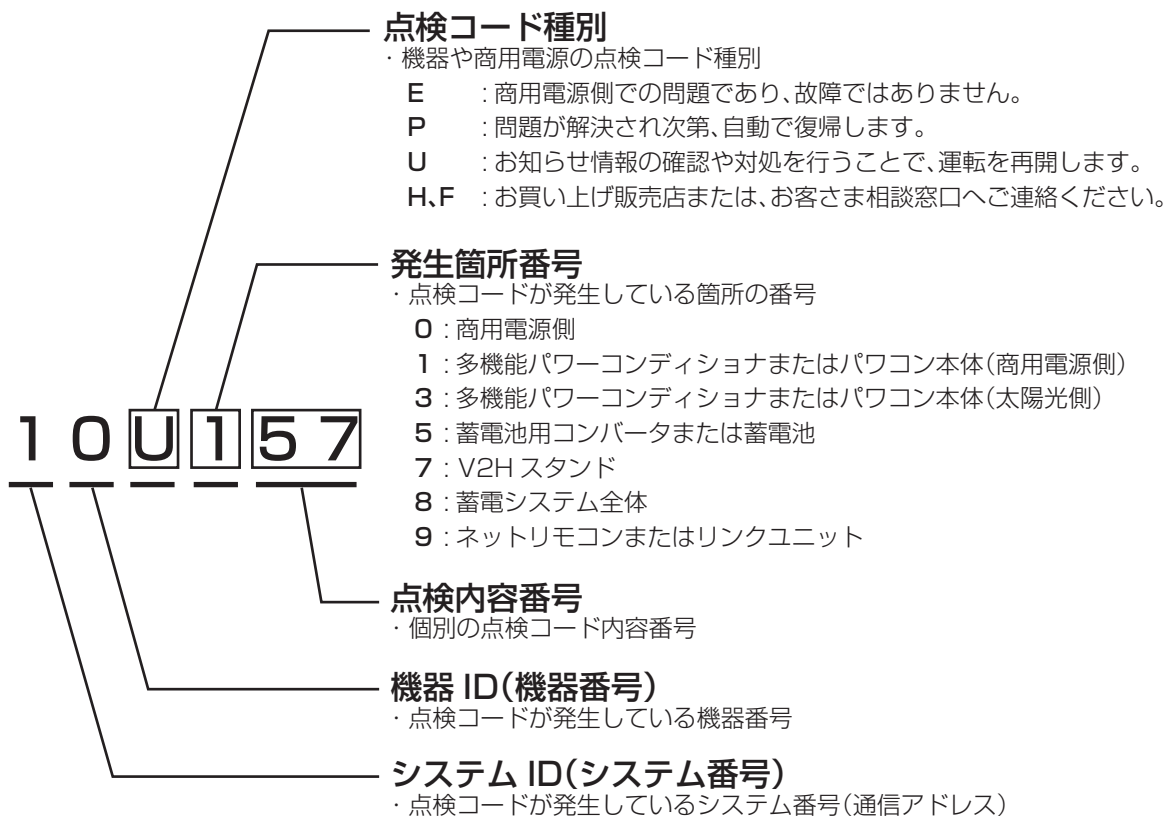
■お知らせ発生時の表示画面



■点検コードの体系

点検コードは、アルファベットを含む6桁で表されます。問題が発生している機器や点検コード種別、発生内容を特定することができます。

システムID、機器IDは接続される機器に依存するため、以降、本説明書では省略して表記します。



点検コードが表示されたとき(つづき)

■Eの点検コード(商用電源側)の内容と対処のしかた

これは故障ではありません。

点検コード	内容と対処
001~014	<ul style="list-style-type: none"> ・停電または商用電源の乱れによる運転停止原因が解消されれば、自動的に運転を再開します。 ・住宅内の他の電気製品が正常に使用できるにもかかわらず、長い間この状態が継続する場合は、太陽光発電システム連系ブレーカが OFF(切)でないかを確認し、OFF(切)であればON(入)にしてください。 ※ 太陽光発電システム連系ブレーカが頻繁にOFF(切)になるようであれば、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

■P(自動復帰)、U(対処により運転再開)の点検コードの内容と対処のしかた

お知らせランプと共に画面のお知らせアイコン、お知らせ情報によりシステムの問題を表示します。


お知らせ情報をご確認の上でご対応ください。

Pの点検コード：正常な状態やネットリモコンの操作で 10 秒～数分後(整定値の復帰時間設定値)に自動的に運転を再開します。

Uの点検コード：ネットリモコンに表示されるお知らせ情報の表示内容の確認や操作、下記に記載の対処をすることで、運転を再開します。

お知らせ情報の表示は、 を押してください。

同じ点検コードが頻繁に表示されるときは、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

点検コード	内容と対処
101~125、127~139	・多機能パワーコンディショナで問題があり、保護のため運転停止しました。
126、347	・多機能パワーコンディショナの設置環境が使用可能範囲外です。温度の回復を待ってください。
150~158	・自立運転時、使用する機器が多い可能性があります。使用する機器を減らしてください。
160~169	・自立運転中に問題があり、保護のため運転停止しました。
301~346	・太陽光入力側で問題があり、保護のため運転停止しました。
501~591	・蓄電池用コンバータで問題があり、保護のため運転停止しました。
701、702、705、708~710、712、714、725~730、734~738、745、767~770、774	・V2Hスタンドに問題があり、保護のため停止しました。異常を繰り返す場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
703、704、706、707、711、713、715、719、746、765、766	・感電のおそれがある異常が発生したため、充放電コネクタを外せません。V2Hスタンド、充放電ケーブル・コネクタなど機器に損傷が無いことを確認の上、運転を再開してください
716~718、747、752、754、755、761~764、771~773	・保護のため一時的に停止しました。  を押すと運転を再開できます。
731、732、760	・充放電コネクタの接続に問題がある可能性があります。コネクタを抜き差しし、接続を確認してください。
740	・V2Hスタンドの設置環境が使用可能範囲外です。温度の回復を待ってください

点検コード	内容と対処
750、751、753	・車両側で異常を検知しました。車両を確認してください。  を押すと運転を再開できます。
756、792	・車両のシフトがP以外に設定されています。Pに設定し、  を押すと運転を再開できます。
757、786～791	・運転条件を満たせないため、一時的に運転を停止しました。
780、781	・非対応の車両が接続されたため運転を停止しました。対象車種であることを確認してください。
785	・車両充電に必要な電力を十分確保できないため運転を停止しました。商用電源連系中の手動充電など、十分な電力を確保できる状態で充電してください。
795	・充放電コネクタの寿命が近くなりました。お買い上げの販売店にご相談ください。
796	・充放電コネクタの寿命です。交換が必要です。
801	・遠隔出力制御データが受信できていません。外部機器との通信や設定を確認してください。
802～806	・各機器に通信で問題があり、運転を停止しました。
899	・停電または商用電源の乱れにより運転停止しました。ネットリモコンの画面にお知らせが表示されます。頻繁に表示されるようであれば、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
901～903	・多機能パワーコンディショナや太陽光パワーコンディショナで信号異常のため、運転停止しました。
952	・時刻が設定されていません。時刻を設定してください。
958～963	・出力制御を行う上で、必要な条件が揃っていません。
981～992	・リンクユニットで問題があり、保護のため運転停止しました。

■H、Fの点検コードの対処のしかた

ネットリモコンの画面指示に従ってください。正常に動作しない場合には、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。



特に注意すべき点検コードを下記に記載しています。

点検コード	内容と対処
592	・蓄電池水没を検知しました。感電の恐れがあるため、運転停止しました。蓄電池ユニットに触れないでください。

その他

■ネットワークアイコンが点滅しているときは

トップ画面のネットワークアイコンが点滅しているときは以下の状態です。

アイコン表示	ネットワーク接続状態
	2秒点滅 DHCPサーバ(ルーター)からIPアドレス取得中
	1秒点滅 DHCPサーバ(ルーター)からIPアドレス取得失敗のため固定IPアドレスで動作中
	1秒点滅 IPアドレスが重複 ※ IPアドレスを確認してください。

点検停止のお知らせについて

蓄電池の性能は経年により劣化し、ある限度以上劣化すると使用できなくなります。
使用環境、充放電の動作状況により、劣化の速度が異なります。

点検停止が必要となる6か月、3か月、1か月前にネットリモコンにブザー音と共に、点検停止のお知らせが表示されます。(機種により、蓄電池ユニット本体のランプも点灯します)

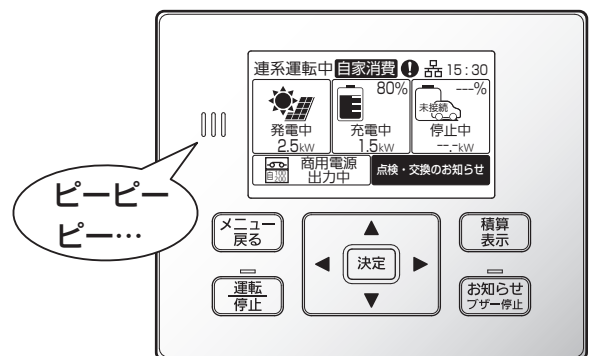
- ・定期的な点検停止の場合、初回は約10年6か月、2回目以降は点検後2年6か月
- ・蓄電池の容量が規定値に近づいた場合

インターネットに接続している場合、ネットリモコンから点検を実施することで継続使用が可能になる場合があります。

インターネットに接続していない場合、または、使用期間が終了し蓄電池ユニットが停止した場合は、お客さま相談窓口にご連絡の上、修理・サービス会社による点検(有償)をお受けください。

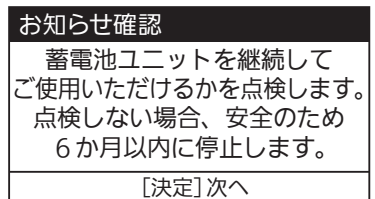
1 **お知らせ ブザー停止** を押す

ブザーが停止し、蓄電池ユニットの点検のお知らせが表示されます。

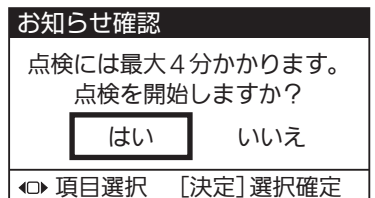


2 メッセージを確認して **決定** を押す

点検開始の確認画面が表示されます。

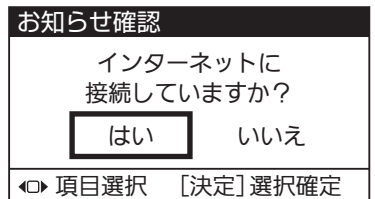


3 「はい」を選択して **決定** を押す

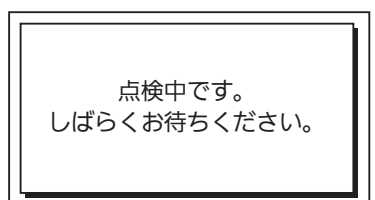


4 「はい」を選択して **決定** を押す

インターネット接続の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、トップ画面に戻ります。



点検を開始します。



4で「いいえ」を選択すると右記「修理窓口へご連絡」のお知らせが表示されます。

決定 を押すと、トップ画面に戻ります。

お知らせ確認
蓄電池ユニットの点検停止のお知らせです。
修理窓口へご連絡ください。
[決定] トップ画面へ

5 点検結果を確認する

■使用期間の延長

確認後、再度点検停止のお知らせが表示されるまで、運転可能です。

点検が完了しました。
継続して
ご使用いただけます。
[決定] トップ画面へ

■使用期間の終了

表示の期間に、動作を停止します。

停止後、多機能パワーコンディショナは蓄電池の切り離し運転を行います。
(22 ページ参照)

お客さま相談窓口にご連絡してください。

点検が完了しました。
継続して
ご使用いただけません。
修理窓口へご連絡ください。
[決定] トップ画面へ

■点検の失敗

●ファームウェアが最新でないため、点検できません。

ファームウェア更新後、再度点検を実施してください。(78 ページ参照)

お知らせ確認
ファームウェアの更新が必要です。
「メニュー」の
「バージョン確認」から
更新を実施してください。
[決定] トップ画面へ

●ネットワーク環境に問題があるため、点検できません。接続状態を確認してください。

再度点検は、サーバへの接続周期により、25 時間後の実施をおすすめします。

お知らせ確認
ネットワークに問題があります。
接続を確認してください。
25時間以上経過した後、
再度点検を開始してください。
[決定] トップ画面へ

6 **決定** を押す

トップ画面に戻ります。

使用期間が延長されたときは点検停止のお知らせ表示が消えます。

点検とお手入れのしかた

特に台風や地震、落雷などの自然災害の後には、販売店または施工店による点検をお勧めします。水没時は感電のおそれがありますので、本体に近づかず、水が引いても触らないでください。

異常・故障時には、直ちに運転を停止し太陽光発電システム連系ブレーカをOFF(切)にして、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

日常点検

安心してお使いいただくために、日常の点検をお願いします。

- 異音・異臭はありませんか？
- 充放電コネクタ先端の電極部に異物などが付着していませんか？
- 充放電コネクタやケーブルに傷などはありませんか？
- 吸気口は塞がっていませんか？
(吸気していますので、積雪時は除雪をお願いします。)
- ネットリモコンに点検コードが表示されていませんか？

定期点検

長期にわたりご使用いただく太陽光発電システムには定期点検の実施が必要です。

下記、定期点検表を用いて、1か月に1回を目安に実施ください。

定期点検表(必要枚数をコピーしてお使いください)			点検年月・点検結果(○/×)					
点検対象	点検項目	点検内容	/	/	/	/	/	/
周囲環境	可燃物	可燃性ガスや引火性溶剤が近くに無いか						
	温度、湿度、ホコリ	-20℃~+50℃、90%以下(結露なし)になっているか						
		放熱を妨害する物が置かれていないか またはホコリなどが溜まっていないか						
	設置状態	点検スペースが確保されているか						
機器の状態	外観	傷やへこみ、さびなどがついていないか (必要に応じて部品交換などを依頼してください)						
	異常音	通常と異なる音が発生していないか						
	におい	こげ臭い異臭などが無いか						
ネットリモコン表示	点検コード表示	点検コード画面(お知らせ表示)が表示されていないか(82ページ参照)						

※ 自立運転について、1年に1回程度を目安に動作ができることをご確認ください。(39ページ参照)

多機能パワーコンディショナの整定値と設定値 お客様控え

必ず施工業者にご記入いただき、今後のメンテナンスのためにも大切に保管してください。

■ 整定値

保護機能	整定値(初期値)	変更値
OVR値	115.0 V	V
OVR時間	1.0 s	s
UVR値	80.0 V	V
UVR時間	1.0 s	s
OFR値	+1.0/1.2 Hz	Hz
OFR時間	1.0 s	s

保護機能	整定値(初期値)	変更値
UFR値	-2.5/3.0 Hz	Hz
UFR時間	2.0 s	s
受動方式	8°	°
復帰時間	300 s	s
電圧抑制	109.0 V	V
力率	0.95	
並列周波数	+0.10 Hz	Hz

■ パラメータ(設定値)

パラメータ	設定値(初期値)	変更値
手動操作 (蓄電池)	解除	
運転モード	自家消費	
自家消費 充電時間	01:00~06:00	
タイマー放電 時間帯	10:00~22:00	
タイマー充電 時間帯	01:00~06:00	

パラメータ	設定値(初期値)	変更値
蓄電池放電下限 (平/停*1)	40%/10%	
蓄電池充電 上限	80%	
EV放電下限 (平/停)	+40%/+10%	
EV充電上限	80%	

※1 停電時設定はリンクユニットを接続時のみ表示

お手入れのしかた

ご注意

- 運転中や日光があたっている状態では機器の表面が熱くなるので、運転を停止し、日がかげってからお手入れを行ってください。お手入れ後、運転を再開してください。(80 ページ参照)

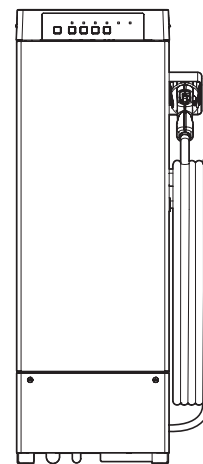
■ V2Hスタンド

- 表面の清掃を行う

水洗い、高圧式洗浄装置や洗剤、薬品類(スプレー剤などを含む)を使わず、乾いた布または固く絞ったやわらかい布で本体をふいてください。

汚れがひどい場合は

やわらかい布を水にひたし、よく絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いたやわらかい布で水分を拭き取ってください。



ご注意

- ベンジン、シンナーや洗剤を使用しないでください。また水をかけないでください。
- V2H スタンドおよび周囲への融雪剤散布は、錆が発生するおそれがあるためお控えください。

ネットリモコンや多機能パワーコンディショナなどのお手入れのしかたは、それぞれの機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

必要なときに

リチウムイオン蓄電池ユニットについて

蓄電池あり

平常時の蓄電池の動作

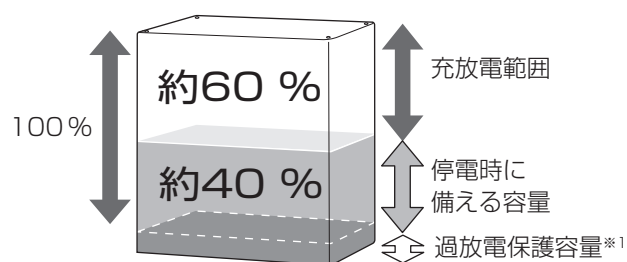
自家消費モード・タイマーモード

平常時は充放電範囲で充放電します。

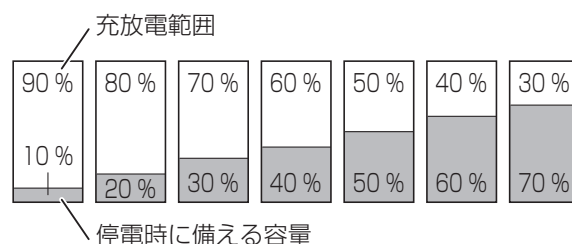
リチウムイオン蓄電池ユニット(蓄電池ユニット)の停電時に備える容量は設定変更可能です。

放電下限の設定値を減らすと、平常時に活用できる蓄電池ユニットの電力が増え、設定値を増やすと停電時に備える蓄電池ユニットの電力が増えます。(54 ページ参照)

平常時



設定により平常時の充放電範囲と停電時に備える充電量を下記のいずれかに設定可能です。

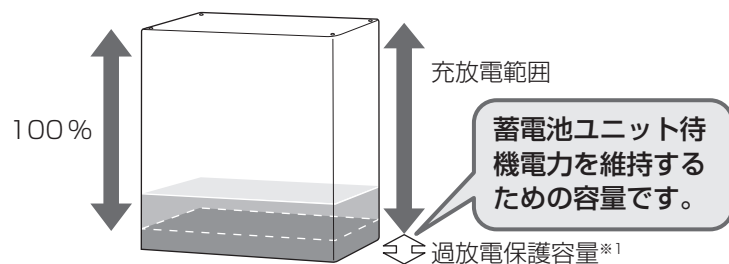


停電時に備えて、蓄電池残量(例: 約40%)を残して放電します。(初期値)

停電時の蓄電池の動作

自家消費モード・タイマーモードから自立運転に変わります。

停電時



太陽光発電の余剰電力を充電し、太陽光発電の不足分を補うように放電します。

ご注意

- 自立運転においては、自家消費モード・タイマーモードの停電時に備える容量の設定は反映されません。

※1 機種により異なります。

停電時、蓄電池残量10%のお知らせ

蓄電池残量が10%以下になると、ネットリモコンのお知らせアイコン表示とお知らせLED点灯、ブザー音「ピピピピッ」でお知らせします。

ブザーは自動停止しません。**お知らせブザー停止** を押し、ブザーを止め

てお知らせ画面を表示してください。

そのままご使用されますと、蓄電池ユニットの残量が無くなり、自立運転が停止する可能性があります。

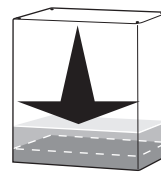
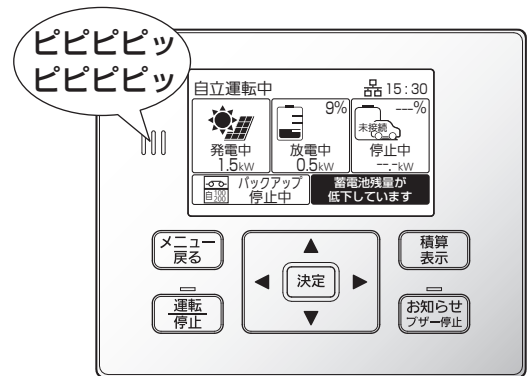
電気の使用を抑えていただくことをお勧めします。

太陽光による発電等で充電するなど、残量が11%以上になった場合は自動でお知らせを解除します。

※蓄電池残量が無い状態が続いた場合、お客様による復旧ができません。

復旧には、お買い上げの販売店または施工店にご連絡願います。

※リンクユニットがある場合、放電下限値(停電時)で設定した容量を除いた残量が10%以下になるとお知らせします。



お知らせ確認

蓄電池残量が低下し停電時の放電下限値に近づいています
下限値まで放電すると電気の供給を停止します

[決定] トップ画面へ

満充電動作・低温時の蓄電池保護機能

●残量が100%に近づいた場合、充電電力を制限するため、充電に時間がかかります。

100%になってからも、充電し続ける場合があります。

●低温動作保護のため、周囲温度が0℃付近になると充電電力を制限したり、充電を停止する場合があります。

それにより、残量が100%にならない場合があります。

※EV蓄電池にも同様の保護機能が働く場合があります。

放電中の逆潮防止機能

蓄電池ユニットに蓄えられた電力を売電することはできません。蓄電池の放電可能な電力より使用電力が少ない場合でも、売電しないように常に50W前後買電し、不足分を蓄電池からの放電でまかないます。

※EV蓄電池に蓄えられた電力も売電することはできません。

蓄電池ユニットの過放電保護機能について

太陽電池モジュールが接続されていない場合、または既存の太陽光発電システム(太陽電池モジュール、パワーコンディショナ)をそのままご使用される場合は、停電時に充電されません。

蓄電池残量が0%の状態でも充電されない状況がおおむね1~2日続くと、過放電を防止するために蓄電池ユニットの開閉器を自動的に切断する場合があります。復旧にはサービスマンの訪問対応(有償)が必要となります。

蓄電池ユニットの増設可能期間

本製品設置後の蓄電池ユニットの増設は、2033年3月末まで可能です。

なお、蓄電池用コンバータおよび蓄電池ユニットは同等商品の提供とさせていただきます場合があります。

商品の保証期間は、それぞれの商品の保証期間となります。

仕様

項目		仕 様
品番		VCP601(本品はPCP60S1 との接続専用です)
車両入出力部	定格電圧	DC 350 V
	動作電圧範囲	DC 150~450 V
	定格電力	充電時：6.0 kW 放電時：6.7 kW(充放電コネクタ端)
	最大電流	充放電時：DC 25 A
	ケーブル長	7.3 m(充放電コネクタを含む)
DCバス入出力部	定格電圧	DC 360 V
	最大電圧	DC 450 V
	最大電流	充放電時：DC 20 A
アクセサリケーブル入力部	定格電圧	DC 12 V
	定格電流	DC 6.4 A以下
主回路方式	回路方式	双方向絶縁型DC/DCコンバータ
	回路数	1 回路
	制御方式	電圧型電流制御方式
その他特性	冷却方式	強制空冷
	待機時消費電力	20 W未満
	運転音	正面中央1 m、高さ1 m : 40 dB以下 その他周囲1 m、高さ1 m : 45 dB以下
	保護等級	IP55(充放電コネクタ部、配線部、水抜き孔を除く)
	据付場所	屋外(直射日光可・耐塩害仕様)、標高2,000 m以下
	設置温度範囲	-30 °C~+50 °C
	使用温湿度範囲	-20 °C~+50 °C 90% RH以下(結露のないこと)
	外形寸法	W 420 × H 1250(ベース部250 を含む) × D 210 mm(突起部除く)
	質量	約55 kg(充放電ケーブルを含む)
付属品(お客様保管)	アクセサリケーブル(長さ 7.5 m) (1)、緊急離脱工具セット(1)、取扱説明書(1)、施工説明書(1)、かんたんガイド(1)	

●他のシステム構成機器の仕様は、それぞれの機器に同梱されている説明書をご確認ください。

お知らせ

●補助金の支給を受けて対象システムを購入した場合、所有者(購入設置者)は、当該システムを決められた年数の間、適正な管理・運用を図る必要があります。本製品をご購入後は故障内容により無償または有償の修理を行いますので、故障の際はお買い上げの販売店またはお客さま相談窓口にご連絡ください。

■商品構成ごとの充放電電力の目安

蓄電容量	商品構成 (台数)		平常時 (連系運転)		非常時 (自立運転)		
	蓄電池ユニット	V2Hスタンド	放電電力 ^{※4} (交流)	充電電力 ^{※1} (直流)	放電電力 (交流) ^{※4}		充電電力 (直流)
					電力切替 ユニット (単相2線用) または 自立専用 コンセント (100V)	電力切替 ユニット (単相3線用)	
蓄電池なし		1	6.0 kW	6.0 kW	3.0 kVA ^{※2}	6.0 kVA ^{※3}	6.0 kW
6.3 kWh	1	1	6.0 kW	9.0 kW	3.0 kVA ^{※2}	6.0 kVA ^{※3}	9.0 kW
12.6 kWh	2	1	6.0 kW	12.0 kW	3.0 kVA ^{※2}	6.0 kVA ^{※3}	9.0 kW

※1 太陽光発電電力と系統電力を合わせた場合

※2 自立専用コンセントを片相のみに接続する場合を想定。なお、自立専用ブレーカ 20 Aが 1 台の場合は、約2 kVAに制限されます。両相(L1 側・L2 側の両方)から自立出力を取り出す場合には分電盤もしくは中性線欠相保護機能付きブレーカをご使用ください。その際、放電電力は「電力切替ユニット単相3線用」の値となります。

※3 片相3 kVA

※4 交流電力は商用電源(平常時)とバックアップ回路(非常時)に対する数値です。ネットリモコンの画面では表示しません。

■移設と廃棄時のご注意

- ・使用後の太陽光発電システムは、関係法令(廃棄物処理法、建設リサイクル法など)に従って産業廃棄物として速やかに適切に廃棄してください。詳しくは、平成30年12月27日に環境省より公表された「太陽光発電設備のリサイクル等推進に向けたガイドライン(第二版)」を参照ください。
- ・取り外し、移設、廃棄等を行う場合は、専門技術を要するため、必ずお買い上げの販売店へお問い合わせください。

■商標について

- ・「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。
- ・「AISEG」はパナソニックグループの登録商標です。

個人情報情報の取扱いについて

1. 利用目的
お客さまにご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動および、その後の安全点検活動のため利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。
2. 第三者への情報提供
修理のために必要なお客さまの個人情報を当社から修理委託している保守会社などに預託する場合がございますのでご了承ください。

お客さま相談窓口 全国どこからでもおかけいただけます。

0120-652-338

受付時間：平日 9：00～17：00

※土曜・日曜・祝日・社内休日・年末年始(12月30日～1月4日)を除く

〒757-8511 山口県山陽小野田市新山野井 3740

TEL(0836)71-1033 FAX(0836)71-1202

- ・お客さまが弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ・ご相談、ご依頼いただいた内容によってはメンテナンス、サービスのために個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

<https://choshu.co.jp>

cic 長州産業株式会社